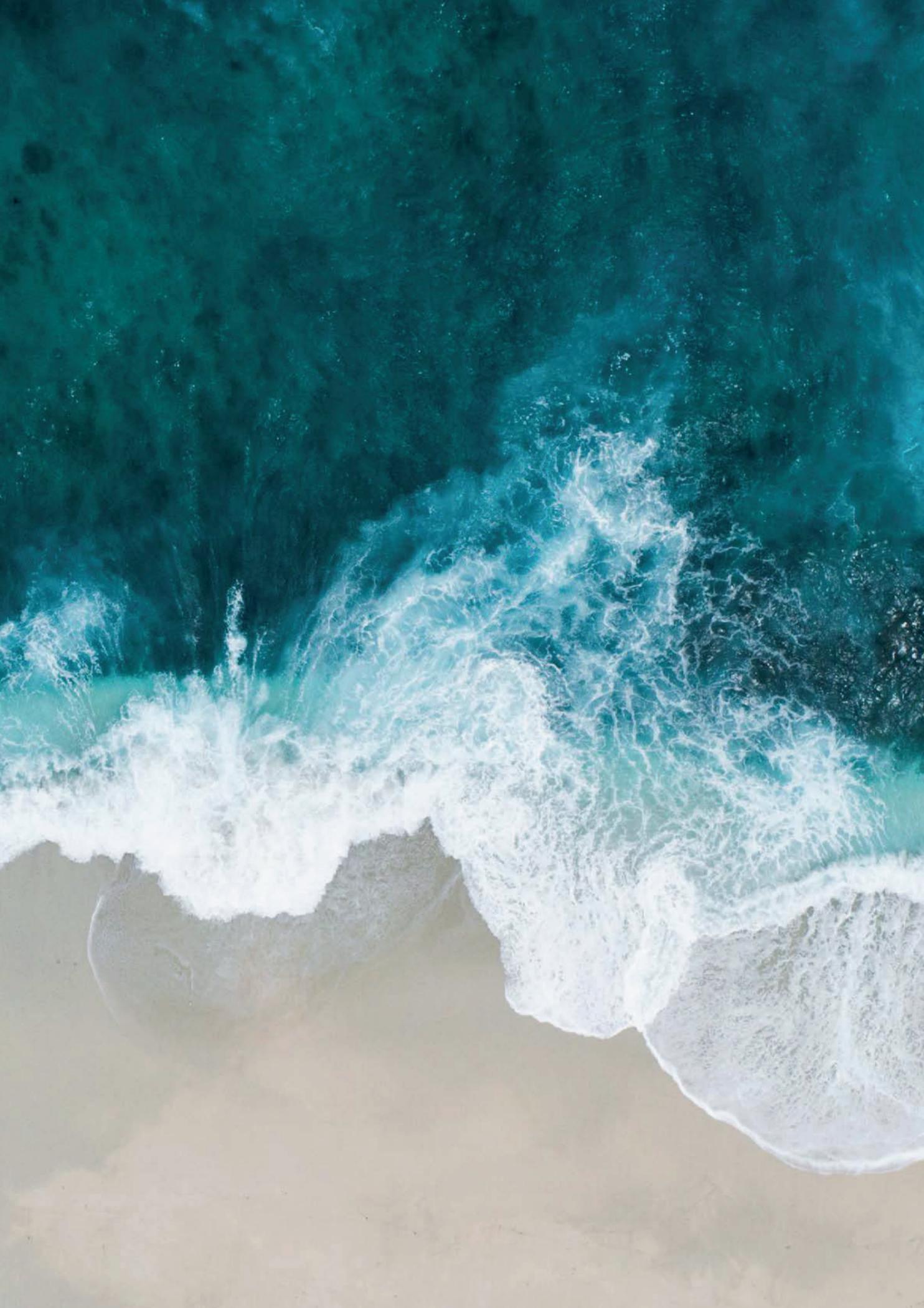


GIORGIO ARMANI

ARMANI
/ VALUES

アルマーニグループとサステナビリティ
2021年版レポート



ARMANI / VALUES

私たちの製品のデザインの背景には
素敵な物語があります。
スタイルだけでなく、
そこにはライフスタイルがあります。
ランウェイの外にも
より責任ある未来に向かう
歩みがあります。
コラボレーター、環境、地域社会など、
すべての人々に対する、
本物の共有された価値観。

アルマーニ / バリュー。
これは私たちの価値観です。
持続可能性に関する価値観なのです。

「将来の世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在の世代のニーズを満たす」。これは私たちの時代にとって、欠かせないことです。

これがただ、想いを述べただけの声明にとどまらないように、このコンセプトを企業の価値観やビジネス戦略に統合し、それによって企業を発展に導く必要があります。

これはまさに、アルマーニグループが当初から取り組んできたことです。私たちは、人々のニーズに本当の意味で対応した、長く使える製品を生み出すことで、人々が良いものを少なく消費し、原料に価値を与え、その原料を独自の製品に変える方法を知っている人たちの専門性にも価値を与えてきました。

完全に持続可能なファッションというものは、ユートピアかもしれません。しかし、持続可能性というものは、私たちがともに生き、そのために戦わなければならないユートピアなのです。

私たちは、自分自身、地球、そして何よりも将来世代に対して、その責任があります。

ジョルジオ・アルマーニ
会長



当社の持続可能性への 取り組み

現在社会が直面している変化に対して特に敏感になっていること、そして私たちが置かれている複雑な状況を踏まえ、アルマーニグループは、持続可能性に対して、より一層の配慮をし、より具体的な取り組みをしていきます。

アルマーニグループの名の下で、またはアルマーニグループを代表して活動するすべての人々の取り組みは、倫理規範で定められた価値観によって導かれます。それは、誠実さ、透明性と共有、情報の透明性と完全性、社会に対する責任、ダイバーシティの保護と強化、環境の保護と尊重です。

アルマーニグループにとって、持続可能な運営とは、人、環境、社会全体を尊重し、未来の世代に害を与えない方法で資源を活用することを通じて、ステークホルダーへの価値創出を追求していくことです。

アルマーニグループは今年も、そして将来に向けて、グループのコミットメントを確認し、強化していきます。従業員に価値を提供し、環境負荷を低減し、事業を展開する地域で開発と支援を行うほか、社会と環境の持続可能性に関する顧客意識を向上させ、サプライヤーを継続的に改善に導くことに取り組んでいきます。

サステナビリティ戦略は、グローバルに適用し、ブランドや地域ごとに具体的な目標を設定して構成できるよう設計されています。本レポートは、すべての部門からの協力によって完成したものです。

戦略、目標、成果など、各分野の詳細についてはこの後のページをご覧ください。

アンドレア・カメラーナ

取締役会の任命サステナビリティ マネージング ディレクター



数字とファクトで見る 2021 年



ガバナンス

- 新規** **サステナビリティ ガバナンス**
- 取締役会の任命サステナビリティ マネージング ディレクター
 - グループ サステナビリティ ディレクター
 - サステナビリティ戦略委員会



人間

- 従業員**
- 上級管理職およびシニアマネージャーの 51% が女性 (12 月 31 日時点での総人数に占める割合)
- 全従業員の 63% が女性 (12 月 31 日時点での総人数に占める割合)

- トレーニング**
- 2020 年比でトレーニングが 20% 増加



地球

- 新規** **科学的根拠に基づく目標 (2019 年を基点とする)**
- 2030 年までにスコープ 1 と 2 の温室効果ガス排出量を 50% 削減
 - 2029 年までにスコープ 3 排出量を 42% 削減

- 成果**
- 2019 年比でマーケット基準のスコープ 1 と 2 の排出量を 34% 削減
 - 2019 年比でスコープ 3 排出量を 10% 削減 (海上輸送の増加による)



繁栄

- 新規** **規範、ガイドライン、認証**
- サステナビリティに関するサプライヤー行動規範
 - サプライヤー向けの持続可能な原材料ガイドライン
 - 持続可能なイベントのための ISO 20121 認証

- 新規** **人間、地球、繁栄のための戦略**
- 持続可能性計画 2019-2030

- ダイバーシティ・リーダー・ランキング**

-  イタリアで 1 位
ヨーロッパで 2 位
(2020 IL-136573 年比で 4 位上昇)

- 再生可能資源由来のエネルギー**
- 再生可能資源由来のエネルギーが 2020 年比で 26% 増加

-  イタリアでは、電気エネルギーの 100% が再生可能資源由来
(目標を予定より 2 年早く達成)

- 新規** **コラボレーション**
- テキスタイルエクスチェンジ (Textile Exchange) に参加
 - 「持続可能な市場のためのイニシアチブ」のファッション タスクフォースに参加

- 新規** **重要性分析**
- 2 つの重要性
約 1,300 人のステークホルダーが関与
10 カテゴリーのステークホルダーが関与
約 70% の回答率

- 新規** **新型コロナウイルス感染症**
- 新型コロナウイルス感染症の検査とワクチンを全従業員に無料で提供

- B2C 包装**
-  90% はプラスチックを不使用。残りの 10% のうち、8% はリサイクルまたはバイオベースのプラスチック

- 主なプロジェクトと支援団体**
- ウンベルト・ヴェロネージ財団、セーブ・ザ・チルドレン、WWF、ウマニタス財団、聖エジディオ共同体アクア フォー ライフ、FAI、Obiettivo 3、ForestaMI (フォレストアミ)、オペラ・サン・フランチェスコ、スカラ座財団

1. 持続可能性への アプローチ

人間、地球、繁栄

数字とファクトで見る 2021 年

サステナビリティ ガバナンス

取締役会の任命サステナビリティ
マネージング ディレクター

グループサステナビリティ ディレク
ター

サステナビリティ戦略委員会

重要性分析

2つの重要性

約 1,300 人のステークホルダーが
関与

10 カテゴリーのステークホルダー
が関与

約 70% の回答率

人間、地球、繁栄のための戦略

持続可能性計画 2019-2030

1.1 世界のアルマーニグループ： 事業分野とブランド

アルマーニグループは、ジョルジオ アルマーニ、エンポリオ アルマーニ、A|X アルマーニ エクスチェンジ 3 つの主要ブランドに注力しています。

ジョルジオ アルマーニのコレクションには、スーツ、アクセサリ、アイウェアのほか、アルマーニスタイルにおけるエレガンスと洗練を最高に表現した、ジョルジオ アルマーニ プリヴェ オートクチュールコレクションがあります。

エンポリオ アルマーニのコレクションは、EA7 スポーツウェアコレクションから子ども向けのエンポリオ アルマーニ ジュニアまで、プレタポルテのウェアやアイウェア、ウォッチ、ジュエリーなどのアクセサリを幅広く取り揃えています。A|X アルマーニ エクスチェンジのコレクションのウェアとアクセサリは、新しい世代に向けて、ストリート文化から着想を得ています。

これらのブランドに加え、アルマーニスタイルは、レストラン、カフェ、アルマーニクラブでの飲食、アルマーニホテルのホスピタリティ、アルマーニ / カーザの高級家具、アルマーニ / フィオーリの花、アルマーニビューティの化粧品、アルマーニ / ドルチのスイーツといった世界も確立しています。

また、アルマーニグループは、2004 年にオリンピア・ミラノバスケットボールチームの主要スポンサーの一社になり、2008 年には 100% の支配権を取得しました。このことはチームに長期的な成功をもたらし、2022 年にはイタリア選手権で優勝するに至りました。

アルマーニグループの主要ブランド

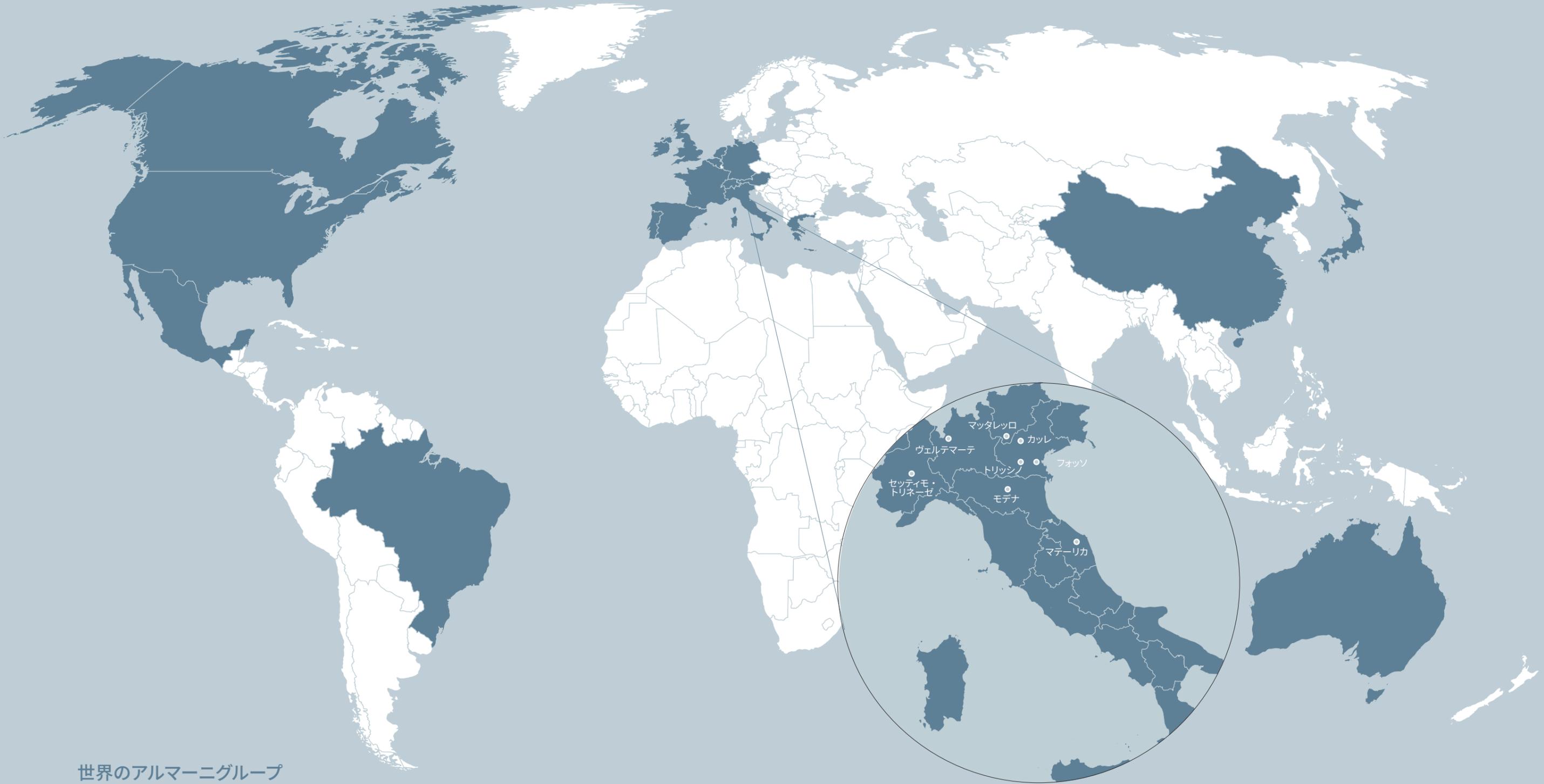
GIORGIO ARMANI

EMPORIO  ARMANI

A | X

ARMANI EXCHANGE





世界のアルマーニグループ

アルマーニは、イタリアの現実に根ざし、世界中で成長をしています。製品としては、衣料品やアクセサリから化粧品、香水、アイウェア、ウォッチ、ジュエリー、家具、家具アクセサリまで幅広く提供し、製品の設計、生産、流通を直接、またはブランドライセンスを第三者に与える形で行っています。

● アルマーニグループが直接事業を展開する地域

ヨーロッパ：イタリア、ベルギー、オランダ、フランス、ドイツ、オーストリア、ポルトガル、スペイン、英国、アイルランド、スイス、ミュンヘン、ギリシャ
 アメリカ大陸：米国、カナダ、メキシコ、ブラジル
 アジア：日本、中国（香港特別行政区とマカオ特別行政区を含む）
 その他の地域：オーストラリア

○ 生産拠点

アルマーニグループについて

ファッションとラグジュアリー分野で業界をリードするアルマーニグループは、常にその時代の洗練されたライフスタイルコンセプトを通じて、40年以上にわたり世界にエレガンスをもたらしてきました。

Giorgio Armani S.p.A. の創立者であり、会長兼最高経営責任者のジョルジオ・アルマーニは、グループの戦略、スタイル、デザイン、ビジネスにおけるあらゆる選択に直接関与しています。

ジョルジオ・アルマーニは、優れた**一貫性**をもって、長年にわたり、無数のバリエーションと可能性を探求し続けるスタイルを創造してきました。細部にわたり精緻な**ビジョン**を表現したアルマーニスタイルは、真の意味での「**スタイル**」であると言えます。それは、自身の在り方や振る舞い方であり、何を身に着けるかという次元を超えたスタイルのことであり、

倫理と美学は一致しなければならないと確信するジョルジオ・アルマーニは、スタイルを通して、本質的かつ永続的な価値を表現しています。ここから生まれる**タイムレス**な作品は、貴重な素材と手作業を駆使し、一時の流行に左右されないピュアで本質的なデザインに仕上がっています。**流動性**を感じさせるウェアはソフトな構造で、マスキュリンとフェミニンの両方のコードをナチュラルに融合させ、パーソナルで魅力的な女性らしさと、ソフトでコンシャスな男性らしさを表現しています。

ジョルジオ アルマーニは、まず体に立ち返り、体を柔らかく包み込み、**快適さ**を不可欠な要素としたスタイルを作り上げてきました。それは、さりげない服。不必要に派手ではなく、着心地がよく、体の動きに自然に沿うような、機能的かつエレガントな服です。人を中心に据えたデザインのアプローチにより、**パワーを与える**ツールとして、そして新しい意味での自己表現の手段としてのウェアを提案します。今やビジネス界の主役となった女性のためのパワースーツ、そして厳格で旧態依然の男らしさといった概念から脱却した男性のためのソフトスーツによって体現されています。



ジョルジオ・アルマーニは、まず何よりも精神的なインクルージョンを信じています。一般的なステータスシンボルの発想を拒否し、強い個性を持つ人、知的な人、時代を超えて愛される製品を届ける相手に語りかけます。なぜなら、それは「Less is More (少ない方が豊かである)」という考え方、すなわち「良いデザインには期限がなく、無責任な消費とは無関係」という考えから生まれるものだからです。それが、持続可能な生き方としてのスタイルなのです。

ジョルジオ・アルマーニはそのユニークなビジョンを、まず第一に、絶え間なく向上を追求するという自身の頑ななデザイナー気質から生まれる極限の**規律**を通じて、そして何よりも、**独立性**を通して表現します。独立性は、スタイルをライフスタイルに変貌させた**本物の価値**として創業以来守り続けている特徴であり、自由で個性的な表現を実現するための唯一の方法です。

2021 年 11 月、ジョルジオ・アルマーニは、イタリアの国際的なイメージと名声の向上に貢献したとして、イタリア共和国のセルジョ・マッタレラ大統領より、**イタリア共和国功労勲章カヴァリエーレ・ディ・グラン・クローチェ・デコラート・ディ・グラン・コルドーネ**を授与されました。

アルマーニグループの事業運営

持続可能で責任ある開発という課題に対するガバナンスを強化するため、アルマーニグループは 2021 年にグループディレクターを採用してサステナビリティ部門を強化するとともに、「**人間、地球、繁栄**」の 3 本の柱に基づく新しい**サステナビリティ戦略**を立ち上げました。アルマーニグループは、**ESG アプローチ (環境・社会・ガバナンス)** や、2019 年に参加を表明したイニシアチブである**ファッション協定¹**の目標に沿って、社内およびバリューチェーン全体における具体的な目標を定めています。

2019 年から
ファッション
協定に参加

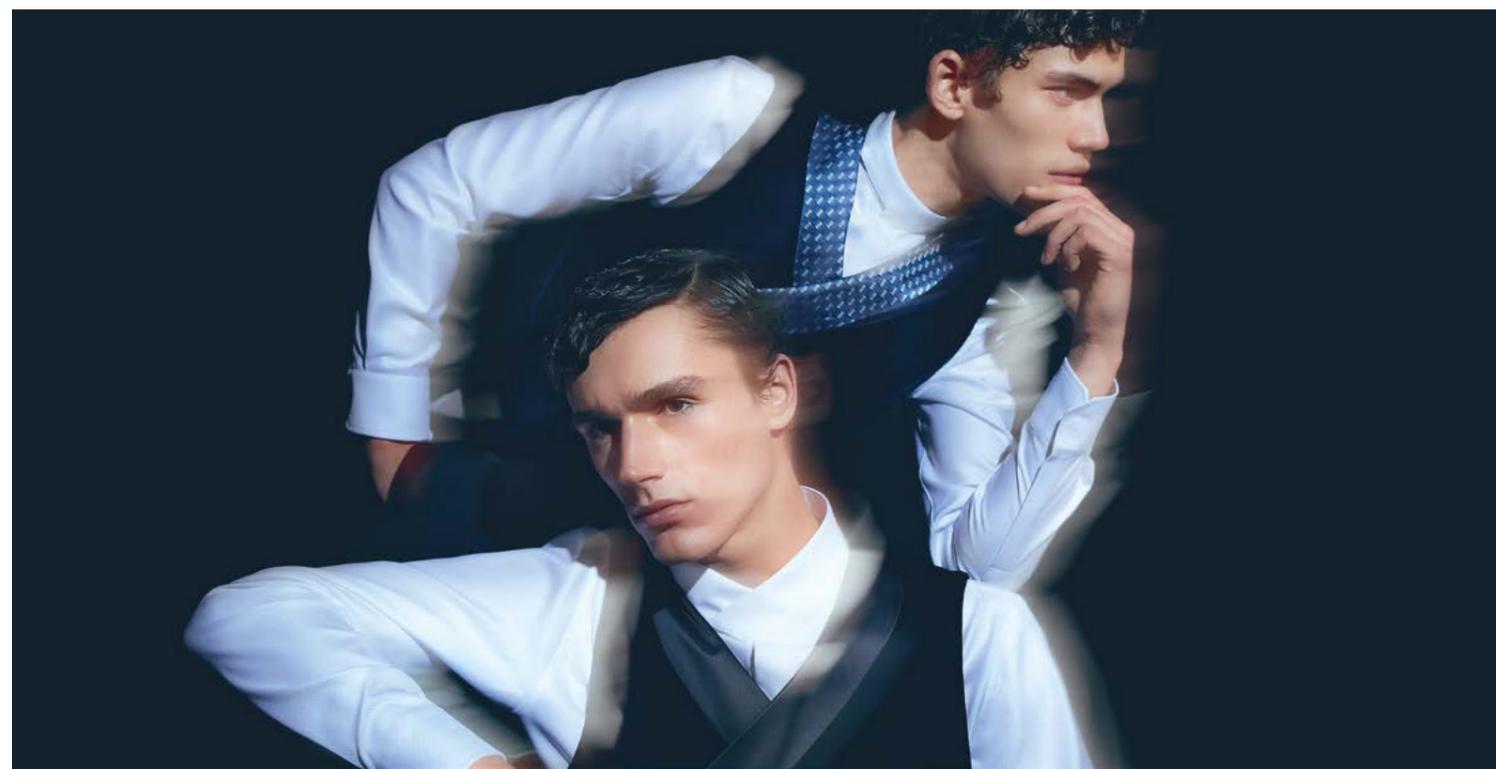
1. ファッションの持続可能性を促進するための最も重要な国際的イニシアチブの一つであり、持続可能で良心的な業界の変革を促進するという意志のもと、ファッションおよびテキスタイル業界の 250 を超える主要ブランドが結束したものです。

これを通じて、アルマーニグループは、**科学的根拠に基づく目標イニシアチブ (SBTi²)** によって承認された**温室効果ガス排出量 (GHG)** 削減の目標を発表し、より具体的な取り組みを行っています。設定された目標は、気候変動の悪影響を防ぐために世界の平均気温の上昇を 1.5°C に抑えるという、パリ協定の目標と整合していると考えられます。

アルマーニグループではこれらの取り組みを踏まえ、また「Less is More (少ない方が豊かである)」の哲学と戦略に沿って、より選択的な流通、より小さなコレクション、商品点数 (SKU) の大幅な削減、急がずに季節のリズムに合わせた商品の展開といった一連の活動を導入しています。

アルマーニグループは**国際的なプレゼンスを確立**していますが、これは長年にわたる激しい商業的拡大のプロセスの結果です。そのため、富を創出して分配し、グループが事業を行う社会や環境の中で経済成長に貢献し、それと同時にステークホルダーの経済的利益も満たすことができます。

2. SBTi は、気候開示プロジェクト (CDP)、国連グローバル・コンパクト (UNGC)、世界資源研究所 (WRI)、世界自然保護基金 (WWF) のパートナーシップにより設立された機関であり、低炭素経済への移行を促進して温室効果ガスの排出を削減することを企業が公約として発表することを奨励し、認証しています。



「気候変動対策は非常に複雑な取り組みです。多大な献身を必要とし、生産プロセス全体をカバーしなければなりません。持続可能性の考え方は全体的に採用されなくてはなりません。良いものを少なく生産し、環境への影響が少ない原料を選び、常に革新的なプロセスを模索し、廃棄物やスクラップを減らし、再生可能エネルギー源を使用するということです。それによって、地球にとって有害な排出を減らせるのです。

だからこそ、私は、この持続可能性への重要な道を進むことに誇りを感じています。これは、アルマーニグループが決意を持ってこの取り組みを進めることを証明するものです」

ジョルジオ・アルマーニ
会長

スタイルを追求し続け、商品を多様化することで、当グループは市場動向に可能な限り迅速に対応できるようになりました。また、ポートフォリオ内の各ブランドに明確かつ適切なスタイルとポジショニングを割り当てることで、購買意欲の異なる多様な顧客層に目を向けることも可能になりました。

これらは、アルマーニグループの成功の鍵です。国際的なマクロ経済状況が厳しいものであるにもかかわらず、グループはファッションとラグジュアリー分野においてリーダーシップを強固なものにすることができました。

アルマーニグループは、イタリアのライフスタイルに強いルーツを持ちながら、国際的なビジョンと文化を持つ企業です。世界の主要国のほとんどに拠点を置き、**8,300**人以上の従業員を擁し、国際的には関連する流通ネットワークに依存しながら、世界のラグジュアリー業界にとって最も重要な場所に旗艦店を有しています。

8,300人以上の
従業員を擁する
世界的な
プレゼンス

アルマーニグループは、子会社が管理する「**Retail**」(小売)チャンネルを通して、子会社である Giorgio Armani Operations S.p.A. (GAO) が実現した製品ラインを最終顧客に直接提供しています。**直営販売店** (「**DMS**」) は、当社グループが事業を展開するすべての主要市場にあり、企業イメージと商業的意義の両面から重要な位置を占めています。アルマーニグループの「**卸売**」販売は、フランチャイズ加盟店、百貨店、マルチブランド専門店、トラベルリテールや免税店のチャンネル事業者といった小売業者を対象としています。

デザインと創造性、プランニング、企業家の直感が、芸術的インスピレーションと機能的ニーズが絡み合う明確な世界観を創り上げます。

この点に関しては、個々のブランドはグループレベルで定義されたサステナビリティ戦略を適用して実行し、それぞれが具体的な取り組みと活動を本質的にまとめ上げます。

パートナーシップとライセンス契約

一部の限定的な分野では、アルマーニグループは生産と販売のライセンス契約を通じて事業を展開しています。香水と化粧品（ロレアル）、アイウェア（ルックスオティカ）、時計と宝飾品（フォッシル）、菓子（ガイド・ゴビーノ）など、繊維／衣料以外の分野においては、これらの契約でライセンシーが保証する専門能力と技術的卓越性のおかげで、当社グループは優位な位置を獲得しています。

各ブランドが開発したプロジェクトや取り組みの詳細は、報告書の次のセクションに記載されています。より完全で透明性の高い非財務開示を行うために、アルマーニ ホテル&リゾートに関連する活動でデータが本書の報告範囲に含まれていない情報について、以下の段落で詳しく説明します。

アルマーニ ホテル&リゾート

Giorgio Armani S.p.A. とエマール・プロパティーズ社の提携で 2005 年に誕生したアルマーニ ホテル&リゾートは、**最高レベルのサービス、完璧なデザイン、比類のないラグジュアリーが際立ちます。** 2010 年にオープンしたアルマーニ / ホテルドバイ、2011 年にオープンしたアルマーニ / ホテル ミラノを含む高級ホテルチェーンは、調和の取れた完璧な環境というジョルジオ アルマーニのビジョンを反映しています。

アルマーニのホテルは持続可能性ガイドラインに従っています。アルマーニ / ホテルドバイは、2017 年に**グリーングローブ認証**（2 年間有効でコロナにより停止）を取得しており、2022 年に再認証の手続きを開始しました。アルマーニ / ホテル ミラノは、2023 年までに同認証を取得することを目指しています。

2017 年に
アルマーニ /
ホテルドバイが
グリーングローブ
認証を取得

アルマーニ ビューティ

自然は最も純粋な美の形であり、ジョルジオ アルマーニにとって常にインスピレーションの源となってきました。そのため、責任ある方法で化粧品を作ることはデザイナーの価値観をそのまま反映したものであり、持続可能性の重要な 3 つの分野である、**エココンセプト、気候変動との戦い、清潔な水の不足との戦い**にも通じています。

エココンセプトは、再充填可能な製品、リサイクル材で作られた包装、持続可能な資源からの天然成分の使用の促進など、さまざまな取り組みに反映されています。



気候変動との戦いを支援するために、アルマーニ ビューティは二酸化炭素排出量に取り組み、生物多様性に不可欠な森林の保護と炭素排出量の削減にコミットしています。

「アクアフォーライフ」のイニシアチブが19万5,000人に水へのアクセスを提供

水不足との戦いは**アクアフォーライフのイニシアチブ**の核心であり、この10年間、世界の最貧困層に安全で清潔な水へのアクセスを提供してきました。770万ユーロの投資により、このプログラムはこれまでに世界中で19万5,000人に水へのアクセスを提供しました。今後も、認識を高めるために積極的に関与を続けていきます。

ジョルジオ アルマーニ、エンポリオ アルマーニ、A|X アルマーニ エクスチェンジのアイウェア

ジョルジオ アルマーニのアイウェアは、そのエレガンス、細部への極端なこだわり、品質、最先端技術で際立っています。一つひとつの製品が、**その絶対的な独自性に加え、実用性や快適性といった特徴を表現**しています。

若年層に向けてデザインされたエンポリオ アルマーニのアイウェアは、個性的で現代的なスタイルを求めるすべての人に捧げられています。A|X アルマーニ エクスチェンジのアイウェアは、若々しくカジュアルなスタイルが特徴です。





エンポリオ アルマーニと A|X アルマーニ エクスチェンジのウォッチ

1997年に誕生したエンポリオ アルマーニのウォッチラインは、現代的でカジュアル、そして洗練されたライフスタイルを送る男女に捧げられたもので、革新的なフォルムと素材がクラシックなスタイルとバランスよく融合しているのが特徴です。

ここに、都市のファッションに着想を得たスタイルを持つ若者向けの「A|X アルマーニ エクスチェンジ」ウォッチラインが加わりました。

アルマーニ / ドルチ

アルマーニ / ドルチは、味覚の世界に捧げられたアルマーニのライフスタイルを表現しています。これは、世界最高峰の素材とフレーバーに、ジョルジオ アルマーニの特徴的なスタイルとエレガントな美学を組み合わせ、2002年に発売されたラインナップです。

アルマーニ / ドルチの製品は、イタリアのチョコレート業界で受賞歴を誇る **Guido Gobino S.r.l.** とのコラボレーションから生まれました。Guido Gobino S.r.l. は、伝統と革新を融合させ、それに創造性、風味、情熱を結び付けることで、特に原料にこだわった最高品質の手作りチョコレートを創り上げています。製品の上品さは、シンプルで洗練された包装にも反映されています。

1.2 ガバナンス、価値の創出、分配

1.2.1. ガバナンスとグループの構造

2021年12月31日現在のアルマーニグループは、世界各地に所在する企業で構成されています。その多くはミラノに本社を置く親会社である Giorgio Armani S.p.A. が 100% 管理し、グループの運営とスタッフの機能をグローバルレベルで保証しています。ジョルジオ・アルマーニは、取締役会の議長を務めるほか、最高経営責任者も兼任しています。

2016年にジョルジオ アルマーニ財団が設立されて以来、アルマーニグループのガバナンス構造は安定しています。ジョルジオ・アルマーニが設立したこの組織は、会社の将来の経営に対する継続的な指針を確実にすると同時に、創業者の創造性や起業家としての活動に絶えずインスピレーションを与えてきた価値や理念を培い、保護することを目的としています。

アルマーニグループに属する生産プロセスは、子会社の Giorgio Armani Operations S.p.A. (GAO) が管理しており、イタリア国内の自社工場と社外の生産者やパートナーに依存しています。GAO はまた、原料および最終製品の品質管理も手がけており、生産プロセスの各段階で、生地から個々の部品に至るまで、使用される材料の選択に対して最大限の注意を払っています。GAO の主な生産拠点は、モデナ、トリッシノ (VI)、フォッソ (VE)、マッタレッコ (TN)、セッティモ・トリネーゼ (TO)、マテーリカ (MC)、カッレ (VI)、ヴェルテマーテ (CO) にあります。

2021年12月31日現在の社会的地位

取締役会

ジョルジオ・アルマーニ	会長兼最高経営責任者
ロザンナ・アルマーニ	取締役
シルヴァーナ・アルマーニ	取締役
ロベルタ・アルマーニ	取締役
パンタレオ・デッロルコ	取締役
アンドレア・カメラーナ	取締役会のサステナビリティ マネージング ディレクター
フェデリコ・マルケッティ	取締役

取締役会、性別・年齢別構成

年齢層	2021年12月31日		2020年12月31日	
	男性	女性	男性	女性
50歳超 (人数)	4	3	4	3
50歳超 (%)	57%	43%	57%	43%

監査役会

マルコ・テレンギ	会長
ルカ・ガイアーニ	監査役
アンドレア・ゾッカリ	監査役
ヴィエリ・キメンティ	代替監査人
マリア・クリスティーナ・ペドロニー	代替監査人

監督機関

パオロ・パッチャーニ	会長
マルコ・テレンギ	
ルカ・ガイアーニ	

1.2.2 サステナビリティ ガバナンス

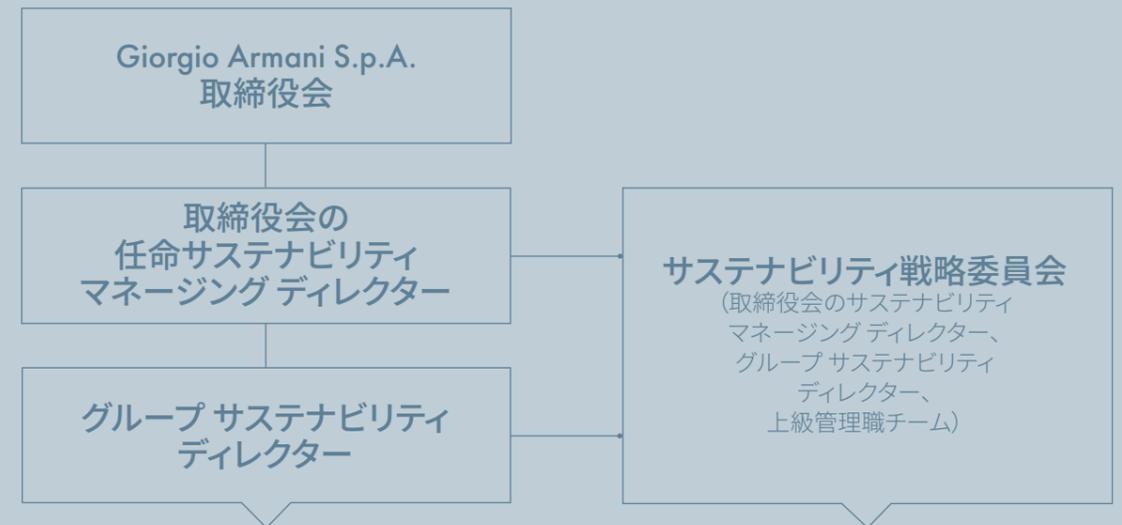
ESG（環境・社会・ガバナンス）の継続的な改善に向けた取り組みを明確化し、具体的な行動に移すため、当社グループは 2021 年を通じてガバナンス体制を強化しました。

具体的には、取締役会はグループの ESG への取り組みを統括するため、**取締役会の任命サステナビリティ マネージング ディレクター**（人権・環境を含む）を設置しました。また、アルマーニグループには、**サステナビリティ部門を率いるグループ サステナビリティ ディレクター**を置き、取締役会の任命サステナビリティ マネージング ディレクターに直接報告を行う体制を構築しています。さらに、サステナビリティ マネージング ディレクター、グループ サステナビリティ ディレクター、**上級管理職チーム³**から構成される**サステナビリティ戦略委員会**が設置されました。この委員会は、業績目標に関する承認、監視および具体的な指針を提供し、リスク管理戦略、活動および機能が内外の状況に適切に対応しているかの確認を目的として、少なくとも月 1 回開催されます。

このサステナビリティ戦略委員会は、アルマーニグループの会長に定期的に報告を行います。事業戦略に沿って、達成した成果を示し、将来の改善分野を特定します。

3. 上級管理職チームは、副コマーシャル マネージング ディレクター、副オペレーション マネージング ディレクター、副インダストリアル マネージング ディレクター、グローバル人事ディレクターで構成されています。

サステナビリティ ガバナンス モデル⁴



- 戦略的定義プロセスを主導し、各コーポレート部門とともに、所定の目的を達成するためのリスク/機会管理および外部報告のため、必要とされた取り組みを推進する
- 事業に関連する社会的および環境的リスクを特定するプロセスを管理する
- 事業に関連する人権と環境権を管理するためのガイドラインを策定し、その遵守を長期的に検証する
- 「Less is More（少ない方が豊かである）」の事業戦略に沿って、グループの戦略的な持続可能性目標などの業績目標について、承認および監視を行い、ガイドラインを作成する
- 会社の戦略、活動、リスクが社内外の環境と一致していることを確認する
- 特定された社会的および環境的リスクが事業と整合性が取れていることを承認し、保証する
- 人権および環境権に関するガイドラインが事業と整合していることを承認し、保証する
- リスク管理プロセスの結果を検証し、事業および関連する文脈の両方との間で、一貫性があることを確認する

また、アルマーニグループは、重要性分析モデルと ESG リスクの特定をさらに発展させました。その主な内容は、1.3.1 項「重要性分析、ESG リスク、機会」に記載しています。

4. グループのサステナビリティ ガバナンスの詳細については、グループ サステナビリティ ディレクターまでメール（info@armanivalues.com）でお問い合わせください。



1.2.3 価値観と統制システム

グループの価値観は、倫理規範の中で正式に規定されています。この規範は、具体的な社会的・道徳的な約束を記述したものであり、当社名において、また当社を代表して業務を行うすべての人々の行動の指針となるものです。アルマーニグループ倫理規範は、企業倫理モデルの礎となるものであり、当社が全従業員、コラボレーター、サプライヤーと共有する、倫理原則と行動規範を含むものです。

この**倫理規範**の採択と適用は、すべてのステークホルダーに対しての、長期的な価値の創出と分配のプロセスを促進します。アルマーニグループは、オンライン出版物（www.armanivalues.com）や直接のコミュニケーションなど、さまざまな手段で知識を広めています。手続きに従って、供給契約や商取引契約への署名を求め、契約関係成立の前提条件としています。

アルマーニグループの価値観



誠実さと共有



信頼



チーム精神



ダイバーシティの
保護と促進



地域社会に対する
責任



情報の透明性と完全性



従業員ポリシー



環境の保護と尊重

Giorgio Armani S.p.A. は、法令第 231/2001 号およびその後の改正の指示に従い、**組織・管理・統制のモデル（モデル 231）** を定義しています。ここでは、違反を防止するために、この倫理規範がその不可欠な一部分となっています。このモデルには、グループの活動において法律の尊重を保証し、リスク状況を特定して防止するための規則と原則のシステムが含まれています。

その中で、意思決定が事業目標や価値観と整合していることを確認するための内部統制システムがあります。統制システムは、情報の流れの構造およびリスクの特定、管理、監視のプロセス（特に腐敗行為に関連するもの）を定義し、指導するツール、手順、規則で構成されています。支払承認、サプライヤーの選定、投資、行政との関係管理、贈答品などの問題を監視するために、具体的な手続きが設けられています。**監督機関（OdV）は、定期的な検査を通じて、モデル 231 の実施を保証しています。**

2021 年の
差別および
腐敗行為は 0 件

倫理規範に定められた原則を実施するための措置が講じられましたが、2021 年に差別が発生した事例はありませんでした。2021 年、OdV は、アルマーニグループ内で、またはグループを代表して業務を行う人物の腐敗行為の事例または腐敗行為が疑われる事例を発見しませんでした。同様に、既存の社会・環境・経済関連法律の不遵守の事例は見つかりませんでした。また、2021 年にアルマーニグループは、反競争的行為、反トラスト、独占的慣行の分野において、訴訟の対象とはなりませんでした。

1.2.4 価値の分配と創出のモデル

新型コロナウイルス感染症パンデミックによる世界的な健康上の緊急事態に特徴づけられる 2020 年と比較して、2021 年の結果は、漸進的かつ明確な回復を示しています。

今回のパンデミックでは、現代のグローバル化した社会と経済が突然の予期せぬ衝撃に対していかに脆弱であるかに気づかされました。そして、膨大なコレクションや大規模イベントの開催といった、ファッション業界のこれまでのタイムラインやペースについての再考が促されました。商業のシーズンと自然のシーズンとを改めて一致させ、業界固有の環境および社会責任について考えながら、賢く慎重に商業のペースを再調整する必要性が生まれたのです。また今回の危機は、本物の製品の価値、そしてそれらが透明性と持続可能性に対する高い意識と感性で表現されることの価値を再発見する機会にもなりました。

このような困難な地政学的状況にもかかわらず、当社グループは**2021 年の流通ネットワークの拡大と更新のための投資計画を継続しました。**

2021 年、グループの連結純収益は 20 億 1,920 万ユーロで、2020 年比で 26.3% 増となり、新型コロナウイルス感染症パンデミック前に記録した水準までほぼ完全に回復しました（2019 年比では 6.3% 減）。連結純利益は 1 億 6,990 万ユーロとなり、パンデミック前の水準を大幅に上回りました。

2021 年の
収益は
20億1,920万
ユーロ、
2020年比で
+26%

当グループの財務および資本の状況は引き続き健全であり、投資プログラムの管理および自己資金需要に十分対応することが可能です。

2021 年末時点で、純現金および現金同等物は 11 億 2,000 万ユーロ（2020 年は 9 億 2,500 万ユーロ）、純資産は 21 億 800 万ユーロ（2020 年は 20 億 1,000 万ユーロ）となっています。

2021 年の
株式は
21億800万
ユーロ

決算概要（百万ユーロ）

	2021 ⁵	2020 ⁵	2019 ⁵
連結収益	2,019.2	1,599.1	2,155.8
減価償却前総営業利益（EBITDA）	435.2	263.1	494.1
営業利益（EBIT）	171.2	(29.5)	172.8
純利益	169.9	89.8	119.1

5. 2019 年、2020 年、2021 年の結果は、IFRS16 の影響を反映しています。経済パフォーマンスの詳細については、グループの 2021 年財務諸表を参照してください。

付加価値

付加価値とは、生産に要する価値と中間コストとの差額のことです。付加価値を見ることにより、アルマーニグループは、経営に関する経済パフォーマンスと、ステークホルダーに分配する創出した経済価値の両方を測定することができます。

経済価値は、当社グループが創出したもの、分配したもの、保持するものという3つの階層に分けています。最後のものは、当社グループが財政的・経済的安定性を高め、長期的な経営の持続に寄与します。

経済価値の創出と分配 (千ユーロ)

	2021 ⁵	2020 ⁵	2019 ⁵
グループが創出した経済価値	2,055,577	1,594,343	2,143,680
収益	2,019,239	1,599,067	2,155,806
その他の収入	9,455	12,942	3,848
金融収入	3,995	2,680	5,011
金融資産に対する価値調整	(445)	-	-
売掛金の償却	(1,687)	(2,418)	(5,174)
為替レートの差異	29,007	(13,172)	(151)
有形・無形資産の売却損益	-	-	-
有形・無形資産の評価調整	(3,987)	(4,756)	(15,660)
グループが分配した経済価値	1,724,819	1,302,452	1,850,244
運営コスト	1,139,146	924,500	1,200,770
従業員報酬	450,370	412,742	455,456
貸し手への支払い	12,935	15,997	18,718
投資家への支払い	100,035	90,060	134,995
政府当局への支払い ⁶	20,898	(145,780)	39,767
第三者への贈答品	1,435	4,933	538
グループが保持する経済価値	330,758	291,891	293,436
減価償却費	260,050	287,863	305,690
引当金	852	4,277	3,606
各種積立金	69,856	(249)	(15,860)

5. 2019年、2020年、2021年の結果は、IFRS16の影響を反映しています。経済パフォーマンスの詳細については、グループの2021年財務諸表を参照してください。

6. 税務面については、各業務分野において適用される規制を遵守し、問題発生時や詳細調査の際には、税務当局に最大限の協力をを行っています。



持続可能性のタイムライン

1996

ミラノ科学技術博物館でリサイクルジーンズモデルを展示

2003

イタリアのファッション業界における繊維麻の再導入に対して CA-RI-FE 賞を受賞

2010

アクア フォー ライフプロジェクトの誕生

2012

ゴールドグローブ賞のレッドカーペットで、リサイクル PET から作ったドレスを披露

2013

企業の社会的責任部門の設立
PRSL 仕様の発表

2014

行動規範の発表と、サプライチェーンに対する初の社会・環境監査の実施

ミラノのベルゴニョーネ通りにある建物に、初の太陽光発電システムを設置

2015

初のライフサイクルアセスメント (LCA) 調査をベストセラー商品に対して実施 (環境省プロジェクト)

アルマーニ / シーロスのオープン

2016

ジョルジオ アルマーニ財団設立

ファーフリーポリシーおよび PETA ファッションアワード

イタリアのイタリアファッション協会 (CNMI) による「環境有害物質要件に関するガイドライン」の発表

2017

グリーンカーペットファッションアワード

「化学混合物ガイドライン」と「小売りの持続可能性に向けたガイドライン」の発表

2018

「アルマーニ サステナビリティプロジェクト」(ASP) のパイロットプロジェクト

オリンピック・ミラノのユニフォームに再生 PET 素材を使用

初の公開レポート (サステナビリティレポート 2018 年版)

2019

サステナビリティをテーマにした、「アルマーニ開発プログラム」

ファッション協定に加盟

初のグリーンコンセプトアウトレットのオープン

2020

エンポリオ アルマーニ リサイクル カプセルコレクションの発売

新型コロナウイルス感染症の緊急事態への支援

2021

サステナビリティ戦略「人間、地球、繁栄」の開始とガバナンスの強化

環境に配慮したイベント「One Night Only Dubai」で ISO 20121 認証を取得

2022 / 2023 年秋冬シーズンより、全ラインのコレクションでアンゴラウールを使用しないというコミットメントを発表

アルマーニグループがフィナンシャル・タイムズ紙の「ダイバーシティ・リーダー・ランキング」に選出

再生ポリエステルやオーガニックコットンなどの糸や布を使用したサステナブル カプセルコレクションを発表

科学的根拠に基づく目標インシアチブ (SBTi) により承認された GHG 削減目標を発表

「持続可能な市場のためのインシアチブ」ファッションタスクフォースに加入

テキスタイルエクステンジに加入

ステークホルダー・エンゲージメント活動の拡大と、重要性の倍増を見据えた重要性マトリックスの更新

「人間、地球、繁栄。

ファッションは、人々の真のニーズに応え、社会基盤や環境といった守るべき共通財を尊重することで、現在進行中の変革に貢献できると考えます」

ジョルジオ・アルマーニ
会長

1.3 サステナビリティ戦略と計画 2019-2030

新たなサステナビリティ戦略の立ち上げに伴い、アルマーニグループは2021年に、主要な国際フレームワークに沿った3つの重点行動分野「地球」「人間」「繁栄」に基づいて道筋を定義し、このことで戦略的計画プロセスをさらに強化しました。

アルマーニグループは、バリューチェーン全体にわたる包括的なアプローチに基づき、国連が定めた**持続可能な開発目標 (SDGs)** に定義された野心的目標を取り込み、持続可能性をグループの戦略的選択の中に段階的に取り入れていきます。

3つの分野それぞれについて、次項で示された重要性分析の結果に沿って、定性的・定量的に具体的な改善点を特定・計画しており、それを当社グループの新たな持続可能性計画にまとめています。詳細は1.3.2項「成果と将来の目標」の項に記載しています。



1.3.1 重要性分析、ESG リスク、機会

アルマーニグループは、採用されている基準に沿って、サステナビリティに関する主な実績と成果を重要性の原則に沿って報告しています。これにより、中長期的に価値を創造するためにグループにとって最も戦略的関心が高く、ステークホルダーにとって最も関係のある課題を、関連して発生・経験する影響を考慮した上で、特定することができます。

アルマーニグループは、戦略や持続可能性計画に反映されているグループの戦略的視点の進化や主要なステークホルダーの期待を踏まえ、重要性分析を深化させる重要な道筋を歩んでいます。

重要性分析プロセスは、GRI スタンドに準拠し、企業サステナビリティ報告指令（CSRD）で利用可能な文書に基づいて実施され、以下の5つの主要フェーズに分けられました。

 外部および内部の状況分析

 ステークホルダーのカテゴリの
マッピング

 持続可能性の課題の特定

 ステークホルダーの関与

 結果分析と重要性マトリックス



外部および内部の状況分析

主な ESG トレンドを特定するために、外部および内部の状況分析を行いました。そこでは、ファッション・ラグジュアリー業界で活動する主な関係者が発行した文書、参照すべき主な規制（非財務報告、循環経済、人権、腐敗防止、企業倫理に関する規制など）、いくつかの主なサステナビリティ報告の枠組みやガイドライン（RobecoSAM Yearbook 2022、SASB、WEF - グローバルリスク報告書 2022 年版など）、当業界に関する参考文献（ファッション協定、イタリアファッション サステナビリティ宣言など）を分析しました。この分析は、グループに関連する外部の状況と、継続的改善のための戦略や方針といった内部の主要な要素との間に存在する関連性を対応させる上でも有用でした。

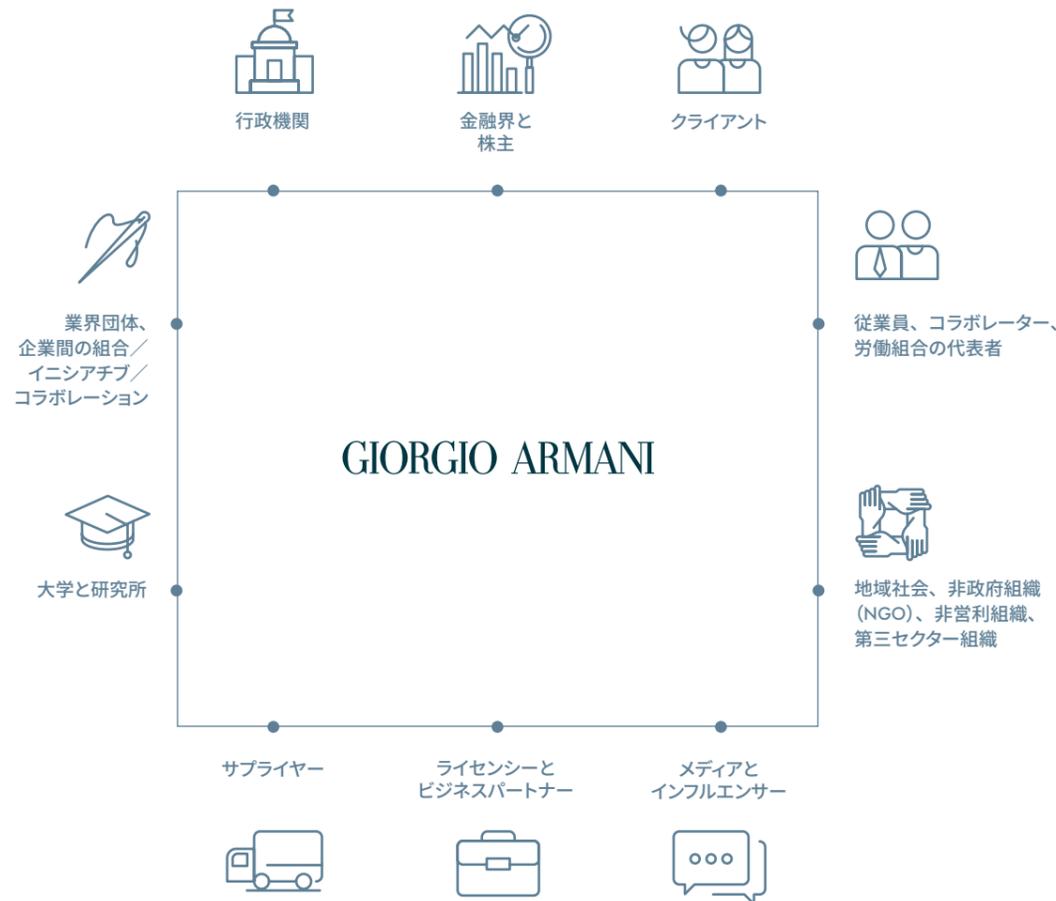


グループにとって最も重要なステークホルダーのカテゴリの マッピング

実施した外部および内部の状況分析の結果を用いることで、グループにとって最も関連性の高いステークホルダーのカテゴリを特定することができました。このプロセスは、主要な参照フレームワーク（GRI スタンド、AA1000 など）に沿って、以下の基準で実施されました。

- ステークホルダーが組織に及ぼす潜在的な影響力／利害の度合い
- グループの活動、製品／サービス、そのパフォーマンス結果を考慮した、組織がステークホルダーに及ぼす潜在的な影響／インパクトの程度

ステークホルダーのマップ



一年を通して、アルマーニグループは、主な参照点を通じて、また事業分野との関係に応じて、さまざまな方法でステークホルダーに関与しています。



次の評価フェーズのために、関心のある持続可能性の課題を特定し、その潜在的な／既存の影響、正の／負の影響に関する予備的マッピングを行います。

これまでの2つのフェーズで得られた結果を踏まえ、アルマーニグループとそのステークホルダーにとって潜在的に重要な持続可能性の課題のリストを特定し、経済、環境、人々、人権に関連する、潜在的／既存の正／負の影響を事前にマッピングすることが可能になりました。

具体的には以下の19の持続可能性の課題が特定されました。これらは優先的行動領域に関連づけられ、6つのESGマクロ領域に分類されています。

優先的行動領域	ESGマクロ領域	持続可能性の課題
人間	従業員のウェルビーイングと能力開発	ダイバーシティとインクルージョンの促進
		人材の誘致と従業員のウェルビーイング
		従業員のトレーニングと能力開発
地球	環境保護および効率的な資源活用	職場における健康と安全
		気候変動とエネルギー効率
		生物多様性の保護
		海洋の保護
繁栄	地域社会への支援と参加	水資源の管理
		エコデザイン、製品ライフサイクル、循環経済
	顧客重視	地域社会と地域への支援
		情報管理とプライバシー
		製品の品質および安全基準
	責任あるサプライチェーンの管理	ブランドの強化と保護
製品のラベル表示とコミュニケーション		
人権と労働者の権利の尊重		
取締役会に関連	経済価値の創出と分配	バリューチェーンと生産チェーンにおける持続可能性
		原料の持続可能な調達
		コンプライアンスとビジネス倫理



オンラインアンケートや1対1およびグループでのインタビューを通じてステークホルダーを関与させ、重要テーマを特定するための主要テーマを評価しました。

潜在的に関連性のある持続可能性のトピックを定義した後、詳細な評価を目的として、広範なステークホルダー・エンゲージメント活動を実施しました。このプロセスは、当社グループの経営陣とそのステークホルダーの話を聞き、関与する重要な機会であることがわかりました。

例年よりも幅広いステークホルダーのカテゴリーを対象にし、グループ内の多くの視点を代表するグローバルなステークホルダーを巻き込むことを目的としていました。この取り組みによって、一方では持続可能性の認識を広め、その文化を強化し、他方ではステークホルダーとの関係を固めることに成功し、異なるニーズと期待がもたらされる結果となりました。

オンラインアンケートと1対1のインタビューに約1,300人のステークホルダーが参加し、回答率は約70%でした（ここでは、第1層から第2層までの経営陣約100名、従業員約680名、その他さまざまなカテゴリーから約100名、金融界、顧客、地域社会、非政府組織（NGO）、非営利組織および第3セクター、メディアおよびインフルエンサー、ライセンサーおよびビジネスパートナー、サプライヤー、大学および研究所、業界団体、企業団体、行政が含まれます）。

ステークホルダー・エンゲージメント

約 1,300 人 約 70% 10 カテゴリー

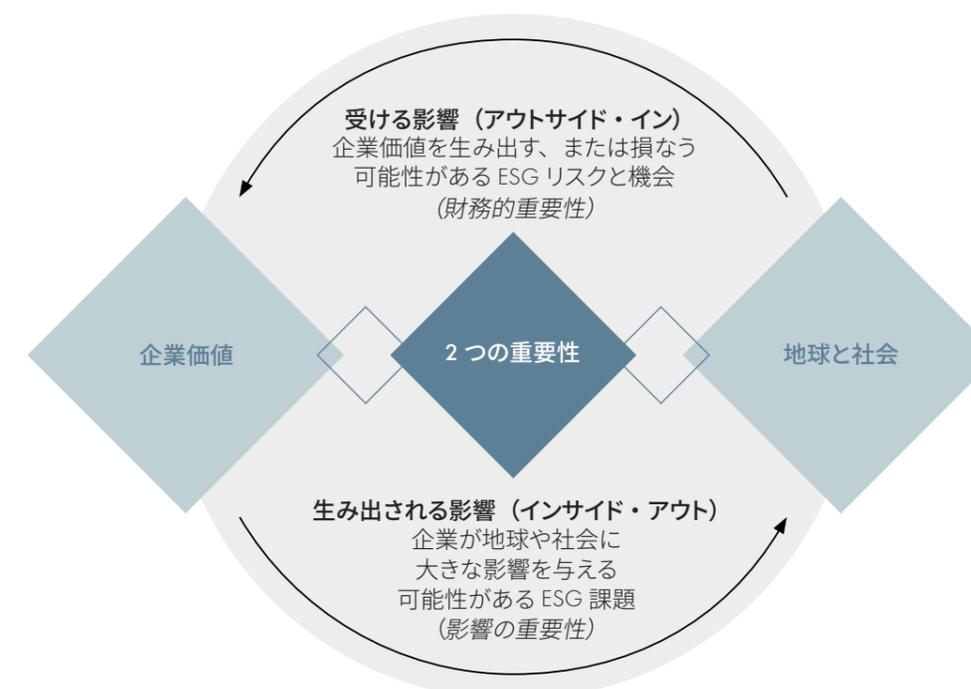
関与した ステークホルダー	オンライン アンケートへの 回答率	ステークホルダーが関与
------------------	-------------------------	-------------

この活動により、グループは、特定された持続可能性の問題と関連する影響について関連性を評価するだけでなく、中長期的な戦略的検討のための重要なアイデアも収集できるようになりました。

2つの重要性と評価手順に関する詳細な分析

当社グループは持続可能性の課題について、初めて**2つの重要性の視点**、つまり二重の視点からの評価を行いました。

- **影響の重要性（インサイド・アウト）**：これらのトピックが社会や環境に与える影響を考慮したもの
- **財務的重要性（アウトサイド・イン）**：事業価値に影響を及ぼす可能性のある ESG リスクとそれに伴う機会を考慮したもの



例えば、気候変動とエネルギー効率というテーマにおいては、生み出される影響（インサイド・アウトの視点）のうち、グループの活動に関連して発生する大気への排出を考慮し、受ける影響（アウトサイド・インの視点）のうち、物理的リスクと移行リスクの要素（潜在的制裁／規制遵守、事業継続性など）を考慮しました。使用されるアプローチは、企業サステナビリティ報告指令（CSRD）に関連する報告方法の進化に合わせて、今後さらに発展させる予定です。

具体的には、関与した経営陣は、その影響の重要性と財務的重要性の両方の観点から問題を評価しました。一方、ステークホルダーは、各自の意思決定のニーズや見通しに照らして、持続可能性の問題を関連性に基づいて評価し、生み出される影響だけを考慮しました（インサイド・アウト）。

インパクトの重要性評価においては、GRI スタンダードの開示事項に従い、以下の要素を考慮するよう求めました。

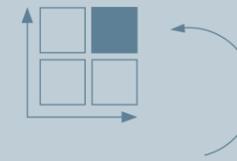
- 規模：影響の重大性
- 範囲：影響の周囲
- 改善不能性：影響を軽減する能力
- 確率：影響の発生頻度
- 貢献：その影響に対するアルマーニグループの貢献度



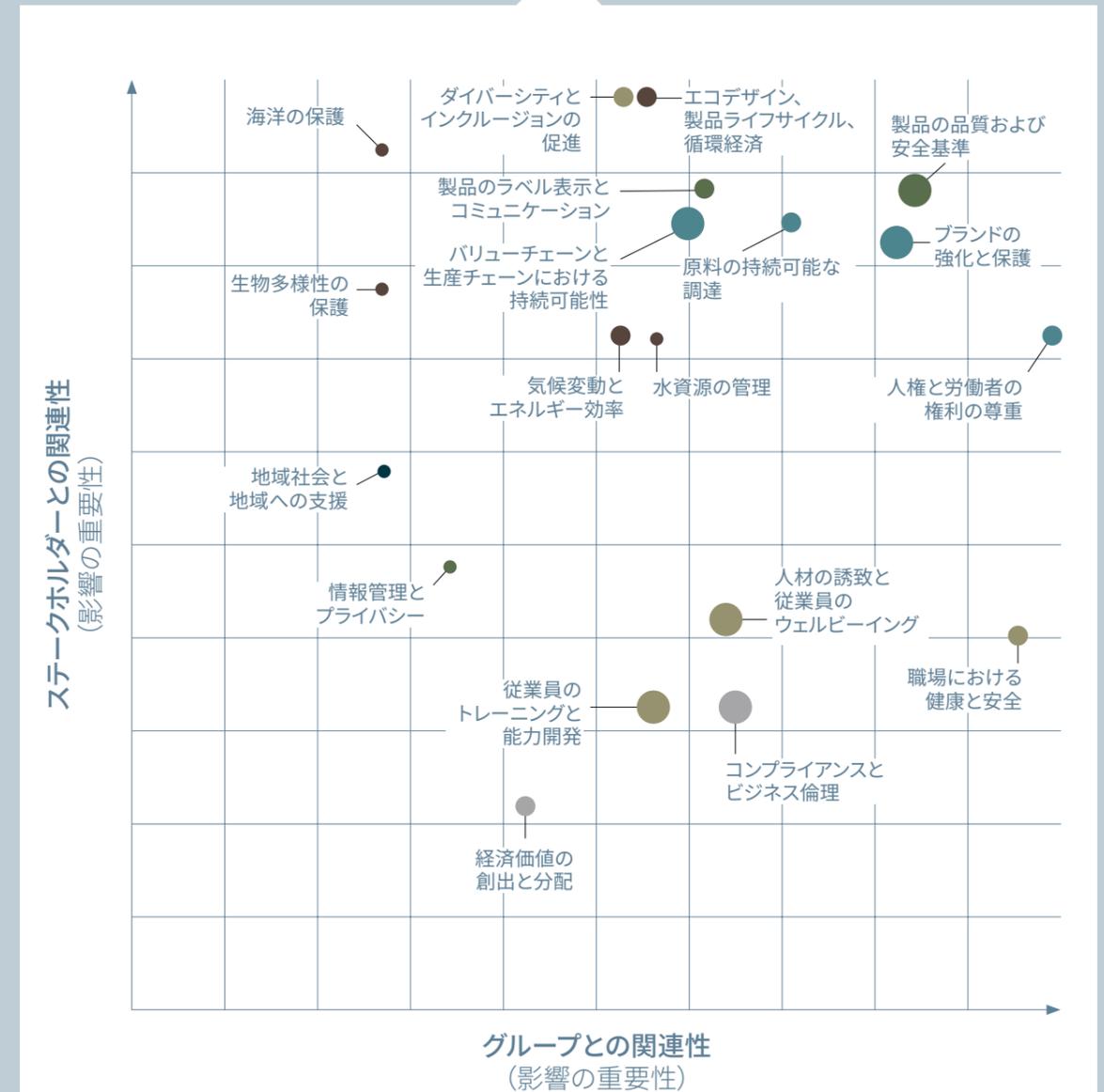
結果の分析とアルマーニグループの重要度マトリックスの作成

ステークホルダー・エンゲージメントのプロセスで収集された評価は、複数の見解と視点を統合するために、一つの共有された視覚的要素に集約されました。それが**重要性マトリックス**です。次に示す重要性マトリックスは、以下を表します。

- X 軸は、影響度評価に基づく各テーマについての経営陣の投票（影響の重要性）
- Y 軸は、各自の意思決定のニーズと見通しに照らした、影響の関連性に基づく、各テーマについてのステークホルダーの投票（影響の重要性）
- 各トピックの円の大きさは、これらの問題に関連して感じられる潜在的／既存の正／負の影響が、グループにとって価値を生み出すか損なうかについての経営陣の投票（財務的重要性）



重要性マトリックス



凡例

財務的重要性 (関連性・円のサイズ)



マクロ参照領域 (色)

- 従業員のウェルビーイングと能力開発
- 環境保護および効率的な資源活用
- 責任あるサプライチェーンの管理
- 顧客重視
- 地域社会への支援と参加
- 取締役会に関連

評価されたすべての持続可能性の課題は、関連性の観点から中～高のスコアを獲得しています。特に、**製品の品質と安全基準**は、当社グループとそのステークホルダーの双方にとって最も重要なテーマになっています。

影響の重要性に関して、最も重要な 10 の問題は次のとおりです。

- 製品の品質および安全基準
- ブランドの強化と保護
- 人権と労働者の権利の尊重
- 原料の持続可能な調達
- 製品のラベル表示とコミュニケーション
- 気候変動とエネルギー効率
- 水資源の管理
- バリューチェーンと生産チェーンにおける持続可能性
- エコデザイン、製品ライフサイクル、循環経済
- ダイバーシティとインクルージョンの促進

財務的重要性に関して、最も重要な 6 つの問題は次のとおりです。

- 製品の品質および安全基準
- ブランドの強化と保護
- バリューチェーンと生産チェーンにおける持続可能性
- 人材の誘致と従業員のウェルビーイング
- コンプライアンスとビジネス倫理
- 従業員のトレーニングと能力開発

アルマーニグループは、ステークホルダーとの対話を特に重視しており、今回の活動のフォローアップとして、すべての参加者にフィードバックを送るとともに、各ステークホルダーのニーズを収集し続けるために、年内に追加のフィードバックの機会を設けることを約束しています。

ESG リスクと機会

2021 年を通じて、アルマーニグループは、グループの戦略的アプローチと上記の 2 つの重要性の分析に沿って、持続可能性の文脈に関連した主要な外部リスクと機会のマッピングを開始しました。

特に、社内のリスクオーナーを巻き込んだ活動や、世界経済フォーラムの「グローバルリスク報告書 2022」やアリアンツの「2022 年の主要事業リスクの特定」などの参考文献で取り上げられている主な ESG リスクをもとに、国際的に最も優れた参考フレームワーク（COSO フレームワークなど）に基づき、当社グループが**近い将来、企業リスク管理（ERM）の改善パスを開発**するために特に重要な分野を検討することが可能になりました。



以下は、グループの戦略的に関心のある分野、特定された重要課題、および今日までにマッピングされた外部要因の主な固有リスクとの間に確認された相関関係です。

今後、ESG リスクと機会についての理解と測定が進むにつれ、それらが当社グループとそのステークホルダーに与える影響に基づいて、この表明は更新されるものとします。

優先的行動領域	ESG マクロ領域	関連する持続可能性の問題	主な固有の外部リスク要因
人間	従業員のウェルビーイングと能力開発	ダイバーシティとインクルージョンの促進 人材の誘致と従業員のウェルビーイング 従業員のトレーニングと能力開発 職場における健康と安全	<ul style="list-style-type: none"> 労働と生活の危機 社会的結束の崩壊と若者に広がる失望感 熟練した労働力の欠如と社員の離職 パンデミック、伝染病、精神的ウェルビーイングの低下
地球	環境保護および効率的な資源活用	気候変動とエネルギー効率 生物多様性の保護 海洋の保護 水資源の管理 エコデザイン、製品ライフサイクル、循環経済	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動、生物多様性の喪失、生態系の崩壊 気候変動活動の失敗 異常気象 人間による環境破壊 自然災害 汚染により引き起こされる人間の健康被害
地域社会への支援と参加	地域社会への支援と参加	地域社会と地域への支援	
繁栄	顧客重視	情報管理とプライバシー 製品の品質および安全基準 ブランドの強化と保護 製品のラベル表示とコミュニケーション 人権と労働者の権利の尊重	<ul style="list-style-type: none"> サイバー攻撃 供給遮断 サプライチェーン上での人権侵害 コンプライアンス不履行、第三者の ESG コンプライアンス不履行 関連市場における予想外の展開 原料の供給不足
	責任あるサプライチェーンの管理	バリューチェーンにおける持続可能性 原料の持続可能な調達	
取締役会に関連		コンプライアンスとビジネス倫理 経済価値の創出と分配	<ul style="list-style-type: none"> 法律および規制の大幅な変更 経済大国の債務危機 持続的な経済の停滞とインフレ 外部要因による事業の中断 マクロ経済の発展

気候変動リスクと機会

アルマーニグループは、業界文献分析、ベンチマーク分析、当社の事業モデルとコーポレートガバナンスに関連するトレンドの評価を通じて、潜在的な気候変動リスクと機会を特定し、当グループの戦略に大きな影響を与える可能性のあるすべての気候変動問題を包括的にマッピングし、その後評価することを目指しています。

サステナビリティ戦略委員会は、気候に関連するあらゆるリスクと機会要因を評価します。また、環境面に関してグループが生み出す影響の妥当性の評価において、ステークホルダーの協力も得ています。

重要なリスクと機会要因については、継続的な改善を視野に入れ、最も適切なフォローアップを特定するために、**常時監視**を行うことを徹底しています。

気候変動リスク評価に関する詳細な情報は、当社グループが作成・発信している CDP 気候変動質問書で紹介しています⁷。

7. 詳細については、ウェブサイト (www.cdp.net/en/scores) をご覧ください。

1.3.2 成果と将来の目標

達成した主な成果 (2019 年～ 2020 年～ 2021 年)

過去の活動としっかり関連づけ、現在と将来のイノベーションを目指しながら、戦略的な分野で継続的かつ統合的に進化を遂げるという状況の中で、以下に過去 3 年間の活動で得られた主な成果の一部を、「人間」「地球」「繁栄」の 3 分野に分けて報告します。

人間

従業員の**ウェルビーイングに関する取り組み**についての満足度分析を開始するという目的を達成しました。また、スマートワーク規制の定義も行いました。**人的資本開発プロジェクト**の分析範囲を拡大し、ダイバーシティとインクルージョンの目標に向けたいくつかの取り組みを計画しました。女性のエンパワーメントプロジェクトの特定と測定の方法を分析し、ESG トピックに関する社内研修や啓発活動をさらに充実させ、グローバルに展開しました。

スマートワークの内部規制を定義



地球

グループの CO₂ 排出量のマッピングが完了し、気候変動に影響を与える排出量の緩和計画が実行されています。イタリアにおける電力供給契約のマッピングが完了し、アルマーニグループは今後、環境負荷の軽減に向けた改善策の特定と実施を進めていきます。これに関連して、当社グループのイタリアのオフィスや店舗で使用する電力を 100% 再生可能資源から調達するという目標を、予定時期よりも 2 年早く達成しました（従来は 2023 年までの計画）。

イタリアの拠点と店舗で、再生可能資源からの電力 100% に

原材料研究の面では、ASP（アルマーニ サステナビリティ プロジェクト）の protocols が、現在までに社内で新たに共有された原料や生産プロセスに関するガイドラインに統合されました。包装材のマッピングに関しては、プラスチックを再生プラスチックに、従来の紙を FSC 認証紙に置き換えることで長年にわたって達成されてきたポジティブな影響の定量化を進めています。同時に、生物多様性の保護を確実にするための戦略も策定されています。

繁栄

当グループのサプライチェーンを形成するコラボレーターについては、**サプライヤー向けにサステナビリティに関する規範を策定**しました。意識と関与のレベルを段階的に高めていくことを目的としています。また、社会と環境の観点からサプライチェーンのマッピングの分析を進め、モニタリングや監査の手法も改良されています。

地域社会への支援と関与のための取り組みは、グループの戦略の中核をなしています。2021 年、アルマーニグループは、最も弱い立場にあるグループや困難な状況にある人々や子どもたちに必要な物資や支援を提供するための活動をしている病院や非営利団体、さらには、科学研究や地域やスポーツなどの文化活動に対して、寄り添う姿勢を示しました。

QR コードから入手可能なコンテンツを拡充し、そこから顧客を取り込む計画が、一部のコレクションで進んでおり、やがてはグループの全ラインに拡大することを目指しています。

持続可能性に関する店舗チームのトレーニングは昨年より計画通りに開始されました。企業ウェブサイトのエンゲージメント改善にも取り組み、その結果、2022 年に新しいアルマーニ / バリュウのウェブサイトの立ち上げに至りました。

アルマーニ / バリュウ

透明性と対話を促進する目的で、2021 年を通して新しいアルマーニ / バリュウのウェブサイトの開発とコンテンツの改善を進め、2022 年に開設しました。アルマーニ / バリュウは、アルマーニグループのストーリーを、過去の重要なプロジェクトと現在および将来のプロジェクトを通して、特に企業責任に関して示された取り組みに焦点を当てながら、根本的に進歩させるものです。

このウェブサイトは、グループの価値観を詳細に記述し、アルマーニの世界に関するニュースや情報、グループの歴史に興味を持つ人たちの参照点となることを目的としています。このウェブサイトは広く包括的な概観を提供するものであり、コンテンツは詳細な情報に富んだ合理的な構成になっています。**人間、地球、繁栄**という大きな 3 つのセクションに分かれており、その前に概要を紹介するセクションがあります。



将来に向けた新たな目標

これまでの取り組みを踏まえ、バリューチェーン全体を横断するようなアプローチで、新たに持続可能性計画を更新し、開発しました。この計画は、社内の計画立案と戦略分析プロセス、ステークホルダーの貢献、国内外のワークテーブルへの参加によって強化されたものであり、国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）に準拠しています。新しい持続可能性計画は、上述のように、**事業戦略に完全に統合**されています。3つの戦略的関心分野（**人間、地球、繁栄**）のそれぞれに含まれ、それぞれが具体的な目標と指標にリンクしています。

具体的には、新たな持続可能性計画を設定する際に参照したモデルを以下の図に示します。ステークホルダーの期待や社内外の状況の変化は、ガバナンスのベストプラクティスの定義や、イノベーションと継続的改善のための戦略的計画にとって、このフレームワークにおいて不可欠な要素となっています。定義された目標は、このアプローチに照らして定期的に分析・更新されます。また、継続的なトレーニングを通じて社内外のパートナーが追求するものであり、継続的な改善および改良を続ける中で、監視・評価・伝達されます。



ステークホルダーの期待 / 社内外の状況の進化

ガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標

イノベーション、継続的改善、持続可能性

Less is More (少ない方が豊かである)



人間



地球



繁栄

人々のウェルビーイング、能力開発、インクルージョン、独自性

- 国内プロジェクトや国際的なプロジェクトを通じて、ダイバーシティ、公平性、インクルージョンを促進するための継続的なプロセスを追求する
- 女性のエンパワーメントプロジェクトを特定・分析・測定するプロセスを強化する
- 世界中で福利厚生を特定し、拡大する
- 人的資本開発プロジェクトの分析の枠組をパフォーマンスプロセスに拡張する
- 人材の発掘と誘致を継続的に改善するためのプロジェクトに道筋をつけ、開発を継続する
- 職場の従業員の健康や安全とウェルビーイングに関する測定手法を評価する
- 持続可能性の各領域を統合することにより、従業員の意識向上とトレーニングの継続的なプロセスを継続する

環境保護および効率的な資源活用

- 2030年までに、スコープ1とスコープ2のGHG絶対排出量を2019年比で50%削減する
 - 2023年までに、アルマーニグループのイタリアのオフィスと店舗で使用する電力の100%を再生可能資源由来にする
 - 2025年までに、アルマーニグループのヨーロッパのオフィスと店舗で使用する電力の100%を再生可能資源由来にする
- 2029年までに、スコープ3のGHG絶対排出量を2019年比で42%削減する
- エコデザインおよび循環プロジェクトにおける意識向上の道筋をつける
- 水資源への影響について、詳細な測定手法の使用を開始する
- 100%FSC / PEFC 認証紙の購入を達成する：B2Cでは2025年までに、B2Bでは2030年までに実現
- 生態系、保護種、絶滅危惧種、生物多様性を保護するための再生プロジェクトを特定し、実施する
- 海洋保護のベストプラクティスを推進する
 - 使い捨てプラスチックの包装材料への使用を撤廃する：B2Cでは2025年までに、B2Bでは2030年までに実現
 - 包装材料の購入の50%を再生プラスチックにする：B2Cでは2025年までに、B2Bでは2030年までに実現

経済的、社会的、環境的価値を創造し、利益を生み出し、地域社会の利益のために行動するための新しいビジネスモデル

- 2025年までに低環境負荷の原料を25%使用するという目標に向け、引き続き、より持続可能な原料を模索する
- 2025年までに主要原料のトレーサビリティを100%にするという目標を達成するための取り組みを継続する
- バリューチェーンに沿った公正な関係と持続可能な行動を促進し、啓発、監視、サポート、コミュニケーションツールの開発を通じて、関係サプライヤーのパフォーマンスを社会・環境基準に基づいて評価する
- 物理的およびデジタルチャネルを通じて、持続可能性の問題に関する顧客や他のステークホルダーとのコミュニケーションを改善・強化する
- 製品の品質、ラベル表示、安全性に関するポリシーを継続的に強化する
- デジタル製品パスポートを導入し、QRコードで入手できる製品コンテンツを拡大する
- 会社の戦略およびインパクト測定ツールと統合された、グローバルコミュニティのサポートとエンゲージメントイニシアチブを継続的に特定して採用する

参照する SDGs



パートナーシップ、トレーニング、モニタリング、評価、コミュニケーション

2. 人間の価値

従業員のウェルビーイングは常に私たちの行動の中心にあります。従業員の成長を常に考え、人材開発を最大の目標としています。

数字とファクトで見る 2021 年

従業員

上級管理職およびシニアマネージャーの 51% が女性（12 月 31 日時点での総人数に占める割合）
全従業員の 63% が女性（12 月 31 日時点での総人数に占める割合）

トレーニング

2020 年比でトレーニングが 20% 増加

ダイバーシティ・リーダー・ランキング

 イタリアで 1 位
ヨーロッパで 2 位
(2020 年比で 4 位上昇)

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症検査とワクチンを全従業員に無料で提供

2.1 従業員のウェルビーイングと能力開発

2.1.1 グループの従業員⁸

2021 年 12 月 31 日現在のアルマーニグループの従業員数は **8,304** 名で、2020 年比でわずかに増加 (+1%)、2019 年比で減少 (-3%) しました。**グループの社員の 63% は女性**であり、男女平等を促進するというグループの具体的な取り組みのさらなる証拠として、上級管理職およびマネージャーの業務区分において、女性はそれぞれ 48% と 52% を占めています。**当社グループの社員の約半数は 30 ~ 50 歳 (55%) の年齢層に属し**、30 歳未満の従業員は 2,106 人です。これは新しい世代に機会を提供し、人材成長を促進することへの真の関心が表れています。**雇用契約の大半はフルタイムの無期契約であり、それぞれ全契約の 89% と 83% を占めています。**

従業員に加え、主に派遣社員として働く社外従業員が、2021 年時点で 679 名います。

63%
女性従業員

55%
30 ~ 50 歳の
従業員

83%
無期契約

89%
フルタイム
契約

8. 非財務報告における継続的改善プロセスに連動した、新しい業績指標を組み込んだことを受け、一部の指標については 2019 年度の比較情報を提供していません。

9. 2019 年および 2020 年の社員数は、データの収集および処理プロセスの継続的な改善により、前回の発表内容から更新されました。前回の公開データについては、当グループのウェブサイト「サステナビリティレポート 2020 年版」を参照してください。

12 月 31 日時点での職能別および男女別の従業員数

職能区分	2021			2020 ⁹			2019 ⁹		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
上級管理職	160	145	305	173	155	328	180	152	332
マネージャー	570	625	1,195	581	629	1,210	582	619	1,201
事務職	702	1,601	2,303	699	1,617	2,316	713	1,705	2,418
販売員 / 営業職	1,168	2,273	3,441	1,148	2,199	3,347	1,246	2,250	3,496
作業員	483	577	1,060	418	603	1,021	438	636	1,074
合計	3,083	5,221	8,304	3,019	5,203	8,222	3,159	5,362	8,521

12 月 31 日時点での職能別および男女別の従業員の割合

職能区分	2021			2020 ⁹			2019 ⁹		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
上級管理職	1.9%	1.7%	3.7%	2.1%	1.9%	4.0%	2.1%	1.8%	3.9%
マネージャー	6.9%	7.5%	14.4%	7.1%	7.7%	14.7%	6.8%	7.3%	14.1%
事務職	8.5%	19.3%	27.7%	8.5%	19.7%	28.2%	8.4%	20.0%	28.4%
販売員 / 営業職	14.1%	27.4%	41.4%	14.0%	26.8%	40.7%	14.6%	26.4%	41.0%
作業員	5.8%	6.9%	12.8%	5.1%	7.3%	12.4%	5.1%	7.5%	12.6%
合計	37.1%	62.9%	100%	36.7%	63.3%	100%	37.1%	62.9%	100%



12月31日時点での年齢別および職能別の従業員数

職能区分	2021				2020			
	30歳未満	30～50歳	50歳超	合計	30歳未満	30～50歳	50歳超	合計
上級管理職	13	178	114	305	14	202	112	328
マネージャー	125	831	239	1,195	128	852	229	1,209
事務職	277	1,415	611	2,303	360	1,477	486	2,323
販売員 / 営業職	1,477	1,699	265	3,441	1,253	1,793	302	3,348
作業員	214	482	364	1,060	196	470	348	1,014
合計	2,106	4,605	1,593	8,304	1,951	4,794	1,477	8,222

12月31日時点での年齢別および職能別の従業員の割合

職能区分	2021				2020			
	30歳未満	30～50歳	50歳超	合計	30歳未満	30～50歳	50歳超	合計
上級管理職	0.2%	2.1%	1.4%	3.7%	0.2%	2.5%	1.4%	4.0%
マネージャー	1.5%	10.0%	2.9%	14.4%	1.6%	10.4%	2.8%	14.7%
事務職	3.3%	17.0%	7.4%	27.7%	4.4%	18.0%	5.9%	28.3%
販売員 / 営業職	17.8%	20.5%	3.2%	41.4%	15.2%	21.8%	3.7%	40.7%
作業員	2.6%	5.8%	4.4%	12.8%	2.4%	5.7%	4.2%	12.3%
合計	25.4%	55.5%	19.2%	100.0%	23.7%	58.3%	18.0%	100.0%

12月31日時点での年齢別および男女別の従業員数

年齢層	2021			2020 ⁹			2019 ⁹		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
30歳未満	868	1,238	2,106	757	1,194	1,951	900	1,392	2,292
30～50歳	1,646	2,959	4,605	1,747	3,047	4,794	1,808	3,111	4,919
50歳超	569	1,024	1,593	515	962	1,477	451	859	1,310
合計	3,083	5,221	8,304	3,019	5,203	8,222	3,159	5,362	8,521

12月31日時点での契約タイプ別（正社員および契約社員）、男女別、地域別の従業員数

地域	契約タイプ	2021			2020		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計
イタリア	無期雇用	982	1,933	2,915	992	1,967	2,959
	有期雇用	55	71	126	63	76	139
	イタリア合計	1,037	2,004	3,041	1,055	2,043	3,098
アメリカ大陸	無期雇用	807	967	1,774	795	951	1,746
	有期雇用	76	113	189	14	32	46
	アメリカ大陸合計	883	1,080	1,963	809	983	1,792
ヨーロッパ	無期雇用	341	494	835	334	503	837
	有期雇用	93	113	206	71	109	180
	ヨーロッパ合計	434	607	1,041	405	612	1,017
アジア太平洋	無期雇用	464	759	1,223	491	749	1,240
	有期雇用	227	698	925	225	749	974
	アジア太平洋合計	691	1,457	2,148	716	1,498	2,214
その他の地域	無期雇用	38	73	111	34	67	101
	有期雇用	0	0	0	0	0	0
	その他の地域全体	38	73	111	34	67	101
合計 ¹⁰	無期雇用	2,632	4,226	6,858	2,646	4,237	6,883
	有期雇用	451	995	1,446	373	966	1,339
	合計	3,083	5,221	8,304	3,019	5,203	8,222

9. 2019年および2020年の社員数は、データの収集および処理プロセスの継続的な改善により、前回の発表内容から更新されました。前回の公開データについては、当グループのウェブサイトですステナビリティレポート2020年版を参照してください。

10. 2019年12月31日現在、正社員8,007名（うち男性2,970名、女性5,037名）、有期雇用 / 契約社員514名（うち男性189名、女性325名）が在籍。2019年の労働力に関するデータは、データの収集および処理プロセスの継続的な改善により、前回の発表内容から更新されました。前回の公開データについては、当グループのウェブサイトですステナビリティレポート2020年版を参照してください。

12月31日時点での契約タイプ別（フルタイムおよびパートタイム）、男女別の従業員数

契約タイプ	2021			2020 ⁹			2019 ⁹		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
フルタイム	2,814	4,556	7,370	2,775	4,504	7,279	2,806	4,489	7,295
パートタイム	269	665	934	244	699	943	353	873	1,226
合計	3,083	5,221	8,304	3,019	5,203	8,222	3,159	5,362	8,521

12月31日時点での男女別および職能別の社外労働者数

社外労働者の区分	2021			2020		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
派遣社員	184	419	603	70	219	289
自営業者（VAT 番号など）	0	0	0	0	1	1
研修生	23	53	76	11	33	44
その他	0	0	0	0	0	0
合計	207	472	679	81	253	334

2021 年には、アルマーニグループの 198 名の従業員が育児休暇を取得しました。そのうち 82% が女性、18% が男性でした。

2.1.2 ダイバーシティ、インクルージョン、機会均等

性別、肌の色、民族性、社会的背景、年齢、性的・政治・宗教的志向は、アルマーニグループの多様性を表しています。いかなる形の差別もなくして行動するというコミットメントは、グループの価値観に深く根ざしています。

プロフェッショナルな機会と成長の機会は、社内のすべての人に保証されています。個人の能力とイニシアチブがこの原動力になっています。ダイバーシティは育み、強化すべきリソースであり、インクルージョンは道徳上かつプロとしての義務です。この取り組みを支援するため、グループの人事部に**ダイバーシティ&インクルージョン部門**を設立しました（2020 年）。2021 年には、いくつかのイニシアチブが発足しました。

- グループポリシーの草案、全支店と本社から人事担当者が参加するアルマーニ / グローバルインクルージョンプロジェクトの発足
- 「ダイバーシティと対策」ウェビナーの実現に向けたウンベルト・ヴェロネージ財団とのコラボレーション
- ダイバーシティに関するトレーニングのイニシアチブを開発するためのミラノ工科大学とのコラボレーション開始
- ダイバーシティとインクルージョン（D&I）の問題に関するイタリアファッション協会の人材円卓会議への参加
- 内部告発ポリシーの作成、D&I 問題に関する社内の全部門への支援および協力

アルマーニグループは、フィナンシャル・タイムズ紙による「ダイバーシティ・リーダー・ランキング」で 2 位を獲得しました。**ダイバーシティ・リーダー・ランキング**は、考慮するすべての国と業界における従業員数 10 万人以上の企業を対象とした独立調査に基づいています。

フィナンシャル・タイムズ紙の「ダイバーシティ・リーダー・ランキング」においてイタリアで 1 位、ヨーロッパで 2 位に選出

2.1.3 トレーニングの提供

アルマーニグループは、さまざまな能力で会社の成功に貢献する人々の職業的な成長と能力開発を大切にしています。

このため**人材開発（L&D）**チームは、さまざまなビジネス機能のニーズを満たす最適なトレーニングソリューションを常に模索しています。今役立つスキルを強化し、未来に役立つスキルを提供するためです。

9. 2019 年および 2020 年の社員数は、データの収集および処理プロセスの継続的な改善により、前回の発表内容から更新されました。前回の公開データについては、当グループのウェブサイトサステナビリティレポート 2020 年版を参照してください。

2021 年には対面でのトレーニングが再開し、バーチャルトレーニングと組み合わせることで、真のハイブリッドアプローチが実現しました。

主な投資分野



技術、言語、
IT の分野



個人とチームの
両レベルにおける、
実際の行動と期待される
行動の分野



リーダーシップ開発分野

2020 年に発足した **GROW@Armani** は、作業員、生産現場のディレクター、そのチームに向けたトレーニングに特化したオンラインプラットフォームです。新しい e ラーニングパスによって、提供されるトレーニングが拡大します。トレーニングは次の 5 分野に分類されます。

LEARN2BELONG

企業コンテンツと、ジョルジオ アルマーニおよびグループの歴史（ビデオ、ドキュメンタリー、書籍など）に特化

LEARN2LEAD

マネージャー向けに開発された、リーダーシップ開発（個人および管理職のリーダーシップ）および人事管理のコース

LEARN2BE

行動スキルの向上にフォーカスした内容

LEARN2DO

言語やコンピュータのスキルのコースや、パブリック・スピーキング、効果的なコミュニケーションなどのスキルを扱うコースなど、さまざまな種類の技術コンテンツが豊富

LEARN2THINK

コンテンツライブラリにアクセスし、自分の考えをもとに実践する場

2021 年、アルマーニグループは、従業員 1 人当たり平均約 17 時間、合計で 138,702 時間のトレーニングを提供しました。2021 年に実施された主なトレーニングは、プロフェッショナルトレーニングプログラム、倫理規範の普及、ガバナンスおよび健康と安全に関する他の側面を扱ったものでした。

職能別および男女別の従業員 1 人あたりのトレーニング平均時間¹¹

職能区分	2021			2020			2019		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
上級管理職	27.6	35.3	31.3	25.2	32.1	28.5	21.0	24.2	22.5
マネージャー	24.6	27.8	26.3	19.6	23.7	21.7	20.5	23.5	22.1
事務職	7.7	6.2	6.7	6.3	6.1	6.2	9.0	8.9	8.9
販売員 / 営業職	22.6	18.2	19.7	17.4	15.3	16.0	23.2	18.8	20.4
作業員	12.5	14.9	13.8	12.3	5.5	8.3	12.3	5.4	8.2
合計 ¹²	18.2	15.8	16.7	15.0	12.8	13.6	17.8	14.8	15.9

能力別のトレーニング時間

能力分野	2021	2020 ¹³	2019 ¹³
上級管理職へのトレーニング	19,739	18,762	11,475
プロフェッショナルトレーニング	45,968	33,360	43,972
言語トレーニング	5,397	4,531	2,878
倫理規範（組織モデル 231 など）	31,590	23,676	38,404
健康と安全	28,418	23,826	27,547
その他	7,591	11,037	11,335
合計	138,702	115,191	135,610

11. 2021 年に当社グループの従業員に提供された平均トレーニング時間をより正確に示すため、計算方法を改め、2019 年と 2020 年の数字を前回発表したものから修正再表示しました。新しい計算方法では、職種カテゴリー別および男女別に提供されたトレーニング時間を、12 月 31 日時点でこれらの特定カテゴリーに属している従業員数で割って計算されています。

12. サステナビリティレポート 2020 年版では、2019 年に従業員に提供された平均トレーニング時間は、サステナビリティレポート 2021 年版で報告されたものとは異なる計算方法を使用しています。2020 年版では、トレーニングの合計時間をトレーニングに関与した従業員数で割って計算されています。この計算方法に従うと、2019 年に提供されたトレーニング平均時間は、男性で 12 時間、女性で 11 時間、全体では 11 時間でした。

13. 2019 年および 2020 年の能力分野別トレーニング時間に関するデータは、データの収集および処理プロセスの継続的な改善により、前回の発表内容から更新されました。前回の公開データについては、当グループのウェブサイトサステナビリティレポート 2020 年版を参照してください。

サステナビリティの意識向上を目指す活動に参加する従業員は約 500 名

前回の報告内容に加え、2021 年にサステナビリティ部門は各ビジネスユニット / オフィスを巻き込み、サステナビリティに関する社内意識改革を実施しました。この改革には、具体的な問題（サプライヤー、原材料、顧客としてのステークホルダーの関与、非営利団体に向けたサステナビリティに関する規範など）に基づいて、あらゆるレベルの従業員約 500 人が参画しました。

人材の成長

一人ひとりの才能を高めることは、L&D チームにとって日々の業務の出発点であり、目標でもあります。2021 年、チームは他の人事部門と協力し、さまざまな成長過程に関与する主要人材と役割の明確化に注力しました。これは、2022 年から本格的な導入が予定されています。人材はあらゆる場所に存在しているということを認識しつつ、当初はミラノオフィス、小売部門、世界中の子会社で働く人々への投資を中心としていました。

パフォーマンスに関する対話

64% の従業員にパフォーマンスレビューを提供

2021 年を通して、アルマーニグループの従業員の半数以上（64%）がパフォーマンスレビューを受けました。内訳は、上級管理職で 79%、マネージャーで 94%、事務職で 36%、セールス担当で 78%、作業員で 42% でした。

パフォーマンスおよびキャリア開発に関する評価を受けた従業員

職能区分	2021		
	男性	女性	合計
上級管理職	111	130	241
マネージャー	502	619	1,121
事務職	268	571	839
販売員 / 営業職	927	1,762	2,689
作業員	247	201	448
合計	2,055	3,283	5,338

新しいパフォーマンスレビュープロセス（人的資本開発と呼ぶ）には、当社グループの本社とイタリアの店舗で働く人々の約 65% が関わりました。このプロセスでは継続的な改善に焦点を当て、組織内でフィードバック文化を確立することを目指しています。会社の価値観を反映したコンピテンシーモデルから始まり、評価フォームが構築され、従業員が自己評価を行い、マネージャーから評価を受け、マネージャーを評価できるようになりました。さらにパフォーマンスレビュープロセスにより、個人やチームの目標が明確になり、個人の能力開発やトレーニングプランの作成が容易になりました。またこのプロセスは、グループ人事が主導する他の重要なプロセス（報酬、ジョブローテーション、キャリア開発プロセスなど）に対応しています。

グループの本社とイタリアの店舗で働く従業員の 65% が新しいパフォーマンスレビュープロセスに関与

パフォーマンスレビューシステムは、すべてのグループ子会社で導入されています。当社の長期的な目標は、一つの人事管理システムを使用して、プロセスをグローバルに一元管理することです。

小売業界とのコラボレーション

L&D チームは、リテールトレーニング施設と常に協力して、さまざまなブランドのサービスを提供しています。コラボレーションから、いくつかのプロジェクトが生まれました。例として、ミラノの A|X 1 号店オープニングチーム専用のトレーニング、コロナ疲れに関するワークショップの設計、オムニチャネルサービスに関するオンライントレーニングプロジェクトのサポート、店舗で働くあらゆる人材に向けたさまざまな個別のトレーニングや成長パスなどが挙げられます。

2.1.4 福利厚生

福利厚生の大半は、従業員の生活と労働条件の改善を目的とした一連のサービスとイニシアチブが担っています。

「アルマーニ・
ピープル・ケア」
福利厚生
プランを
アップデート

何よりもまず、「アルマーニ・ピープル・ケア」福利厚生プランのアップデートです。正社員とその家族は、年間資金を**医療、社会福祉、教育、交通費、娯楽、スポーツ、旅行、文化関連の商品やサービス**に充てることができます。この取り組みは、Giorgio Armani Operations の法人も対象としています。対象企業は、ボーナスを現金で受け取るか、福利厚生に転用するか、補助年金に転用するかを選択することができます。

「ピープル・ケア」ポータルでは、**従業員向けのパートナーシップ、割引、オファーの幅を拡大**し、食品、テクノロジー、健康、トレーニング、ウェルネス、娯楽など、さまざまな分野で事業展開している企業と提携しています。

また、福利厚生ツールを緊急事態に活用するため、パンデミック初期には社内ジムスペースを**新型コロナウイルス感染症の検査場所**に変え、従業員を対象に定期検査を実施しました。2021 年末には、新型コロナウイルス感染症のプロトコルを順守しながらベルゴニョーネ通り 46 番地の敷地内に**アルマーニ / フィットネスのジム**を再オープンしました。現在、社内ジムは週 5 日オープンしています。200 人以上の会員と 6 人のトレーナーを擁し、1 日に 6 つの時間帯で開講されています。

緊急事態はまた、従業員の私生活と仕事の間で大きな調整を図る必要性について、検討を急がせました。そのため、新型コロナウイルス感染症対策が緩和された後も、当社は**スマートワーク**を自発的に継続し、**出退社の時間に柔軟性を持たせる方針**を取りました。

健康予防への関心が表れた例として、**ウンベルト・ヴェロネージ財団との 3 つの共同ウェビナー**が開催されました。ウェビナーを通して、男女にとっての健康、年齢に合った栄養学、性差医療などのトピックを研究する機会を提供しました。この取り組みは、グループが常に重要視してきたダイバーシティのトピックと強い結びつきがあります。

健康と予防に
関連する
トピックに
ついての
3 つのウェビナー

2019 年に開始された社会保障コンサルティングサービスは、2021 年に再開し、従業員がサービス利用できるようになりました。従業員が専門のコンサルタントと個別にリモートミーティングを行い、年金、拠出金の計算、卒業年償還などについて相談することができます。

交通に関しては、公共交通機関の定期券の事前払いサービスがアップデートされました。これにより、従業員が定期券代を承認し、それに対して補助を受けることができます。

福利厚生サービスを改善していくために、**サービス満足度の把握と今後導入すべき新たなアイデアの収集を目的として、年末にアンケートを実施**しました。このアンケートは、オフィス、ショッパ、生産現場で働く従業員に配布され、結果は非常に肯定的なものでした。収集したデータをもとに、従業員の福利厚生パッケージを改善し、さらに充実した 2022 年の福利厚生プランを作成しました。

「アルマーニ・ピープル・ケア」プラン： 3年間の比較（2019年～2021年）

「アルマーニ・ピープル・ケア」福利厚生プランの全体の利用率は、ロックダウン初期（2020年3月～5月）に減少したものの、2019年から2021年までほぼ同じでした。この3年間を見ると、福利厚生に関するトレーニングの増加により、2021年の利用率が最も高くなり、福利厚生サービスの認知度と利用率がともに向上しました。2019年から2021年まで最も人気の高かったサービスは、上位から順に、医療費の払い戻し、旅行チケットと有給休暇、交通費の払い戻し、教育費の払い戻しでした。具体的には以下のとおりです。



医療費

医療費の請求には、マスク、消毒用ジェル、検査薬、綿棒などの新型コロナウイルス感染症の救急関連製品が含まれることもあり、前年同期比で増加しました。



旅行と有給休暇

新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年と2021年の旅行と有給休暇への利用は2019年に比べて大幅に減少しました。消費率が最も高いのは、夏季と11月です。



学費

学費の支出が最も多い月は9月と10月です。2020年には、容易に利用できる遠隔教育と電子教材の導入が増えたため、教科書購入費に対する払い戻しが減少しました。払い戻し対象となるその他の費用は、食堂サービス、交通費、就学前後のサービスに関するものです。これらの利用率は2020年も減少しており、これはロックダウンの影響と思われます。



公共交通機関の費用

公共交通機関の費用は2020年と2021年に若干に削減しましたが、依然として利用率の高い払い戻しカテゴリーの1つです。

2.1.5 健康と安全

職場における健康と安全の保護は、グループにとって極めて重要であると考えています。ここでは、最高基準が全従業員に適用されることが必須要件となります。

この分野で当社グループが導入した取り組みは、事業を展開する各国の法律に従い、**生産拠点から販売拠点まで、その拠点の特性に基づいて毎年アップデートされる慎重なリスク分析**によるものです。定期的な健康監視、従業員トレーニング、環境改善のための構造的介入は、特定のリスクの防止を目的としたもので、これには会社、新しいスペース、設備、機器に関する取り組みや変更も含まれます。

2021 年も 2020 年と同様に、当社グループは新型コロナウイルス感染症のリスクに立ち向かう必要がありました。通常の労働条件の変更を要請する政府命令により課された制約に適応するため、正社員と非正規社員の健康を守るための例外的措置を採用しています。

新型コロナウイルス感染症対策

閣僚会議の議長の最初の規定以来、当社グループは、プロトコルの起草により規制された措置を採択しました。これは、労働環境における新型コロナウイルス感染症対策と封じ込めに必要とされていたものです。プロトコルの適用を周知させ、監視するために、労働安全保障代表（RLS）が参加する委員会を設置し、定期的に職場査察を実施しています。

講じられた措置は、次の 4 つの主要カテゴリーに分類されます。

- **活動の再編成**：海外渡航を慎重に制限し、可能な部分で実験的にスマートワークを継続することで、出社の回数を減らしました。スマートワークは、医療に関わる緊急事態発生時の従業員のウェルビーイングと健康に寄与すること、また移動のための交通手段を減らすことによって、環境の持続可能性を促進するツールになることが確認されています。疫学的状況が許す限り、対面でのトレーニングや選考面接を段階的に再開しました。ただし、可能な場合には、リモートでの会議や集会を優先しました。
- **コミュニケーションとトレーニング**：ウイルス（症状や伝染方法）に関する知識やその予防対策を共有しました。活動内容には、順守すべき衛生対策と行動指針の普及と、情報請求のためのコミュニケーションチャネルの開設が含まれます。
- **従業員の健康の保護**：ウイルスの拡散と感染を防止します。対策には、マスク、消毒ジェル、その他の個人用保護具の全従業員への配布、検温、すべての作業環境の衛生管理が含まれます。
- **外部パートナーの管理**：特別な通知と規定が適応されるサプライヤー、クライアント、コンサルタントを管理します。これらの措置のうち、アクセス制限が復活しました。事業運営に必要な活動に対してのみ、完全に安全な状態でのみ、アクセスが許可されました。



新型コロナウイルス感染症
予防接種
キャンペーンを
グループ内で
自主的に開始

オフィスの安全を確保するため、2019年6月にオープンした社内ジム、アルマーニ/フィットネスを一時的に新型コロナウイルス感染症の検査場所に変更し、従業員を対象に無料で定期検査を実施しました。また、従業員を守るための計画の一環として、無料のインフルエンザワクチンの接種を自主的に実施しました。これはグローバルレベルで推進されている取り組みです。2021年、当グループは自社の敷地内で、希望者への無料の**新型コロナウイルス感染症予防接種キャンペーン**を開始しました。

本社の従業員が安全に昼食を取ることができるよう、2020年11月現在およびこの緊急事態の終結まで、ベルゴニョーネ通りのスペース内で**ケータリングサービスを実施**し、ボルゴヌオーヴォ通りのオフィスではランチボックスサービスを提供しています。

一連の措置により、アルマーニグループは当局によるすべての検査に合格したほか、状況を管理し、感染を最小限に抑え、社内感染を防ぐことに成功しました。

また、2021年には、グループは既存のプライバシー保護を継続的に強化し、年間を通じて経験した特定の緊急事態に関連する規定や手順を採用しました。特に、グリーンパス採用に関する規定の実施にあたり、従業員の個人データの処理を規制する必要がありました。

数字で見る安全性

2021年には、アルマーニグループの社員で66件、非正規社員で0件の負傷が発生し、記録可能な負傷率は2020年の6.27から5.63に低下しました。2021年、最も多かった負傷タイプは、骨折や捻挫、または切り傷の症例でした。**重症につながる負傷¹⁴は、2021年には0件**、2020年には1件でした。したがって、重症につながる負傷率は0.10から0.00に減少しています。パンデミック後の活動再開により、労働時間は2020年から増加しました。社員については、事故発生率は前年比でやや高い一方、2021年には労働災害による

休業日数は減少し、労働災害の重症度指数や業務上疾患率が低下しました。非正規社員については、これらの指標がゼロであったため、レポート上では報告されていません。このカテゴリーでは、2021年と2020年の労働時間は、それぞれ82,451時間と89,189時間でした。



14. 死亡または6カ月以内の職場復帰が不可能な労働災害。重症につながる負傷率（死亡は除外）は、重症につながる負傷数 / 労働時間 x 1,000,000 で計算されます。

職場での負傷 - 社員¹⁵

	2021	2020 ¹⁶	2019 ¹⁶
記録可能な労働災害の件数	66	65	81
うち、職場での負傷による死亡者数	0	0	0
労働時間	11,725,431	10,362,723	15,351,753
記録可能な労働災害の割合	5.63	6.27	5.28
労働災害による死亡率	0	0	0

健康および安全に関するその他の指標 - 社員

指標	2021	2020 ¹⁶	2019 ¹⁶
労働災害による休業日数	916	2,655	2,142
業務上疾病件数	2	2	5
発生率 ¹⁷	7.95	7.91	9.51
重症度 ¹⁸	0.08	0.26	0.14
業務上疾病率 ¹⁹	0.34	0.39	0.65

15. 負傷率は次のように計算されています。

- 記録可能な労働災害の発生率：記録された労働災害数 / 労働時間数 x1,000,000
- 労働災害による死亡率：労働災害による死亡者数 / 労働時間数 x1,000,000

16. 継続的な改善をはかるため、2019年と2020年の2年間の健康・安全データは、より正確なデータ収集方法を採用し、サステナビリティレポート2021年版の作成時に改訂されました。そのため、2020年までの2年間のデータは修正再表示されています。前回公開されたデータについては、グループウェブサイト「サステナビリティレポート2020年版」を参照してください。

17. 発生率は年間に発生した負傷を示すもので、負傷数に1,000を掛けたものを社員数で割って計算します。

18. 重症度は、負傷の重症度とリスク曝露の度合いに関連し、負傷による休業日数に1,000を掛けたものを労働時間で割って計算します。

19. 業務上疾病率は、業務上疾病の数とリスク曝露の度合いに関連し、業務上疾病の数に2,000,000を掛けたものを労働時間で割って計算します。



3. 地球の価値

すべての衣類は、水、原料、そして私たちを取り巻く自然の数多くの要素から設計されています。

数字とファクトで見る 2021 年

科学的根拠に基づく目標 (2019 年を基準値とする)

- 2030 年までにスコープ 1 および 2 の温室効果ガス排出を 50% 削減
- 2029 年までにスコープ 3 排出量を 42% 削減

成果

- 2019 年比でスコープ 1 および 2 のマーケット基準の排出量を 34% 削減
- 2019 年比でスコープ 3 排出量を 10% 削減 (海上輸送の増加)

再生可能資源からのエネルギー

2020 年比で再生可能資源を使用したエネルギーを 26% 増加

 イタリアで再生可能資源からの電気エネルギーの使用 100% を実現 (予定より 2 年早く目標達成)

B2C 包装

 90% プラスチックフリー、残り 10% のうち 8% はリサイクルまたはバイオベースのプラスチック

3.1 環境保護および効率的な資源活用

環境資源の保護は、アルマーニグループのサステナビリティの基本となる柱です。アルマーニグループは、そのパフォーマンスの継続的な向上に尽力しています。

環境への影響を低減するための効果的な戦略を計画する第一歩として、次の3つのマクロ領域に焦点を当てています。



水とエネルギー消費を最適化し、廃棄物を最小限に抑えるための適切な組織的方法の採用



再生可能エネルギーの利用への移行



廃棄物の分別への配慮と環境保護問題に対する社員の意識改革

当グループは2021年、パリ協定で定められた地球温暖化の抑制に貢献するため、気候変動排出削減の野心的な目標を設定しました。

2019年に記録された数値と比較して、アルマーニグループは具体的に以下に取り組んでいます。

- 2030年までに、スコープ1と2の温室効果ガスの絶対排出量を半減 (-50%)
- 2029年までに、購入した商品やサービス、輸送および流通によるスコープ3の絶対排出量を42%削減

これらの目標は、SBTi（科学的根拠に基づく目標イニシアチブ）によって承認されています。

3.1.1 エネルギー消費と大気への排出

気候変動の緩和という困難な目標を達成するために、アルマーニグループは省エネに重点を置き、エネルギー消費の常時監視に取り組んでいます。

そこで当社グループは、直接的および間接的な排出削減と再生可能エネルギーのシェア拡大のための具体的な行動計画を定義しました。持続可能性計画の目的に沿って、**アルマーニグループは、再生可能エネルギー源からの調達に取り組んでいます**。2021年には、総消費量の約27%（2020年比で約26%増）に達しました。特に、2021年には、グループはイタリアのすべてのオフィスをカバーするのに十分な再生可能エネルギーを購入し、予定（2023年までに再生可能エネルギーでイタリアのオフィスをカバーする）よりも2年早く、この目標を達成しました。

グループレベルでは、2021年の総エネルギー消費量は301,686GJに相当し、2020年比でわずかに増加となりました（+7%）。この消費の大半は、アルマーニグループが年間に購入した225,893GJに相当する電力と、オフィスや生産拠点の暖房に使用される天然ガスの消費が占めています。2021年の天然ガスの消費は74,947GJに相当し、新型コロナウイルス感染症による緊急事態で組織の活動量が減少した2020年と比較して、こちらもわずかに増加しています。

2020年の年末には、ヴェルテマーテの生産拠点で暖房用ディーゼルを天然ガスに置き換えました。この変更は、2021年のディーゼル消費の排除と天然ガス消費の増加に貢献しました。



+26%
2020年と比較した再生可能エネルギー

エネルギー消費量²⁰

	単位	2021		2020		2019	
		合計	合計 (GJ)	合計	合計 (GJ)	合計	合計 (GJ)
天然ガス	m ³	2,080,699	74,947	1,907,468	68,300	1,672,020	66,503
ディーゼル (暖房または生産プロセス用)	L	0	0	29,500	1,072	77,350	2,952
ガソリン (社用車または長期リース)	L	9,160	299 ²¹	5,000	161	4,400	168
A. 総エネルギー	GJ	-	75,246	-	69,533	-	69,623
自社発電エネルギー	kWh	152,158	548	150,208	541	133,186	479
うち再生可能資源 (太陽光発電所)	kWh	152,158	548	150,208	541	133,186	479
販売された電力	kWh	0	0	0	0	0	0
うち、再生可能エネルギー源	kWh	0	0	0	0	0	0
国内送電網から購入した電力 ²²	kWh	62,748,088	225,893	58,945,591	212,204	52,560,398	189,217
うち、再生可能エネルギー源 (原産地証明書あり)	kWh	22,311,596	80,322	391,027	1,408	0	0
B. 総電力	kWh	62,900,246	226,441	59,095,799	212,745	52,693,584	189,696
総エネルギー消費 (A+B)	GJ	-	301,687	-	282,278	-	259,319
うち、再生可能エネルギー合計	GJ	-	80,870	-	1,949	-	479
	%	-	26.81%	-	0.69%	-	0.18%

20. なお、2021 年にはエネルギー消費量のデータ収集プロセスが改善されました。継続的な改善に向けて、より正確な管理および戦略的評価を確実にするために、さらなる改良を行う予定です。そのため、2020 年と 2019 年の 2 年間のデータは、比較を目的として報告されています。今後、さらなる検証および更新がなされる可能性があります。2019 年のデータの報告対象範囲の詳細は、グループウェブサイト「サステナビリティレポート 2020 年版」を参照してください。

21. 車両の燃費データの参照対象範囲は部分的です。来年のレポート作成に向けて、データ収集方法を改善しています。

22. 電力消費に関するデータがない場合は、(同じ地域に属する) 規模が近い店舗 / オフィス / 生産拠点をもとに推定しています。

アルマーニグループは、コーポレートおよび地域のコミュニケーションチャンネル、CDP への参加、サステナビリティレポート、ローカルレポートなどのツールを通じて、従業員の意識改革を図っています。

具体的には、気候変動へのコミットメントによって、従業員の意識改革を進めています。また、短期・長期的な環境目標を共有し、国際的な取り組みにも参加しています。アルマーニグループは、個人および職業上の成長を促進することを目的に、エネルギー効率プログラムのメリットやこのような問題に配慮することの必要性について、従業員向けの年次トレーニングコースを作成しています。

気候変動に影響を与える排出の削減に向けた将来の目標

「地球」の項目の行動範囲に関連して、またファッション協定²³への参加で示したとおり、当社グループは 2021 年に、パリ協定の条項に沿って地球温暖化の抑制に貢献するというコミットメントを強化し、自らの温室効果ガス排出量削減のための目標を設定しました。

具体的には、アルマーニグループは、2019 年に記録されたデータとの比較で、2030 年までにスコープ 1 と 2 の温室効果ガスの絶対排出量を半減 (-50%) し、2029 年までに、購入した製品・サービス、輸送および流通から生じるスコープ 3 の温室効果ガスの絶対排出量を 42% 削減することを約束しました²⁴。これらの目標は、SBTi (科学的根拠に基づく目標イニシアチブ) によって承認されています。

詳細については、3.1.1 「エネルギー消費と大気への排出」を参照してください。

23. 詳細については、次のウェブページ <https://www.thefashionpact.org/> を参照してください。

24. 2021 年にはエネルギー消費に関するデータを収集し、大気への気候変動排出を計算するプロセス (スコープ 1 と 2) が改善されました。継続的な改善に向けて、より正確なレポートおよび戦略的評価を確実にするために、さらなる改良を行う予定です。そのため、2020 年と 2019 年のデータは比較を目的として報告されています。今後、さらなる検証および更新がなされる可能性があります。

温室効果ガスの排出では、各国でさまざまなエネルギー源（天然ガス、ディーゼル、ガソリン）に対して特定の排出係数を使用しているため、エネルギー消費量を二酸化炭素換算（tCO₂eq）に変換して計算しています。また、**2021 年からは冷媒ガス漏出による排出量の監視を開始し**、39tCO₂eq の R410A と R32 を記録しています。そのため、温室効果ガスの排出は、GHG プロトコルの方法論に準拠して報告され、3つのスコープに細分化されています。

スコープ 1：化石燃料の燃焼による直接排出。生産プロセスやオフィス・施設の暖房に使用されたもの、また社用車の使用による排出

スコープ 2：使用する電力の生産に伴う間接的な排出。スコープ 2 の「ロケーション基準」の排出量の計算では、発電する特定の国のエネルギーミックスに関連する平均排出係数を使用する。一方、スコープ 2 「マーケット基準」の排出量の計算では、電気サプライヤーとの契約に基づいて定義された排出係数を使用する。

スコープ 3：上流と下流のバリューチェーンからの間接的な排出。会社によって直接管理されていない資産、プラント、プロセスによって生産されるが、会社の活動に関連するもの

エネルギー消費量と一致して、スコープ 1 とスコープ 2 の排出量は、2020 年比でわずかに増加しています。特に 2021 年は、送電網からの電力購入の増加により、ロケーション基準手法で算出したスコープ 2 の排出量は 2% 増加しましたが、原産地保証による電力購入の増加により、**マーケット基準手法で計算した排出量は 2020 年比で 37% 減少しています²⁵**。スコープ 1 とスコープ 2（マーケット基準）の**総排出量は、2020 年比で 31% の減少、2019 年比で 34% の減少となりました。**

スコープ 1
および 2 の
マーケット基準の
排出量を
2019 年比で
34% 削減

25. 2019 年から 2021 年にかけてのスコープ 2 のマーケット基準の排出量の減少率は、2020 年の報告と同じで約 36% です。大気への排出の監視と報告における継続的な改善プロセスの詳細については、脚注 24 を参照してください。



12月31日時点の売上高と比較した大気排出の傾向は、すべての基準カテゴリにおいて非常に良好な傾向を示しています。売上高百万ユーロあたりのスコープ1 + スコープ2のマーケット基準の排出量 (tCO₂eq) は、2020年の17.7から2021年には9.7となり、売上高百万ユーロあたりのスコープ3排出量 (tCO₂eq) は、2020年の224.1から2021年には218.3²⁶となりました。

直接 GHG 排出量 (スコープ1) および間接排出量 (スコープ2と3) ²⁷

	GHG 排出量 - tCO ₂ eq	2021	2020	2019
スコープ1	スコープ1 ²⁸	4,263	3,950	5,521
スコープ2 ²⁹	スコープ2 - ロケーション基準	21,614	21,265	29,635
	スコープ2 - マーケット基準	15,306	24,415	24,045
スコープ3	スコープ3	440,860	358,400	489,579
合計	スコープ1、スコープ2 (ロケーション基準)、スコープ3	466,736	383,615	524,735
	スコープ1、スコープ2 (マーケット基準)、スコープ3	460,429	386,765	519,145

26. 2019年のこれらの原単位指数は、13.7 (売上高百万ユーロあたりのスコープ1とスコープ2の排出量、tCO₂eq)、および227.1 (売上高百万ユーロあたりのスコープ3排出量、tCO₂eq) でした。

27. なお、2021年には、エネルギー消費に関するデータの収集と気候変動に関する大気への排出計算のプロセスが改善されました (スコープ1および2)。継続的な改善に向けて、より正確な会計および戦略的評価を確実にするために、さらなる改良を行う予定です。そのため、2020年と2019年に関するデータ (2020年のスコープ1とスコープ2のマーケット基準の総排出量は28,365tCO₂eq、2019年のスコープ1とスコープ2のマーケット基準の総排出量は29,566tCO₂eq) は、比較を目的として報告されています。今後、さらなる検証および更新がなされる可能性があります。2019年のデータの報告対象範囲の詳細については、グループウェブサイトのサステナビリティレポート2020年版を参照してください。

28. 化石燃料消費のスコープ1排出量の計算には、DEFRA 2021「英国政府 - 企業報告のためのGHG変換係数」から提供された排出係数を使用しています。

29. スコープ2排出量は、報告基準 (GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード) での要件通り、2つの計算方法に分けられます。
 - ロケーション基準手法: 事業を営む生産ネットワークに関連する電力消費によって発生した排出の原単位を反映させる
 - マーケット基準手法: 特定の供給契約を通じてアルマーニが購入した電力の消費によって発生した排出の原単位を反映させる
 Ternaの「国際比較2019」が提供する排出係数を用いて、「ロケーション基準」手法でスコープ2排出量を計算しています。「マーケット基準」手法では、欧州のGA/法人にはAIBによる欧州の「残余ミックス2020」(2021年5月31日のバージョン1.0)が提供する排出係数を、他のすべてのGA/法人にはTernaによる「国際比較2019」が提供する排出係数を使用。スコープ2排出量は、CO₂トンで表示しています。ただし、技術参考文献から分かる通り、メタンガスと亜酸化窒素の割合は、温室効果ガスの総排出量 (CO₂換算) にほとんど影響していません。

スコープ3の間接排出に関して、商品およびサービスの購入に関連する**カテゴリ1**は、グループ全体のスコープ3排出量の約80%を占めています。そのため当グループは、これを削減するための取り組みを段階的に特定して、実施することを明言しています。このコミットメントは、支出ベースのアプローチにかえて量ベースのアプローチを導入することで、定量化の手法の改良にもつながりました。この改良は、2021年のグループの経費のごく一部を網羅しました。今後数年で、導入した取り組みをより正確な方法で監視できるよう、範囲に拡大していく予定です (リサイクルや持続可能な原料の購入など)。

2021年を通して、**カテゴリ4と9**は、排出量の定量化のための入力データの改善プロセスにも関与しました。将来的には、このプロセスは、データの収集方法を統合し、物流による環境への影響をより高い精度で監視することにつながります。



一般的に、スコープ 3 排出量の定量化は、GHG プロトコルの規定に従い、以下の手法で実施されました。

— カテゴリ 1 - 購入した製品・サービス

この計算は、支出の各カテゴリに Eurostat の Environmentally-Extended Input-Output の係数を適用して、支出ベースのアプローチで実行しました。可能な場合は、購入した原材料 (kg) に特定の排出係数 (出典: Ecoinvent 3.7.1 および関連文献) を適用し、量ベースのアプローチで実行しました。

— カテゴリ 2 - 資本財

この計算は、支出の各カテゴリに Eurostat の Environmentally-Extended Input-Output の係数を適用して、支出ベースのアプローチで実行しました。

— カテゴリ 3 - 燃料及びエネルギー活動

定量化は、当社グループが使用する、エネルギーベクトルの資源採取、輸送、流通の各段階に関連する排出係数を適用して実行しました (出典: DEFRA 2021 および IEA 2021)。

— カテゴリ 4 および 9 - 輸送、配送 (上流)、輸送、配送 (下流)

購入した製品 (カテゴリ 4) と販売した製品 (カテゴリ 9) の輸送と流通のための移動経路に基づいて計算されました。移動距離と輸送量に、使用した輸送手段に応じた特定の排出係数を掛けています (出典: DEFRA 2021)。

— カテゴリ 5 - 事業から出る廃棄物

当社グループが排出する廃棄物の量と廃棄方法に基づき、特定の排出係数を掛けて計算されました (出典: DEFRA 2021)。

— カテゴリ 6 - 出張

この計算は、出張に基づき、移動距離に、使用した移動手段に応じた特定の排出係数を掛けて実行しました (出典: DEFRA 2021)。さらに、このカテゴリには、業務でのホテル宿泊も含まれており、DEFRA の排出要因を用いて評価しています。

— カテゴリ 7 - 雇用者の通勤

従業員の通勤に関するデータはアンケートで収集しました。移動した距離 (キロメートル) に、使用した移動手段に応じた特定の排出係数を掛けています (出典: DEFRA 2021)。この計算には、グループの社内方針に準じて、国別のスマートワークの平均日数も考慮しています。



持続可能なモビリティに関するアンケート

約 6,000 人の従業員が参加

回答率 63%

よく利用する通勤手段の選択に加えて、従業員は通勤を改善するための提案をするよう求められました。アルマーニグループは、より環境に優しい手段の使用を奨励し、従業員のニーズを満たすために、従業員からの提案を検討します。

— カテゴリ 8 および 13 - リース資産 (上流)、リース資産 (下流)

アルマーニグループが賃借しているスペース (カテゴリ 8)、またはアルマーニグループが所有し、第三者に賃貸しているスペース (カテゴリ 13) の面積 (平方メートル) に基づいて、Quantis ツールを用いて計算されます。

— カテゴリ 11 - 販売した製品の使用

使用時に電力を消費するランプの販売に伴う排出量は、平均消費量に特定の排出係数を掛けて定量化しています (出典: Terna 2019)。

— カテゴリ 12 - 販売した製品の廃棄

販売された製品の包装に使用される原材料の量は、原材料の種類 (紙、プラスチックなど)、量 (kg) や個数 (平均密度の推定をもとに kg に変換) について収集し、特定の排出因子を掛けて計算されます (出典: DEFRA 2021)。

— カテゴリ 14 - フランチャイズ

この計算は、フランチャイズのスペースの面積 (平方メートル) に基づいて、Quantis ツールで実行しました。

カテゴリ 10 および 15 は、当グループの事業には適用されません。2021 年、2020 年、2019 年のスコープ 3 排出量の詳細は以下のとおりです。

その他の間接 GHG 排出量（スコープ 3）³⁰

カテゴリ別の排出量 - tCO ₂ eq	2021		2020		2019	
1. 購入した製品・サービス	353,442	80.17%	286,596	79.97%	386,996	79.00%
2. 資本財	54,649	12.40%	41,843	11.67%	23,579	4.80%
3. スコープ 1、2 に含まれない燃料及びエネルギー活動	6,994	1.59%	5,027	1.41%	6,846	1.40%
4. 輸送、配送（上流）	3,923	0.89%	5,476	1.54%	17,111	3.50%
5. 事業から出る廃棄物	886	0.20%	705	0.20%	1,705	0.30%
6. 出張	3,244	0.74%	3,274	0.92%	8,491	1.70%
7. 雇用者の通勤	665	0.15%	666	0.19%	7,447	1.50%
8. リース資産（上流）	302	0.07%	302	0.08%	302	0.10%
9. 輸送、配送（下流）	11,178	2.54%	9,299	2.59%	34,818	7.10%
10. 販売した製品の加工	適用なし	-	適用なし	-	適用なし	-
11. 販売した製品の使用	107	0.02%	105	0.03%	165	0.03%
12. 販売した製品の廃棄	4,202	0.95%	3,852	1.07%	1,205	0.20%
13. リース資産（下流）	175	0.04%	175	0.05%	0	0.00%
14. フランチャイズ	1,094	0.25%	1079	0.30%	913	0.20%
15. 投資	適用なし	-	適用なし	-	適用なし	-
合計	440,860	100%	358,400	100%	489,579	100%

30. 当社グループには、スコープ 3 に関するデータの品質、特に製品の廃棄について、段階的に改良していくという目標があります。スコープ 3 の各カテゴリで使用した計算方法の詳細については、CDP 気候変動質問書 2022 を参照してください。2019 年のデータの報告対象範囲の詳細については、グループウェブサイトのサステナビリティレポート 2020 年版を参照してください。

再生可能エネルギーへの取り組み

アルマーニグループは 2020 年に、再生可能資源由来のエネルギーによる必要電力の供給を段階的に増やしていくことを目的に、自社の電力供給の分析に着手しました。

また、過去 2 年間に排出量を削減するための数多くの取り組みを実施しており、エネルギーコスト削減の機会をもたらしています。現在まで、当社グループは、原産地証明（GO）のある再生可能資源由来の電力を部分的に購入しており、今後数年間で自社の電力消費量を完全にカバーすることを目標としています。**2021 年、アルマーニが購入した GO はグループ全体のエネルギー消費量の約 26.6% を占め、合計で排出量 9,949 トンを節約できました。**当社グループは、イタリア、スイス、スペイン、ポルトガル、英国で GO を購入しています。具体的には以下のとおりです。

GO の購入で
9,949 トンの
排出量を削減

— イタリア

イタリアのオフィスと生産拠点で購入した電力の 100% が再生可能エネルギーです。また、ベルゴニョーネ通りにあるイタリアオフィスでは、2014 年に設置された太陽光発電システムで、必要エネルギーの一部を生産しています。

— スイス

再生可能資源由来のエネルギーのみを購入しています。

— スペイン

さまざまな再生可能資源由来のエネルギーを利用して、エネルギー需要を 100% 満たしています。

— ポルトガル

再生可能資源由来の電力を購入し、自社の電力消費の 98% を補っています。

— 英国

購入している電力の 10% が再生可能資源に由来します。

3.1.2 循環型経済と廃棄物管理

アルマーニグループは、循環型経済の観点から特別な配慮を行い、製品の生産において、その原則を段階的に採用するよう努めています。



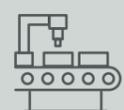
設計段階

環境に配慮した持続可能な慣行の採用、寿命が長く、再利用やリサイクルが可能な製品とサービスの設計を推進する



調達段階

リサイクル素材や再生素材、再生可能で持続可能な資源から作られた素材を選択をする



製造段階

生産プロセスの効率化を追求し、廃棄物を可能な限り削減する



販売および販売後の段階

製品寿命を延ばす上でも有効な、「less is More (少ない方が豊かである)」の戦略に沿った好循環のプロセスを推進する

当社グループの事業では、特に生産拠点において、廃棄物が排出されます。具体的には、アルマーニグループでは、99%が非有害廃棄物であり、主に紙とプラスチックからなる廃棄物を排出しています。重量で紙やプラスチックに次ぐ非有害廃棄物には、混合包装材や不活性資材があります。

2021年には、パンデミックの緊急事態で活動を停止した前年と比べて、廃棄物の全体的な発生量がわずかに増加しました。

発生した廃棄物の総重量³¹

廃棄物構成 (t)	2021		2020	
	有害	非有害	有害	非有害
合計	11.3	3,216.2	10.2	3,080.0
うち、プラスチック	0.0	1,038.9	0.0	1,063.1
うち、紙と段ボール	0.0	1,479.2	0.0	1,447.8
うち、電子廃棄物	0.2	0.5	0.8	2.2
うち、金属廃棄物	0.0	19.1	0.0	16.5
うち、トナープリンター	0.0	0.6	0.0	1.9
うち、バッテリー	0.0	0.02	0.03	0.04
うち、粗大ゴミ	0.0	17.4	0.0	22.8
うち、ガラス	0.0	1.7	0.0	0.0
うち、衛生廃棄物	0.02	0.0	0.0	0.0
うち、木材	0.0	33.03	0.0	26.9
うち、不活性廃棄物	0.0	181.8	0.0	157.0
うち、混合包装	1.3	287.0	0.2	274.0
その他	9.8	156.9	9.2	67.81
年間合計 ³²	3,227.5		3,090.1	
有害廃棄物の割合 (%)	0.4%		0.3%	
非有害廃棄物の割合 (%)	99.6%		99.7%	

31. 2021年に排出した廃棄物の量と種類に関するデータがない場合は、(同じ地域に属する)規模に近い店舗 / オフィス / 生産拠点と、発生した廃棄物の相対的な構成をもとに推定されています。レポート内容の情報レベルを改善するため、2020年についても同様の手法が用いられ、そのデータは修正および再開示されています。アメリカ大陸(米国、カナダ、ブラジル、メキシコ)およびオーストラリアでは、廃棄物の構成は50%が紙と段ボール、50%がプラスチックであるという仮定を反映しています。Cerreto Guidiのサイトは排出された廃棄物と関連性がないと判断し、2021年のデータでは考慮していません。当グループは、継続的な改善を目指し、データを段階的に改良していきます。

32. 2019年、グループは2,759トンの廃棄物を排出しました。この数字は、会社のウェブサイトで公開しているサステナビリティレポート2020年版に記載の報告期間に限定されます。

2021 年には、再利用廃棄物（17%）とリサイクル廃棄物（47%）の量が前年比で増加し、総廃棄物の 64% を占めました。発生した廃棄物の残りは埋立地に送られ、残りの約 1% は焼却され、エネルギーが回収されます。

処理方法別の廃棄物総重量³³

処理方法 (t)	2021		2020	
	有害	非有害	有害	非有害
再利用	10.6	523.8	8.7	445.7
リサイクル	0.3	1521.7	1.1	1415.4
焼却（エネルギー回収を含む）	0.1	31.5	0.0	60.9
埋め立て	0.3	1139.2	0.4	1158.0
発生した廃棄物の処理方法別の総重量	11.3	3,216.2	10.2	3,080.0

アルマーニグループは、2022 年中に、各国の事情を考慮しながら、これまで以上に正確な廃棄物排出量と廃棄方法に関するデータ収集システムの導入に取り組む予定です。また、当社グループは、生産プロセスで発生した廃棄物の削減と回収のためのプロジェクトの開発において、サプライチェーンの関与の強化にも取り組んでいます。

33. 廃棄物の処理方法別のデータがない場合、念のため、発生した廃棄物はすべて埋立地に運ばれたと仮定しました。一方、当該地域内で少なくとも 1 つの法人について廃棄処理方法別のデータが入手できた場合は、その情報をデータが入手できなかった同地域の法人の参照情報として使用しました。詳細は脚注 31 を参照してください。



3.1.3 水資源の管理

水資源は、当社グループが慎重に管理する対象となっています。可能な限り取水量を抑制すると同時に、排水が関連法規に適合するよう厳格に管理しています。

当社グループの水消費は、主に健康サービス、水道水を使用した空調、ケータリング活動に関連したものです。当社グループは、水資源の効率的な利用と廃棄物の削減に対して投資を続けており、これは特に、全社員を対象としたトレーニングや意識向上イベントを通じて行われています。これはまた、水循環の統合管理についての根本的な重要性を考慮して、水資源の管理への取り組みと配慮をサプライチェーン生産にまで拡張するために、効果の高い改善プロジェクトを特定することを目的に行われています。

主に新型コロナウイルス感染症による活動の停滞によって取水量が減少した2020年と比較すると、2021年には約47%の取水量の増加が見られました。これは、水道からの消費量が241,878立方メートルであった2019年と同水準です。当社グループは主に水道管を通して取水と排水を行っていますが、ごく一部は地下水からの取水です。Giorgio Armani Operations (GAO) の取水と排水の13%は、次の表で合計としてデータが示されていますが、これは水ストレスのリスクがあると考えられる地域のものであります。そのため当社グループは、取水量の常時監視と、水資源保護のための模範となるベストプラクティスの導入に取り組んでいます。

水源別の取水量

取水源 ³⁴	2021	2020
総取水量 - m³	288,896	196,512
うち、第三者による水（水道など）	272,338	179,665
うち、地下水（地下層に貯留された水）	16,558	16,847
うち、地表水（湖、河川）	0	0
うち、海水（海洋の水）	0	0
うち、生産された水（抽出（原油など）、加工（サトウキビ粉碎など）、他の原料の使用から生じる水）	0	0

排水先別の排水

排水 ³⁵	2021	2020
総排水量 - m³	288,896	196,512
うち、下水道	286,847	193,986
うち、地下水	2,049	2,526
うち、表層水域	0	0
うち、海中	0	0

34. データが入手できない場合は、1つまたは複数のオフィスの年間消費量データを元にして、それをオフィスの面積（m²）で割り、合計面積（m²）を乗じることで、水供給量および供給源を推定しています。法人オフィスについて取水に関するデータが入手できなかった場合は、同じ地域の他の法人の具体的な消費量（M3 / m²）から推定しています。2019年、当社グループの水道からの取水量は241,878立方メートルでした。この数値は、企業のウェブサイトで公開しているサステナビリティレポート2020年版に記載の報告期間に限定されます。

35. データが入手できない場合は、排水とされた水量の値は取水量と同量と推定し、その排水先は「第三者による水資源」とみなしました。

水源別の取水量 - Giorgio Armani Operations

取水源	2021		2020	
	全地域	うち、 水ストレス 地域	全地域	うち、 水ストレス 地域
総取水量 - m³	36,810	4,856	40,695	5,153
うち、第三者による水（水道など）	20,252	317	23,848	682
うち、地下水（地下層に貯留された水）	16,558	4,539	16,847	4,471
うち、地表水（湖、河川）	0		0	
うち、海水（海洋の水）	0		0	
うち、生産された水（抽出（原油など）、加工（サトウキビ粉砕など）、他の原料の使用から生じる水）	0		0	

排水先別の排水 - Giorgio Armani Operations

排水	2021		2020	
	全地域	うち、 水ストレス 地域	全地域	うち、 水ストレス 地域
総排水量	36,810	4,856	40,695	5,153
うち、下水道	34,761	4,856	38,169	5,153
うち、地下水	2,049	0	2,526	0
うち、表層水域	0	0	0	0
うち、海中	0	0	0	0

3.1.4 生物多様性と海洋保護

今後数年間における当社グループの目標は、ファッション協定でのコミットメントに沿って、生態系および保護種と絶滅危惧種を保護し、再生慣行を促進することを目的としたプロジェクトや取り組みを、サステナビリティ戦略に統合することです。

これらのプロジェクトや取り組みはバリューチェーン全体に拡大され、責任ある原料の購入や生態系への影響の少ない生産プロセスを促進することになります。

アルマーニグループは、イタリアと香港の Giorgio Armani Operations (GAO) が保護地域³⁶ または生物多様性の価値が高い地域（生物多様性の保全の鍵になる重要な地域）³⁷ の中に位置しているかを検証しました。2021 年に実施した分析により、これらの地域内または近隣に位置する GAO は存在しないことが確認されています。

アルマーニグループは 2021 年を通じて、当社が事業を展開する世界の各地域で、特定の地域社会と協力して、緑地を拡大するさまざまな取り組みに資金を提供しました。具体的には、ミラノ市との ForestaMi（フォレストタミ）、ロンドン、ミュンヘン、ニューヨークにおけるグリーンルーフ推進プロジェクト、モンゴルとオーストラリアにおける森林再生プロジェクトなどが挙げられます。

2021 年には、ファッション協定の目的に沿って、**包装に含まれる使い捨てのプラスチックを段階的に廃止し、再生プラスチックの使用を増やす**ことで、海を守るための取り組みを継続しました。

緑地を増やすための取り組み：
ミラノの ForestaMI、ロンドン、モナコ、ニューヨークのグリーンルーフプロジェクト

36. この分析では、GAO がナチュラ 2000 やラムサール・ネットワークの保護地域内に立地していないことを確認しました（国際的に重要な湿地に関する条約「ラムサール条約」では、国際的なリストの中で、高い生物多様性を持つ生態系を特徴とする、世界で重要な湿地を特定することができます）。

37. KBA（生物多様性の保全の鍵になる重要な地域）は、陸地、淡水、海洋の生態系において世界的な生物多様性を継続させるために大きく貢献している地域です。分析対象となる KBA は、1) 鳥類と生物多様性の重要地域、2) 絶滅ゼロ同盟の地域の 2 つのサブセットで構成されています。

アルマーニグループの取り組みとプロジェクト

エンポリオ アルマーニ グリーンプロジェクト

2021 年にアルマーニグループは、Agrocortex REDD+ プロジェクトの支援のもと、排出量の相殺を目的として、2021 年春夏と 2021 年秋冬のアイウェアコレクションの広告キャンペーンで発生する大気中の排出量を算出しました。このプロジェクトは、アマゾンの広大なエリアを森林破壊から守り、生物多様性を保護するとともに、今後 30 年間で大気中への二酸化炭素の排出を 1,400 万トン削減するために寄与することを目指しています。

ISO 20121 認証取得の環境に配慮したイベント - One Night Only Dubai 2021

2021 年 10 月 26 日、ドバイのアルマーニ・ホテルで、アルマーニ・ホテル開業から 10 年を記念したイベントが開催されました。このイベントは、気候変動に影響を与える大気への排出を最小限に抑えることができるように設計されました。アルマーニグループは、残りの大気排出についてカーボンニュートラルを達成するために、アマゾン熱帯雨林の保護と再植林を目的とした 2 つの REDD+ プロジェクト (Agrocortex および Maísa) を支援しました。これらのプロジェクトは年間約 50 万 tCO₂ の削減に貢献し、生物多様性の保護、気候変動への対策、国連の持続可能な開発目標に沿った、社会的・経済的利益を促進しています。アルマーニグループは、イベントに関連した残りの GHG 排出量をオフセットすることに加え、2022 年から始まる以下の自然保護・社会貢献プロジェクトを支援しています。

- **ブルツァーノ (ミラノ) の森づくり** (北公園) : 200 本の樹木 (ブナ、セイヨウトネリコ、シデ、オーク、ハンノキなど) の植林
- **マドニエ公園の森林再生** (ジェラーチ・シークロ - パレルモ) : 自生種に属する 600 本の樹木の植林。これは 2021 年の夏に森林火災に見舞われたシチリア地域の植物の復元
- **「Leaders of Change」エミレーツネイチャー WWF ミッション** : アラブ首長国連邦の人々、企業、政府機関を動員した、環境保全への革新的なアプローチ

ナショナルジオグラフィックとのコラボレーション

2021 年、アルマーニグループはナショナルジオグラフィックと提携し、A|X アルマーニ エクスチェンジ ブランドの T シャツとスウェットシャツのラインを誕生させました。これは、ナショナルジオグラフィックの「PHOTO ARK」の創設者であり、パートナー、写真家でもあるジョエル・サートレイの作品から着想を得たプリントを施したもので、オーガニック素材とリサイクル素材を使用しています。このコレクションの目的は、**絶滅危惧種の問題や生物多様性の保護について、消費者の意識を高める**ことにあります。アースデイ (4 月 22 日) に発売されたウェアの売上は、科学者、探検家、教育者の活動を通して、世界を守り、世界に光を当てることを目的とした非営利団体の世界的な活動を支援するために充てられました。

アルマーニ ビューティ

2021 年、アルマーニ ビューティは、ブラジル、ペルー、ジンバブエ北部、マダガスカルにおける約 14,000 ヘクタールの土地の森林再生・森林保全プログラムを通じて、大気中への炭素排出量を削減する取り組みを続けています。それによって、2020 年の発売以来、「マイウェイ」フレグランスによって発生したと見積もられる 16,000tCO₂ を埋め合わせています。

WWF とのコラボレーション

2021 年、アルマーニグループは、**生物多様性を守るための 2 つのプロジェクト**を支援しました。具体的には、アフリカのゴリラや北極のホッキョクグマなど絶滅の危機にある一部の動物種を保護するものです。

ファーフリーポリシーと動物のウェルビーイング

2021 年、アルマーニグループは、2022 / 2023 年秋冬シーズンから、すべてのラインのコレクションでアンゴラウールの使用を中止すると発表しました。アンゴラウールはその後、ファーフリーポリシーの排除素材リストに追加されました。

アルマーニグループは、すでに 2016 年に、ファーフリーアライアンスとの合意により、2016 / 2017 年秋冬シーズンからグループの全商品で動物の毛皮の使用を廃止すると発表しています。

今回の新たなコミットメントにより、アルマーニグループは、環境と動物に関するサプライチェーンの持続可能性と関連のあるデリケートな問題に深く注意を払うための、より具体的な一歩を踏み出しました。

2021 年も、LAV や PETA（動物の倫理的扱いを求める人々の会）などの重要な環境団体と対話を続けました。

3.2 包装：環境への影響を低減するためのイノベーション

2012 年以來、アルマーニグループは、顧客に提供される B2C 包装の見直しと改善に継続的に取り組んできました。包装の 90% は紙と段ボールでできており、環境への影響を抑えた包装の研究・開発・作成に重点を置いてきました。

この漸進的なイノベーションにより、アルマーニグループは大きな成果を上げることができました。そして、これは今後数年間で行われる、さらに野心的なプロジェクトの基盤となります。プロジェクトでは、輸送や出荷に用いられる B2B 包装も念頭に置かれています。

実施された主なステップ

(ジョルジオ アルマーニ、エンポリオ アルマーニ、A|X アルマーニ エクスチェンジ)

2013	2018	2019	2021
プラスチック紙の排除	すべての包装に FSC 認証	単一材料包装の 40% 以上をリサイクル	GA、EA、A X の各ブランドのすべてのライセンス包装を更新 ³⁸

2021 年を通じて、アルマーニグループは、バージンプラスチックの削減、リサイクル原料または有機原料の使用、包装ソリューションの簡素化に重点を置き、業務用包装の改善を続けてきました。現在、プラスチック不使用の B2C 包装は全体の約 90% を占めます。残りの 10% のうち、8% はリサイクルまたはバイオベースのプラスチックを使用しています。

ジョルジオ アルマーニ、エンポリオ アルマーニ、A|X アルマーニ エクスチェンジ、EA7 の各ブランドにおける B2C 包装の主な改良点は以下のとおりです。

38. アルマーニ / ドルチ、EA7、アルマーニ / フィオーリの各ブランドの包装も 2023 年までに更新される予定です。



2012

● **包装**

全ブランドの小売包装の見直し開始

2013

● **包装**

ブランド:GA、EA、アルマーニ / カーザ
プラスチック不使用の新しい包装の使用開始

2015

● **包装**

ブランド:アルマーニ / ドルチ
イタリア製の 30% 小さい新パック

2016

● **包装**

ブランド:GA プリヴェ
イタリア製のプラスチック不使用の新パック

2017

● **ショッピングバッグ**

ブランド:EA7
再生プラスチック 100% のショッピングバッグ、インク使用を 90% 削減

2018

● **ショッピングバッグ**

ブランド:GA EA A|X

再生紙 40% のショッピングバッグ

● **ショッピングバッグ**

ブランド:A|X

100% リサイクル可能な紙紐の取っ手

● **シール**

ブランド:GA EA A|X

再生プラスチックを 50% 使用し、50% 小さくしたシール

ブランド:EA A|X

再生プラスチックを 30% 使用

● **アンダーウェアのボックス**

ブランド:EA A|X

再生プラスチック 30% のアンダーウェアのボックス

2019

● **ショッピングバッグ**

ブランド:GA

FSC 認証紙で作られた、リサイクル素材 50% のショッピングバッグ

プラスチック製の取っ手から紙紐の取っ手に変更

● **ショッピングバッグ**

ブランド:EA

再生 FSC 認証紙 100% のショッピングバッグ

プラスチック製の取っ手から紙製の取っ手に変更
テープリングした紙紐の取っ手に変更

● **ショッピングバッグ**

ブランド:EA7

再生紙 40% のショッピングバッグ

● **アンダーウェアのボックス**

ブランド:EA A|X

再生プラスチック 40% のアンダーウェアのボックス

2019

● **衣類カバー**

ブランド:GA EA

再生プラスチック (RPET) 100% で、100% リサイクル可能

● **ステッカーとリボン**

ブランド:GA EA

プラスチック製ステッカーから FSC 認証紙のステッカーに変更

リサイクル可能な RPET 糸を 100% 使用したリボン

● **ポリバッグとゴミ袋**

ブランド:A|X

再生プラスチック 100% のスイムウェア用バッグ

リサイクル TNT100% のレザーグッズ用ゴミ袋

● **ケアラベル**

ブランド:GA

再生糸を使用したケアラベル

2020

● **ショッピングバッグ**

ブランド:GA

FSC 認証紙の紙紐の取っ手

● **アンダーウェアのボックス**

ブランド:EA A|X

再生プラスチック 50% のアンダーウェアのボックス

2021

● **アンダーウェアのボックス**

ブランド:EA A|X

再生プラスチックを 40% 使用

● **シールとランヤード**

ブランド:GA EA A|X

プラスチック製シールの不使用、ポリエステル製ランヤードを紙製に変更

● **メガネケースとキット**

ブランド:GA

FSC 認証再生段ボール 100% と再生紙 50% のボックス、体積を減らし、出荷可能な量をふやすことで、環境への影響を軽減

再生 ABS100% のハードケース、グローバル・リサイクルド・スタンダード (GRS) 認証

再生ポリエステル 100% のソフトアイウェアポーチ、GRS 認証

● **メガネケースとキット**

ブランド:EA

再生ポリエステル 51.5% のハードケース、GRS 認証

再生ポリエステル 100% のソフトポーチ、GRS 認証

● **メガネケースとキット**

ブランド:A|X

プラスチック製メガネケースから紙と FSC 認証段ボール製のケースに変更

再生マイクロファイバー 100% の布

● **ウォッチとジュエリーケース**

ブランド:EA

ウォッチケースとジュエリーケースのプラスチック部品を廃止し、FSC 認証段ボール 100% を使用 (うち、75% は再生段ボール)

● **ウォッチケース**

ブランド:A|X

時計用プラスチッククロスに FSC 認証紙 100% に変更 (うち、60% は再生紙)

3.3 当社のブランド、原料の選択、生産プロセス

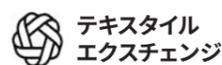
気候変動と闘うために、アルマーニグループは、環境への影響が少ない素材の研究に長年取り組んできました。このような取り組みには当社グループの各ブランドが関与しており、主な焦点は、第2世代の原料、つまり、再利用あるいは再生された素材と、有機物起源の素材にあります。

原料の影響を測定する方法に関しては、アルマーニグループは、関連する分析、計算手法、影響の算出方法の精緻化に取り組んでいます。

非営利団体であるテキスタイルエクステンジ³⁹に2021年に参加したことは、より持続可能で環境負荷の少ない素材の追求に取り組むという当社グループの意志を示すものであり、持続可能な原料の使用を2025年までに最大25%増加させるという目標や、ファッション協定における署名内容と整合しています。

2021年にアルマーニグループは、原料と生産プロセスに関するサステナビリティ要件も起草しました。これは、従来のASP（アルマーニサステナビリティプロジェクト）プロトコルに代わるもので、新たなプロトコル、基準、サステナビリティ認証を統合したものです。これらのガイドラインは、各種原材料に関する指針となり、スタイル、研究開発、製造、マーチャンダイジングにわたって社内部署の参考資料となり、サプライヤー向けの参考資料にもなります。

また、必要なサステナビリティ文書の収集や関連ラベルのテキスト承認のための社内業務指示書も作成されました。これはサプライチェーンの管理とトレーサビリティに対する、より体系的なアプローチを促進するためのものです。これらの活動が終了した2021年末に、持続可能な素材を使用した製品（衣類や包装）に付けるタグに適用するASPロゴの改訂作業が行われました。2023年春夏シーズンから、在庫が続く限り、ASV（Armani Sustainability Values）ロゴ付きのタグと置き換えていきます。これは、顧客コミュニケーションをサステナビリティ戦略と連携させるために行うものです。



テキスタイル
エクステンジ

39. テキスタイルエクステンジは、繊維・材料業界におけるグローバルな非営利組織であり、サプライチェーンの出発点から、企業をより責任ある生産に導くことを目指しています。2021年、アルマーニグループはこの取り組みに参加しました。これは、当社グループのサステナビリティ戦略に沿って、テキスタイル業界における責任ある素材と先進的ソリューションに関する新たなスキル開発に貢献することを目的としています。



ジョルジオ アルマーニ

2021 年を通じて、ジョルジオ アルマーニのラインに対して、より持続可能な素材の研究と使用に対する、より構造的なアプローチが社内強化されました。

研究対象は、再生素材、生物由来の素材、環境保護や森林管理のプロトコルに沿った素材など、多岐にわたります。2021 年春夏および秋冬のアイウェアコレクションのサングラスには、部分的にバイオ素材を使用したアセテートフレームを採用しています。

エンポリオ アルマーニと EA7

2021 年春夏シーズンに、エンポリオ アルマーニは海洋生物と航海の冒険に着想を得て、白と青を基調としたウェアとアクセサリーのセレクションを発表し、テキスタイル研究と実用的かつ機能的なデザインを融合させました。素材として選んだのは、オーガニックコットンと、プラスチック廃棄物からリサイクルされたナイロンとポリエステルです。

2021 年秋冬シーズンには、再生ポリエステルまたはオーガニックコットンの糸やファブリックを使用したカプセルコレクションも誕生しました。締めくくりとして、ストラップが再生プラスチック (RPET) または国際的な基準プロトコルに準拠したなめし工場からのレザーで作られた、いくつかのウォッチのモデルが発表されました。2021 年のアイウェアセレクションには、サングラスとメガネのいずれにも、再生ナイロンを部分的または完全に使用したフレームやバイオアセテートのフレーム、部分的にバイオベースナイロンを使用したレンズを取り入れた、各種モデルが加わりました。さらに、2021 年春夏コレクションの広告キャンペーンでは、撮影段階から持続可能なエージェンシーを採用して、資源の大幅な節約とそれに伴う温室効果ガスの削減を実現したとして、環境メディア協会による「EMA Gold Seal Green Certification」を獲得しました。このキャンペーンおよび 2021 年秋冬コレクションから排出された残りの排出量は、Agrocortex REDD プロジェクトの支援によって相殺されています。このプロジェクトは、アマゾンの広大なエリアを森林破壊から守り、生物多様性を保護するとともに、今後 30 年間で大気中への CO₂ 排出量を 1,400 万トン削減することを目指しています。



さらに、アマゾンのためのグローバル・アクションデーには、「**Preserve Amazonia**」コレクションを発表しました。3種類のメガネから成るコレクションは、部分的にバイオ素材を使用したラインを拡充するものとなります。1本購入するごとにアマゾンに1本の木が植えられ、「フォレスト・ウォッチ」のプラットフォームを通じて、その成長を見守ることができます。この取り組みは、アマゾンの熱帯雨林の保全と地域住民の支援に取り組むNGO「Eco Arts」とのコラボレーションによって支えられています

EA7 は、再生コットンや再生ポリエステルを使用したウェアなど、持続可能な特徴を備えた製品を揃えています。

A|X アルマーニ エクスチェンジ

A|X アルマーニ エクスチェンジは、再生素材と有機素材の選択と使用に引き続き取り組んでいます。

デニム、ジャージー、アウターウェア、Tシャツ、パンツなどの異なる製品カテゴリーにおいて、オーガニックコットン、ポリエステル、リサイクルナイロン、リサイクルコットンが主な使用素材になっています。

2021 年春夏シーズンでは、ナショナルジオグラフィックとのコラボレーションによる、オーガニックとリサイクルのTシャツ、スウェット、プリントを展開しました。これはナショナルジオグラフィックの「PHOTO ARK」の創設者である写真家の作品から着想を得たものです。2021 年秋冬シーズンに A|X アルマーニ エクスチェンジは、部分的に再生可能な素材を使用した初のメガネコレクションを発表しました。このメガネは、レンズやフレームに部分的にバイオベースの軽量ナイロンファイバーを使用しています。ウォッチでは、部分的にリサイクルされたスチールや回収された海洋廃棄物から作られたプラスチックを使用したケースと、リサイクルされた PET を使用したストラップが特徴のモデルがコレクションに加わりました。

さらに、購入特典では再生ナイロン / ポリエステル 100% のバッグを、クライアント エンゲージメントでは回収したマグカップから作った「rCUP®」をプレゼントしました。

アルマーニ / カーザ

アルマーニ / カーザ 2021 コレクションでは、**他のコレクションで廃棄された生地（以前のコレクションの残余物で使えなくなったもの）**を回収し、香水用の袋や、裏地付きの段ボール製ランドリーバスケットを作成することを計画しました（ボックスは 2021 年から FSC 認証を取得）。さらに、2021 年を通じて、廃棄される布を使って、Luisa Via Roma のためにいくつかの製品（ノート、布バッグ入りキャンドル、布製トレイ）を作りました。2022 年の目標は、さらなるプロジェクトを実装するほか、回収布の利用状況を収集・測定し、その効果を推定・拡大するシステムを立ち上げることです。

アルマーニ / ドルチ

アルマーニグループは、環境および社会的パフォーマンスの向上を目指し、アルマーニ / ドルチ 2021 年秋コレクション（限定エディション）に関連する環境影響を定量化しました。**カーボンフットプリントの調査では独立した第三者機関の検証を受け、ISO 14067: 2018 Standard に準拠していることが確認されました。**これは、分析対象製品のライフサイクル全体を通じて発生する温室効果ガス排出量を定量的に把握するために使用されました。2022 年の目標は、環境負荷の低減を推進するために、必要だと特定された行動を実行することです。



アルマーニ ビューティ

アルマーニ ビューティは、**カーボンフットプリントを 25% 削減し、2025 年までに全製品のカーボンニュートラルを達成するために、新たな 5 年計画を立ち上げました。**

その達成のために、アルマーニ ビューティは、ブラジル、ペルー、ジンバブエ北部、マダガスカルでの森林再生と森林保全プログラムを通じて、炭素排出量の削減に力を入れることを決定しました。これら 4 つのプロジェクトを合わせて、14,000 ヘクタール以上の森林を保護し、「マイ ウェイ」フレグランス（カーボンニュートラルを達成したフレグランス）が発売から発生させてきた、推定 16,000 トンの残りの排出量を回収するとともに、生物多様性の保護や地域社会にもプラスの影響を与えています。



マイ ウェイ

2021 年、「マイ ウェイ」フレグランスは、香水アカデミーより、責任あるイノベーションの特別表彰を受けました。受賞にあたっては、このフレグランスがライフサイクル全体で環境に与える影響についての研究に基づき、また配合、包装、サプライチェーンに持続可能性を取り入れることを目的として、責任あるイノベーションに関する全体的な視点を取り入れたことが評価されました。

マイ ウェイ インテンス

マイ ウェイのエコデザインに続き、**マイ ウェイ インテンスが 2021 年に発売**されました。50ml のマイ ウェイ インテンスのボトルと 150ml の詰め替えを合わせると、50ml のスプレータイプ 4 本を消費した場合と比較して、ガラス使用量を 55%、プラスチック使用量を 64%、金属使用量を 75%、段ボール使用量を 32% 削減し、**炭素排出量を 64% 削減**することができます。また、配合されているバニラは、マダガスカルの社会的弱者のための責任ある包括的な調達プログラムによって得られたものです。

4. 繁栄の価値

当社グループの持続可能性への道は、常に広い視野を受け入れてきました。ファッションの枠を超え、新しい持続可能性への道を模索し、地域社会全体を巻き込んだ繁栄のビジョンを目指してきました。

数字とファクトで見る 2021 年

規範、ガイドライン、認証

- サステナビリティに関するサプライヤー行動規範
- サプライヤー向けの持続可能な原材料ガイドライン
- 環境に配慮したイベントのための ISO 20121 認証

コラボレーション

- テキスタイルエクスチェンジへの参加
- 「持続可能な市場のためのイニシアチブ」のファッション タスクフォースに参加

主なプロジェクトと支援団体

ウンベルト・ヴェロネージ財団、セーブ・ザ・チルドレン、WWF、ウマニタス財団、聖エジディオ共同体、アクアフォーライフ、FAI、Obiettivo 3、ForestaMI（フォレスタミ）、オペラ・サン・フランチェスコ、スカラ座財団

「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が採択され、広範な社会経済的・環境的文脈において、民間組織の役割に関する新しいパラダイムの適用が進んでいます。そうした状況の中、「繁栄」の概念は新しい意味合いを持つようになりました。それは単なる「成長」という要素を超えて、ウェルビーイング、平等、そして地域社会のさまざまな利害関係者の視点とニーズを満足させる関係を構築するための、継続的な価値の共有に組み込まれているのです。

この進化は、特に SDGs 目標 12「つくる責任 つかう責任」に関連しており、関係するすべてのステークホルダー、特に市民社会、サプライヤー、顧客、地域社会一般に長期にわたってポジティブな影響を生み出すための、新しい道徳的なビジネス手法を適用することが求められます。この種のアプローチにおいては、共有され、差別化された責任で、複数のステークホルダーによる統合されたシステムを効果的に機能させることに、大きな注意を払う必要があります。

4.1 サプライチェーンとの関係

4.1.1 責任あるサプライチェーンの管理

試作品や 3D モデル、トレーサビリティシステム、RFID プロジェクト、インダストリー 4.0 といったプロジェクトの立ち上げに伴って、サプライチェーンの持続可能性の問題や技術革新への関心が高まっています。これは、サステナビリティ戦略に完全に統合された、新しい産業戦略の根幹をなすものです。

サプライヤーは、アルマーニグループの事業モデルの極めて重要な部分を占めており、彼らのスキルと能力によって、アルマーニグループの創造性が高められています。

したがって、より持続可能な生産モデルを適用することは、相互利益と共有利益の創出のためにグループがサプライヤーとともに、活動の監視と ESG 文化の推進にとって不可欠なのです。

最重要事項は、**サプライヤーとの関係管理と継続的な協力関係**です。アルマーニグループが収集するサプライチェーンに関する情報は、その背景、ステークホルダー、NGO、他の国際的に認知された情報源に関わるものです。その目的は、社会的・環境的リスクのマップを構築し、グループがサプライチェーンを監視する際の指針とすることです。

2021 年を通じて、**サステナビリティに関するサプライヤー行動規範**が作成されました。これは、これまでの社会・環境行動規範に置き換わるもので、それらの規範を一つの文書に統合し、関連テーマを更新し、新しいテーマを追加しています。目的は、サプライヤーが行う可能性のある活動（原材料の選択から再利用まで）が**環境に与える影響を抑制し、バリューチェーン全体で雇用されるスタッフの人権と労働条件を尊重すること**について、各種サプライヤーに対して**できるだけ包括的でわかりやすいガイドライン**を提供することにあります。社会的側面において大きく改訂された章は、差別、ダイバーシティとインクルージョン、給与と生活賃金、労働時間に関する部分です。環境的側面については、章の導入部分を全面的に見直しました。追加された章は、原材料の調達、サービスの購入、イベント管理、建物・インテリアの管理（個別ガイドラインを参照）です。

持続可能性への取り組みに関する章に加え、社会的・環境的責任に関する主な条項や宣言、主な認証プログラム、国際的なプロトコルやイニシアチブ、社会的・環境的責任に関する関連ブランド、動物福祉やトレーサビリティ方針など、いくつかの付録が追加されています。

サステナビリティに関する規範は、技術仕様書、製品制限物質リスト (PRSL)、製造時使用制限物質リスト (MRSL)、倫理規範と合わせて、一般的な購入規約の一部をなすものであり、当社グループのサプライヤーが尊重し、執行し、そのサプライヤーとサブサプライヤーに周知させることを約束する、社会的・環境的分野における業界のベストプラクティスです。

2021 年に策定されたサステナビリティに関するサプライヤー行動規範

これらの取り組みは、社内およびサプライチェーン全体で人権の尊重を確保するための当社グループの取り組みと約束を反映しています。グループの活動は、人権および影響評価の対象となります。特に、児童就労や強制労働の潜在リスクが高くなる生産面に注意が払われています。サプライチェーンの監視および管理活動の詳細については、以下の段落を参照してください。

4.1.2 アルマーニグループのサプライチェーン

アルマーニグループは幅広いサプライヤーと取引をしており、それは4つの主要なカテゴリーに分類されます。

- 完成品のサプライヤー
原料を自律的に調達し、製品の技術設計またはサンプルに従って完成したアパレル製品を生産する
- 下請製造サービス
当社グループが完成品の生産を委託し、計画作業に必要な原料と技術情報を提供する
- 原料のサプライヤー
- サービスプロバイダー
分析機関、コンサルタント企業、一般サービス・物流・輸送サービスのプロバイダーなど

サプライヤーの**地理的分布**に関しては、当社グループは世界中で事業を展開するパートナーの専門知識を活用しています。特に集中している地域は、欧州（イタリアに最も多くのサプライヤーが集中）、地中海盆地、アジアです。この分布は、アルマーニグループにとって重要な戦略的選択を表しています。リスクと機会の管理を念頭に置きながらも、サプライチェーンが近くにあるということが、監視と継続的な協力のために根本的な利点があると考えているからです。



4.1.3 監査とモニタリング

分析、監視、監査活動は常に進化しています。

統合されたトレーサビリティ管理プラットフォームとシステムの立ち上げまでの間、サプライヤーの認定プロセスは、署名されたサステナビリティに関する規範の受領要請、供給するプロセスと製品に関する環境問題、人権、職場における健康と安全の遵守についての文書・証明書・確認の要請、そして活動が行われる地域と業界に関連するリスクの分析を通じて実施されます。

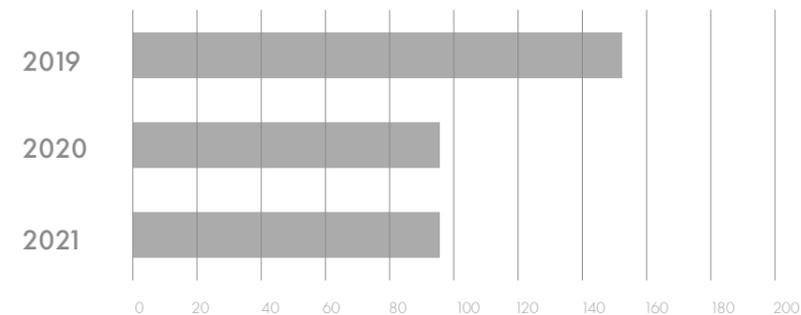
さらに、内部または外部から重大な不備や異常が報告された場合には、点検を行います。これは年に複数回行われることもあります。このような場合、その取引相手と直ちに照合し、正確な評価を行うために、当社グループは必ず詳細な分析を実施しています。

許容されるしきい値を下回っていると評価されたサプライヤーは、**検出された異常の重要性に応じて期限が設定された是正措置計画**を通して、改善に向けた指導を受けます。グループの期待に沿わない総合評価を受けたサプライヤーは、**非常に短い期間内に早急に是正措置を講じる**よう求められます。この基準の不履行があった場合、契約関係は**中断されるもの**とします。

2020年、2021年ともに、健康面での緊急事態のために管理活動は減速しましたが、労働条件が許す限り、継続されました。

2021年を通して発見された重大事項の大半は、主にサブサプライヤーに関するもので、健康安全問題（非常口、消火設備、火災安全のための訓練と手順）、労働時間、給与に関する不適合に触れています。コンプライアンスの不履行が発見された場合、その重大性に応じて、要求される社内手続きに従って是正措置が講じられます。2021年を通じて、新規サプライヤーの約70%が社会・環境基準に基づいて評価されました。

監査実施数 - サプライチェーン



4.2 顧客との関係

4.2.1 顧客重視、顧客体験、デジタル製品パスポート

製品の真正性、品質、安全性を確保し、プライバシーを保護し、持続可能性の問題に対して耳を傾け、意識を高めることは、アルマーニグループがすべての顧客に対して行っている重要なコミットメントです。これは、最高レベルの顧客体験と最高レベルのイノベーションを確実に実行し、そのつながりを特別なものにできる共通の価値観を確実に共有するためのものです。

2021 年からアルマーニグループは「持続可能な市場のためのイニシアチブ」の「ファッション タスクフォース」に参加し、「デジタル製品パスポート」に取り組んでいます。このタスクフォースは、チャールズ皇太子（現国王チャールズ 3 世）が 2021 年に立ち上げた「テラカルタ」イニシアチブの中で創設されました。アルマーニグループは、「デジタル製品パスポート」プロジェクトの挑戦を応援しています。このプロジェクトは、顧客とのより透明性の高いコミュニケーション、消費パターンに関する環境への影響に対する消費者意識の向上、持続可能で意識的な購買選択の促進を目指すものです。同時に、このプロジェクトは、製品寿命を延ばし、ブランドが循環型ビジネスモデルを拡大できるようにし、製品のライフサイクルを通じた完全なトレーサビリティを促進することを目指します。この取り組みを通じて、ファッション業界の持続的な変革を可能にする共通のデジタル製品パスポートを採用するために、初めて業界が協力し合うことになりました。

2021 年 10 月 31 日にローマで開催された G20 サミットの後、SMI タスクフォースはチャールズ皇太子に向けて、一部の製品を用いたデジタル製品パスポートのデモンストレーションを行いました。これには、エンポリオ アルマーニの 2021 / 2022 年秋冬サステナブルコレクションのアイテムも含まれていました。

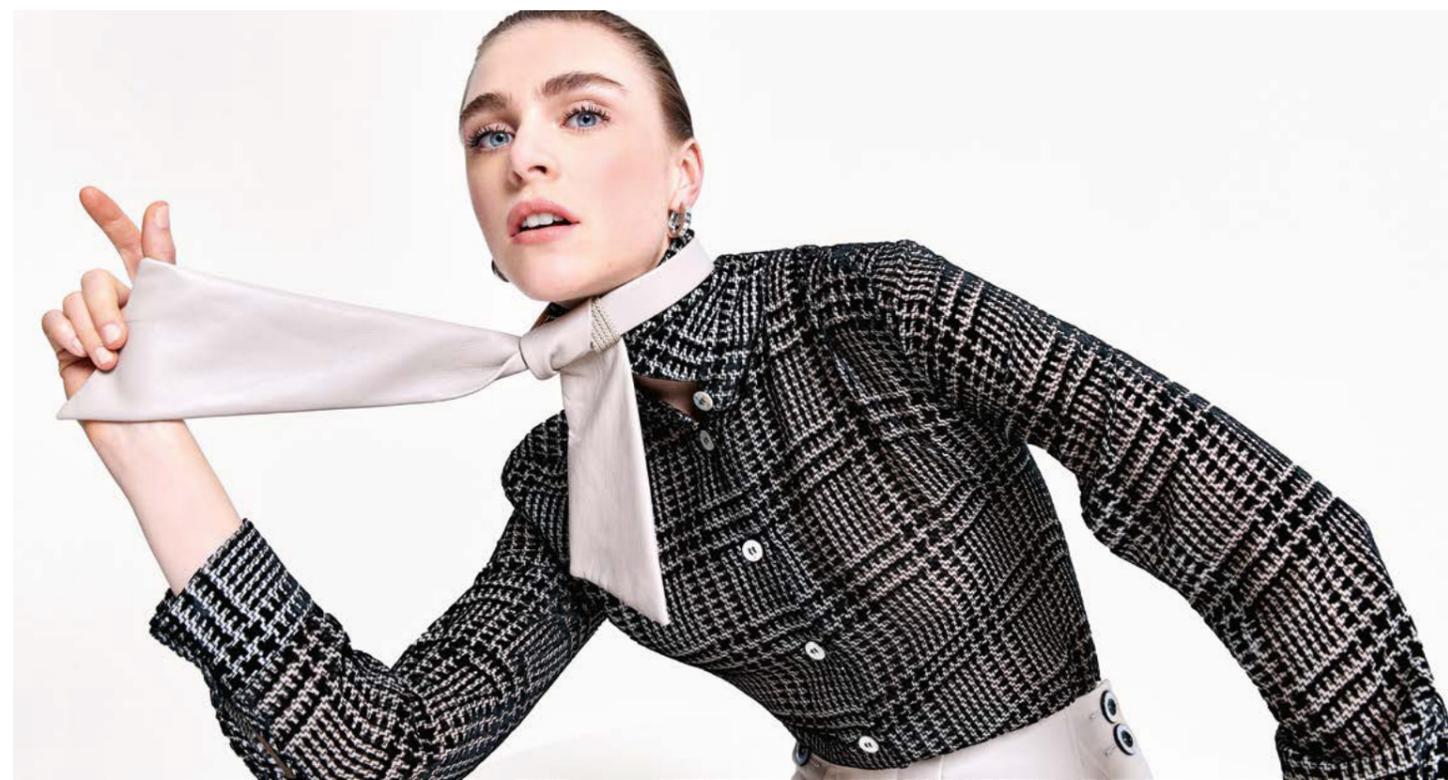
4.2.2 製品のラベル表示

アルマーニグループは数多くの市場で事業を展開しており、製品のラベル表示に関する規制は市場によって微妙に異なります。そのため、極めて汎用的かつ集中的なラベル表示管理システムを採用する必要があります。

データの正確な流れを円滑にするため、当社グループは、特定の市場や特定の顧客に対して販売される製品に適用されるすべての種類のラベルを監視できるソフトウェアを使用します。これは現在開発中で、2022 年に実証実験が行われます。完成すれば、印刷に使用するテープの消費量削減につながると見えています。

また、当社グループは 2018 年から、パッケージに適用する自主的または必須の環境情報表示に関する社内ガイドラインを整備しています。例えば、原材料に関する表示、正しい廃棄方法、リサイクルの可能性、リサイクル素材の利用率などがこれに該当します。

審査対象について管理を徹底した結果、2021 年には製品のラベル表示に関する罰則や、包装に関する環境関連のクレームを受けることはありませんでした。



サステナブル
マーケット
イニシアチブ

4.2.3 ブランドの保護

アルマーニグループにとって、製品の価値と真正性を保証することは常に根本的なテーマであり、特に無形資産の保護と偽造との戦いに積極的に取り組んでいます。そのため、当社グループは、知的財産権の保護に広範なリソースを投入し、この分野の主な国内団体および国際団体と連携しています。

無形資産の保護と偽造に関する戦略には、商標、特許、実用新案などの知的財産権の登録、さらに、税関の監視、必要に応じて、世界のほとんどの先進国の管轄行政機関や司法機関による継続的な執行活動などが含まれます。

アルマーニグループにとって、2021 年は転換期であり、重要な回復の年でした。新型コロナウイルス感染症パンデミックで直面した困難な状況とデジタル面での新たな挑戦を受け、当社グループの知的財産部門は業務を強化し、オンラインでの偽造に関する活動の監視に多くのリソースを投入しました。例として、完全に中国に特化した社内チームを中国国内に設立しました。知的財産部門は、デジタルの機会とデジタル偽造の新しい分野に焦点を当てました。これは、メタバースや非代替性トークン (NFT) の世界として知られています。

2021 年には、「コネクテッドプロダクト」と「トレーサビリティ」という、ニーズが増している新しいテーマを通じて、知的財産部門、オペレーション分野、グループのサステナビリティ部門が**相乗効果**を發揮しました。それぞれが異なるニーズから、偽造防止システム **CERTILOGO**® プラットフォームの開発と改善にとともに取り組むことになりました。これは、ジョルジオ アルマーニを除くすべてのグループブランドで 2018 年春夏から使用されています。このシステムはある技術的なソリューションに基づいたもので、これを使用すれば、最終消費者は、インターネットに接続されたスマートフォンなどのデバイスで衣類のラベルに記載された QR コードを読み取るだけで、プライバシーに十分に配慮しつつ、当社グループの製品の認証プロセスに参加することができます。



このように、QR コードは消費者とブランドをつなぐ重要な接続ポイントとなります。ブランドは、各分野の専門パートナーの協力のもと、例えば、前述の「デジタル製品パスポート」プロジェクトの目的に沿って、トレーサビリティや持続可能性に関する情報など、多くの製品情報を提供し、認証することができるようになります。

CERTILOGO® プラットフォーム
2021 年 12 月 31 日現在

+600,000 **+200** **+1 億 5,000 万**

収集された認証
(+1,500 スキャン / 日)

関与している国

アルマーニグループとつながり、
追跡が可能な製品

偽造との戦いに関して、2021 年には、税関の監視サービスや領域内の立ち入り検査により、以下のように成果を上げています。

- **世界で 5,000 件以上の押収。** 今年も、東欧およびその周辺国（ブルガリア、ロシア、ルーマニア、ポーランド、チェコ、ハンガリー）が、主に中国やトルコからの模倣品の最大の集散地となる傾向が続いています。また、イギリス、ギリシャ、スペイン、ドイツ、フランスは、アジア、地中海、北アフリカ地域からの偽製品の主要なハブとなっています。イタリアは国内産および輸入の偽造品において、重要な数字を記録しています。
- 偽造品の販売を目的とした **1,000 以上のウェブサイト** を閉鎖し、その遵守率は 91% に達しました。
- デジタルプラットフォーム（マーケットプレイス）上の偽造品の **販売広告を 4 万件以上削除** し、99.9% の遵守率を達成しました。
- **約 9,000 のソーシャルメディアページが禁止** され、遵守率はほぼ 100% です。

2021 年には、オンラインでの偽造行為が、古典的なウェブサイトやマーケットプレイスからソーシャルメディアプラットフォームへと移動していることがわかりました。

アルマーニグループは長い間、**オンラインセキュリティ**に重点を置いてきました。防御をテストして改善し、ポリシーと手順を見直して強化するために、いくつかのアクションと特化した徹底的なプロジェクトに定期的に取り組んできました。全従業員を対象とした、新しい啓発・教育プログラムも開始される予定です。

4.2.4 プライバシーの管理

顧客の利益のために、関連する法律の最新動向に従って、プライバシーを正しく管理することは、テクノロジーの進化とデジタル化の影響を受ける今世紀の市場においては、確かに根本的な重要事項です。

ビデオでの監視やクッキーの過剰利用に関する新しい規則など、地域社会から求められる要件を反映させるため、また、グループの全従業員を対象としたオンラインプラットフォームでのトレーニングを完了させるため、ポリシーの更新と改訂を行いました。

データ保護責任者（DPO）と共有している年間モニタリング計画に従い、アルマーニグループは、個人データの処理に関する情報、個人データの処理に関する方針および記録を継続的に更新するとともに、専用のメールボックス（privacy@giorgioarmani.it および dpo@giorgioarmani.it）やその他のコミュニケーションチャンネルを通じて受け取った利害関係者からの要請をモニターし、実行に移しています。

リストに掲載されたすべてのアクションは、プライバシー委員会と定期的に共有されます。同委員会は、アルマーニグループの組織モデルの中に位置づけられており、プライバシーポリシーを定義し、プライバシー目標を指示する機能を持ちます。

2021 年、Giorgio Armani S.p.A. は、個人データ保護監督機関に個人データ侵害の届け出をする必要はありませんでした。

4.2.5 製品の安全性

近年、衣料品の製造に使用される化学物質の安全性についての啓蒙活動が活発化し、関心が高まっています。

製品および生産プロセスの安全性を確保する目的で、人や環境に危険を及ぼす可能性のある物質の排除や代替を促進するための特定の基準が設けられています。

具体的には、製品の安全性を高めるために、アルマーニグループは、**PRSL (製品制限物質リスト)** で報告されている制限値を遵守するようサプライヤーに求めており、禁止物質が存在する可能性については、Operations が管理し、ISO 17025 認定試験所が実施する、試験プロトコルによってモニターしています。PRSL の基準値に適合しない製品は、状況に応じて、不適合をなくすために再調整するか、浸漬処理がされます。PRSL リストは、試験で得られた結果や国際的な規制の枠組みの変更に基づき、定期的に更新されます。

2022 年以降、サプライヤーに遵守を求めている、水中および大気中の排出物の基準値を定義する目的で、PRSL リストに **MRSL (製造時使用制限物質リスト)** が追加されました。

これらの手順により、グループのサプライチェーンは体系的に管理されており、2021 年には製品の安全性に関する現行規制の不履行事案は発見されませんでした。

製品制限物質リスト (PRSL) および製造時使用制限物質リスト (MRSL)

PRSL と MRSL は、危険性のある化学物質の削減と段階的な廃止に向けてサプライチェーン全体を導くことを目的とした 2 つの主要文書で、最新の規制と利用可能な最善の技術に沿ったものです。

これは、生産プロセスに関わるすべての関係者、特にサプライヤーや化学研究所、イタリアファッション協会の協力のもとで作成されたものであり、この文書には、制限の対象となる物質、最大許容値、許容範囲、各物質の分析方法などが記載されています。

当社グループも
加盟する
CNMI 化学物質
審議会が
「適正製造基準」
を出版

イタリアファッション協会のサステナビリティ委員会に関連した作業を完了させるため、2020 年から始まった「適正製造基準 - ファッションの生産ラインにおける化学物質の使用に関するガイドライン」の草稿が 2021 年に発表されました。この文書は、エコロジー移行省がスポンサーとなって当業界のために作成されたものであり、アルマーニグループも参加する CNMI 化学物質審議会の取り組みの結果です。

この新しいガイドラインは、製品に含まれる化学物質に関する既存のガイドライン（「衣類・皮革製品・靴・アクセサリーの素材における環境有害物質要件に関するガイドライン」）および生産プロセスに関する既存のガイドライン（「化学混合物および産業排水についての環境有害物質要件に関するガイドライン」）に続くもので、企業が最先端のサステナビリティ要件を満たす高品質の製品を生産するための方針と管理を導入する際に役立つように設計されています。これは、関連する環境・社会的リスクを最小化するために、製品で観察される化学物質の基準値だけでなく、一連の生産段階で使用される化学混合物に固有の化学物質の基準値についても測定するものです。

4.2.6 持続可能な店舗管理

2021 年には、店舗のためのサステナビリティ要件に関するプロトコルおよび不動産とインテリアデザインのためのガイドラインが作成されました。これは、サステナビリティに関するサプライヤー行動規範に示されている内容を考慮しながら、店舗、建物、インテリアデザインに関する特定の環境管理システムや関連する環境認証とプロトコルに特に焦点を当てた内容となっています。このガイドラインの起草は、本社と既存および将来の主要店舗において、最高の国際基準（WELL、LEED）に沿った認証取得を進めたいという、当社グループの希望に沿って行われたものです。

グリーンアウトレット

2019 年以降、**グリーンアウトレット**の原則には、スペースの間仕切りに関するコンセプトが組み込まれています。可能な場合には、認証を受けた、リサイクル素材で、再生可能な**天然素材**だけを使い、接着剤や添加物を使用せずに組み立てるというもので、防火や安全に関する規制によって必要な場合に限り、必要最小限のものだけを構築するというものです。

2021 年には、以下の活動が行われました。

グリーンアウトレットの原則に基づき、イタリア（カステルロマーノ、アジエラ、レッチョ）、オーストリア（パルンドルフ）、中国（杭州、南寧）、フランス（リヨン）にあるグループ直営およびフランチャイズの **7 店舗を新設または改装**しました。これで、2019 年からの累計で 18 店舗になりました。2022 年にも同モデルの開店が予定されています。

4.2.7 持続可能なイベント管理

アルマーニグループは、持続可能なイベントという観点から、ポジティブな変化に貢献するための新たな取り組みをしています。

この取り組みは、日々の事業運営の中で実行されるもので、各ビジネスプロセスで、部門を問わず適用されるものです。

- 主要サプライヤーにサステナビリティに関するサプライヤー行動規範を見てもらい、持続可能性に関する意識を高め、すべてのステークホルダーを巻き込む
- 環境、健康と安全、労働法に関する現行の規則を確実に遵守する
- イベントなどで使用する資材のリユースと回収を促進する。例：カスタマイズした資材開発よりもレンタルを優先、解体後の資材の社内での再利用や寄付、再生済みの資材や再生可能な資材の利用を優先
- ケータリングでの使い捨てプラスチックの使用をやめ、プラスチック素材の使用を全般的に制限する



イベント管理

芸術的な演出による創造力を最大限に維持しながら、環境と社会に与える悪影響を最小化するため、アルマーニグループは ISO 20121 規格に準拠し、その原則を追求することを決定しました。**持続可能なイベントの管理のためのガイドライン**が作成され、この中で、すべてのサプライヤー、サブサプライヤー、関係するパートナーに対して、イベントの設計、実施、解体の全段階において、環境への影響を管理し、抑制するために留意すべき推奨事項を示しています。これは、人々と環境に対して良い影響をもたらすこととなります。

11 年後、アルマーニグループはドバイに戻り、アルマーニ ホテルの開業 10 周年を記念する新たなイベント「One Night Only」を開催しました。このイベントは 10 月 26 日に、アルマーニ / ホテル パビリオンで開催されました。「One Night Only Dubai」は、ISO 20121 (持続可能なイベント管理) に準拠し、環境への影響を最小限に抑えるように設計されました。

アルマーニグループは、使い捨てプラスチックを使用しないこと、食品廃棄物を出さないこと、レンタル機器を優先すること、素材の再利用を促進すること、ゴミの分別を促進すること、ハイブリッド車・電気自動車の使用や LED 照明の使用を促進することなどを計画しました。

サプライヤーは、特定の社会・環境条項の遵守を求められました。また、このイベントに関連する残りの GHG 排出量を相殺するため、アルマーニグループは、2 つの REDD+ プロジェクト (Agrocortex プロジェクトおよび Maísa プロジェクト) への支援を決定しました。これらのプロジェクトは、アマゾンの熱帯雨林に関するもので、合計で年間 50 万 tCO₂ の削減に貢献し、生物多様性の保全、地球規模の気候変動対策、社会・経済的利益に寄与するものです。生物多様性プロジェクトの項に記載したように、これは国連の持続可能な開発目標に沿っています。

ダイバーシティとインクルージョンに対する意識向上キャンペーン

また、2021 年を通じて、アルマーニグループがダイバーシティとインクルージョンの課題に関心を高めていることから、こうした課題に対する意識を高めるために以下のプロジェクトを立ち上げました。

— エンポリオ アルマーニが女性のエンパワーメントをテーマにした新プロジェクト「クロスロード」を始動

14 人の女性たちが、それぞれ異なる都市で撮影に臨み、人生の岐路に立った重要な瞬間に焦点を当て、彼女たちが成長し、多くの場合、社会に関わるようになったストーリーを語りました。このような背景から「クロスロード」と名付けられたこのプロジェクトでは、現代女性の声を伝え、その個性や女性らしさ、能力を称えたいと考えています。

— エンポリオ アルマーニ ジュニアが第 1 回「ペアレントトーク」を開催

5 つのビデオストーリーを通して、エンポリオ アルマーニの現在と、オープンさつつながりの精神を伝え、この現代に親であることについて語ります。さまざまな個人の経験や視点を通して、ダイバーシティの価値を促進し、現代の子育てというテーマに対する意識を高めます。



4.3 地域社会との関係

アルマーニグループは、ビジネスの基本的な価値観のひとつとして、地域社会に対する責任を認識しています。そのため、不平等との戦い、医療・科学研究、環境保護、文化、スポーツ、機会均等などにおける重要なプロジェクトを、長年にわたって支援・推進してきました。

こうしたプロジェクトに参加しているのは、アルマーニグループとその創業者が、事業を展開する地域社会と強い絆を持ち、地域社会の不可欠な一部であるということを実感しているためです。

アルマーニグループは、関連団体との定期的な連絡、団体からの四半期ごとまたは半期ごとの報告、そして団体の活動内容や支援プロジェクトの進捗を確認するための現地訪問を通じて、実施された活動の有効性を常に監視しています。

4.3.1 地域と地域社会への支援

地域社会のおかげで生まれた価値を地域社会に還元するため、当グループは地域社会のニーズ、特に食料、住居、健康、教育、仕事など、最も弱い立場の人々のニーズを満たすことに力を注いでいます。

2021 年、オペラ・サン・フランチェスコに対して困窮者のために 12,500 食を提供

このため、**貧しい人々のためのオペラ・サン・フランチェスコ**に対して、長年にわたり支援を行っています。この団体は、ミラノで生活困窮者に無料で食事を提供するだけでなく、シャワー、衣類サービス、総合医療ケア、社会復帰支援など、必要なサービスを提供しています。2021 年には、市内の 2 つの食堂で 12,500 食を提供するために寄付が行われました。

2021 年には、**聖エジディオ共同体の「ジョルジオ アルマーニ ゴーアヘッド」プロジェクト**が進展しました。これは、2020 年に発足し、アルマーニグループがロリアル、ルックスオティカ、フォッシルグループとともに支援しているプロジェクトで、脆弱な状況にあるホームレスを受け入れるための市内社会住宅計画と、早期退学に関連した

困難を抱える家庭の子どもへの支援計画を実現することを目的としています。支援の一部は、ミラノのヴィア・ジュスティ・スクオーラ・デッラ・パーチェ（ジュスティ通りの平和学校）に与えられました。これは、ミラノの中国人コミュニティの最も恵まれない子どもたちの孤立を避け、統合と教育を促進することを目的としています。

ミラノの聖エジディオ共同体と共にスクオーラ・デッラ・パーチェ（平和学校）を支援

セーブ・ザ・チルドレンへの支援も刷新しました。学ぶことと働くことは、アルマーニグループ自体が大切にしている価値観です。そのため、アルマーニ / シーロスを通じて、グループは長年にわたり、ミラノにある「ポイント・オブ・ライト」の 1 つを支援してきました。このセンターは、子どもや若者（2021 年には 50 人に到達）のための集会所で、放課後に勉強支援やスポーツ、音楽、芸術などの無料アクティビティを楽しむことができます。さらに、2020 年からは、セーブ・ザ・チルドレンとのコラボレーションが、**セーブ・ザ・チルドレンの国際プロジェクトに拡大され、2021 年にはアフガニスタンの最も孤立した脆弱な地域**で、2020 年にはモザンビークで、母親と新生児の健康のために重要な貢献がなされています。このプロジェクトでは、2 年間で約 3 万人を対象に、食料の確保やトレーニング、情報提供、支援プログラムなどを実施する予定です。アルマーニグループの役員は、今回も報酬の一部を寄付することにより、この活動に参加することを決めました。

セーブ・ザ・チルドレンの「ポイント・オブ・ライト」の 1 つで、ミラノの 50 人の子どもたちを支援

アフガニスタンで 2 年間で 3 万人に支援を予定

飲食部門もまた、地域社会のプロジェクトに関与してきました。2021 年に、アルマーニグループのすべてのイタリアンレストランは、世界の飢餓や子どもの栄養失調に対するプロジェクトの資金調達に取り組む人道支援団体、**アクション・アゲインスト・ハンガー**と再び協力し、特定のメニューから得られる収益を同団体に寄付しました。今回は第 7 回にあたり、サヘル地域、レバノン、インド、そして今回初めてイタリアでも支援をしました。

また、2021 年末には、使わなくなった 6,000 点以上の非食料品（アクセサリーや食器類）を**バンコ・アリメンターレ**に寄付しました。これは約 1 万ユーロに相当します。バンコ・アリメンターレは、食料品および非食料品の余剰品を回収し、それを対象の慈善団体に再配分している非営利団体です。

バンコ・アリメンターレに 6,000 点の非食料品を寄付

4.3.2 医学および科学研究のためのイニシアチブ

アルマーニグループは、健康も守るべき基本的な資産であり、健康へのアクセスを保証しなければならないことを認識しています。そのために、科学研究を継続的に支援し、医学研究の進歩と若い世代の専門研究者の育成に貢献しています。

ウンベルト・ヴェロネージ財団への寄付により、3名に研究奨学金を提供

2021 年のウンベルト・ヴェロネージ財団への寄付金は、乳がんの再発に特化した腫瘍分野の研究者 3 名への奨学金に使われました。ウマニタス財団は、受け取った資金をマントヴァーニ教授率いる若手研究者グループの免疫学研究に配分しました。また今年も、欧州腫瘍研究所 (IEO) とモンジノー心臓病センターの研究を支援する IECCM 財団に、研究のための資金を提供しました。また、ILIT、パンダ・オニス、デマルキ財団など、多くの国や地域の協会が推進する募金活動を支援するために、物資を寄付しました。イタリア赤十字社に冬物衣料約 1,000 枚を現物で寄付し、世界各地の難民支援に役立ててもらいました。

4.3.3 環境保護

2021 年末に、フェデリコ 2 世ナポリ大学とポッツオーリのイタリア国立研究評議会 (CNR) が、水と有機廃棄物の処理に EM (特殊な微生物) を利用する研究の成果を発表しましたが、これにはジョルジオ アルマーニ財団も資金提供しています。

2020 年 9 月に開始され、自治体と WWF の支援を受けてパンテレリア島で実験的に実施されたこの研究は、排水の浄化と農業用堆肥に転換するための有機廃棄物の処理のために、実際の微生物 (EM) の特殊混合物を使うことによる効果を確認することを目的としていました。

この研究成果によって、長期的には、これらの手法をより広範囲に適用するためのプロトコルを定義することができます。

アルマーニグループは WWF とともに、生物多様性、特にアフリカのゴリラや北極のホッキョクグマなど、気候変動によって生息地が脅かされている種の保護のために 2 種類のプロジェクトを支援し、積極的に関与していくことを再確認しています。

「アクア フォー ライフ」イニシアチブ

アクア フォー ライフ (AFL) は、水不足に悩む地域で、誰もが水にアクセスできるようにすることを目的としています。このプロジェクトは、水と衛生サービスに対する権利を国連が一つの人権として認めた、2010 年に始まりました。AFL は、世界各地で活動するユニセフ、ウォーターエイド、Water.org という三大パートナーと連携して、活動を特定し、展開しています。浄水システムの導入、衛生環境の改善、衛生サービスの提供、水と衛生 (WASH) に関する教育や啓発の推進を目指すアプローチを通して、少なくとも 3 年は活動を継続します。

現在までに、AFL は世界中の水プロジェクトに 1,000 万ユーロ以上を投資しています。その結果、3 大陸 20 カ国で 39 万人以上の人々が安全な水源にアクセスできるようになりました。2021 年には、継続的な取り組みに加え、AFL はインド、マダガスカル、マラウイで新たに 3 つのプロジェクトを立ち上げました。それらを合わせると、12 万 5,000 人以上への支援になると見られます。AFL のプロジェクトのいくつかは、女性の生活、特に妊娠中や授乳中の女性、5 歳未満の子どもたちの生活に大きな影響を与えるものです。

その貢献のインパクトを最大化するために、AFL は Water.org と共同で新しいプロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトでは、革新的な融資ソリューション (マイクロクレジット) を提供し、タンザニアで 85,000 人に向けた持続可能な水設備と家庭用衛生設備を開発するために、負担の少ない形での資金提供を 2023 年まで行う予定です。

4.3.4 文化を支える取り組み

2020 年と 2021 年には、映画館、劇場、美術館が健康上の緊急事態により閉鎖され、文化活動が停止したり、オンラインでの提供に転換せざるを得なくなったりしました。

市民の健康を守るためのこの規制や閉鎖は、数カ月間の封鎖を強いられた文化界や文化業界で働く労働者に、特に影響を与えました。

スカラ座の
オープニングの
装飾を
アルマーニ/
フィオーリが
寄贈

具体的に貢献するために、また同時に、回復と自信を示す強いメッセージとして、アルマーニグループはイタリアとミラノの文化の象徴である**ミラノのスカラ座の賛助会員に戻り、支援をすることを決めました**。劇場の再開を経済的に支援しただけでなく、アルマーニグループとミラノ市や劇場との強い結びつきを示すコミュニケーション・キャンペーンも実施されました。2021 年の最初の公演を飾るために、アルマーニ / フィオーリが製作した花飾りが贈られ、環境と社会的な取り組みが認証されたサプライヤーが栽培した各種のバラとランが劇場を彩りました。

アルマーニグループは、ミラノ以外の文化活動にも目を向け、現代美術を専門とするローマ美術館の活動を支援するプログラム「**Amici del MAXXI**」の会員権を更新しました。また、**イタリア環境基金 (FAI)** との提携も更新しました。FAI の歴代の偉大な寄付者 200 名の中に、ジョルジオ アルマーニは常に名を連ねています。

FAI は長年にわたり、歴史的・芸術的に重要なものだけでなく、環境を害する開発から保護されるべき国の自然地域の保全・保護・公開にも尽力してきました。この新版では、FAI からのメッセージを発信し、協会の財産や長年にわたって行われてきた保護活動を周知させたいと考えています。この活動には、アルマーニグループも貢献しています。

4.3.5 スポーツの価値とダイバーシティへの配慮

アルマーニグループとスポーツの世界との関係は、共通の価値観、テクニカルウェア、コラボレーションを通じて語られ、絶え間なく進化するストーリーです。この絆は、献身、勤勉さ、自らの価値観へのこだわりという、共通の人生観から生まれるものです。

このビジョンは、2021 年 7 月のオリンピック・パラリンピックで結実し、その関係は東京オリンピックに始まり、2022 年の北京冬季オリンピックへと続きました。大会期間中、CONI (イタリアオリンピック委員会) および CIP (イタリアパラリンピック委員会) とコラボレーションし、**EA7 エンポリオ アルマーニはイタリアチームのユニフォームを担当**しました。そのアイディアは、コミュニティにおいて献身とチーム精神が求められる困難な時期に、ウェアという最も直接的な手段を通じて重要なメッセージを伝えようというものです。その意味で、ウェアに書かれている国歌の一節は、エネルギー、一体感、帰属意識を再確認するものとなります。

スポーツの世界との強い結びつきは、誠実さ、勇気、チーム精神など、誰もが例外なく共有する深い価値観に根ざしたものです。

このため、アルマーニグループはオリンピックとパラリンピックの両方に協力することを約束し、2021 年に **Obiettivo 3** とのコラボレーションを開始しました。この団体は、優勝経験を持つレーシングドライバーのアレッサンドロ・ザナルディが設立したもので、障がいを持つアスリートをスポーツ界に送り出すことを目的としています (現在までに 6 種類の競技の 60 名以上のアスリートを支援)。その最高峰がパラリンピックです。自身の経験や目標を他の人たちと共有したいというザナルディの思いから生まれた Obiettivo 3 は、障がいを持つアスリートたちに、障壁や根拠のない偏見を超えて、スポーツに取り組み、その潜在能力を伸ばす可能性を提供したいという願いを持っています。アルマーニグループの Obiettivo 3 への支援は、障がいというデリケートな問題と、障がい克服する機会としてのスポーツについての情報を広め、認識を高めるといった重要な目的も持っています。

オリンピア・ミラノ・バスケットボールチーム

2004 年からアルマーニグループがスポンサーとなり、2008 年に完全所有したオリンピア・ミラノバスケットボールチームは、投資計画や選手・技術スタッフを慎重に選択し、欧州および国内のバスケットボール界において重要で人気のある地位を取り戻しました。

同社は、青少年部門、バスケットボール文化、子どものスポーツ全般に投資を続けてきました。アルマーニグループの価値観に基づき、子どもや若者のスポーツトレーニングのための取り組みを推進し、また、いくつかの地域社会のスポーツ活動のための募金活動や支援にも直接携わっています。

「アルマーニ ジュニア プログラム」プロジェクトの貢献により、2019 年から 2021 年にかけて、オリンピアが支援するイタリアのアマチュアバスケットボールの企業数は、110 社から 126 社に増加しました。また、ミラノとその近郊の 30 の学校が、バスケットボールとオリンピアに関する価値観を広めるイベントに参加しています。

2012 年の創設以来、トルコ航空とオリンピアなどのヨーロッパの主要チームが支援する、ユーロリーグバスケットボールの社会的責任プログラムである「One Team」は、各チームによるさまざまなプロジェクトを通じて、直接的または間接的な参加者が 19,000 人に達しました。プログラムには、インクルージョン、障がい、ジェンダー多様性、薬物乱用などのテーマが含まれています。

また、少年少女とその保護者を対象とした「ポジティブサポーター」プロジェクトも継続しています。これは、スポーツの価値を人間関係のヒントとして提案し、支え合いの精神をスポーツに取り戻し、お互いへの尊重を忘れずにスポーツへの情熱を育むことを目的としています。



126 社

オリンピアが支援する、
企業のアマチュア
バスケットボールチーム



30 校

バスケットボールの
イベントに参加した学校



手法に関する注記

本文書は、アルマーニグループのサステナビリティレポートの第6版となります。

本文書は GRI スタandard に従って作成されています。「中核 (Core)」オプションに準拠し、2021 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの期間が該当します。非財務データの収集と処理のプロセスが 2021 年に改良されました。継続的な改善に向けて、より正確な会計および戦略的評価を確実にするために、さらなる改良を行う予定です。そのため、2020 年と 2019 年の 2 年間のデータは、比較を目的として報告されています。今後、さらなる検証および更新がなされる可能性があります。2021 年、2020 年、2019 年の 3 年間における業績の推移は、アルマーニグループの境界の変化に照らして解釈されるものです。GRI に従って報告された内容を詳述した内容索引は、本文書の付録に記載されています。

アルマーニグループは、GRI スタandard に沿って、内容の定義に関して、重要性、ステークホルダーの参加、持続可能性、完全性の原則を採用しています。また、情報の質と説明の構成の妥当性を確保するために、バランス、明快さ、正確さ、適時性、比較可能性、信頼性の原則を採用しています。報告内容は、2021 年に開始した重要性分析に基づいて選定し、アルマーニグループとそのステークホルダーにとって重要な側面を特定できるようにしています。重要性分析の結果は、当文書の 1.3.1 項「重要性分析、ESG リスク、機会」で説明しています。

特に、2021 年については、本書で報告されるデータの範囲は、手法に関する注記の末尾に記載されているすべての企業に関連するものとなっています。それ以外のすべての範囲の限定については、本文中に記載しています。2021 年中に、当社グループのサプライチェーンおよび所有権に大きな変更はありませんでした。

アルマーニグループが利用可能な報告ツールで定量的なデータを得ることができなかった場合、この報告書では必然的に、適切に報告された推定値を使用しています。報告されている情報の信頼性を保証するために、それらの推定は、可能である最良の手法に基づいて行われています。過去に公表された比較データの修正再表示は、文中で強調表示されています。アルマー

ニグループのサステナビリティレポートの発行周期は年 1 回です。本文書は、2022 年 10 月 4 日に、アルマーニグループの取締役会の承認を得るために提出されました。

継続的な改善を視野に入れた上で、**気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の提言**を踏まえ、本報告書は、特にそのフレームワークで特定された 4 つの注力領域に関する情報を掲載しています。

- ガバナンス：気候変動リスクと機会に関する組織のガバナンス
- 戦略：組織の事業活動、戦略、財務計画に関連する、現在および潜在的な気候変動リスクと機会の影響
- リスク管理：組織が気候関連のリスクを特定、評価、管理する方法
- 指標と目標：関連する気候変動リスクと機会の評価と管理に使用するもの

以下の表は、TCFD の開示提言に関連する情報を含む、本文章の章を示したリストです。

TCFD 領域	関連する章 / 段落
ガバナンス	1.2.1 グループのガバナンスと構造
	1.2.2 サステナビリティ ガバナンス
	1.3.1 重要性分析、ESG リスク、機会
戦略	3.1.1 エネルギー消費と大気への排出
	1.3.1 重要性分析、ESG リスク、機会
	1.3.2 成果と将来の目標
リスク管理	1.3.1 重要性分析、ESG リスク、機会
	1.3.2 成果と将来の目標
	3.1.1 エネルギー消費と大気への排出
指標と目標	4.2.7 持続可能なイベント管理
	3.1 環境保護および効率的な資源活用

本書に記載されている情報に加え、アルマーニグループの CDP 2022（カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）の質問書もご覧ください。質問書は CDP のウェブサイトでご覧いただけます。アルマーニグループは、気候変動における情報開示を徐々に改善し、改良していくことを約束します。

この文書は、以下でも公開されています。

[armanivalues.com](https://www.armanivalues.com)

アルマーニグループのサステナビリティ文書に関するお問い合わせは、グループ サステナビリティ ディレクターまでメール (info@armanivalues.com) でご連絡ください。

サステナビリティレポート 2021 年版に掲載された社会・環境データおよび情報の報告範囲は以下のとおりです。 Giorgio Armani S.p.A.、Giorgio Armani Retail S.r.l.、GA Operations S.p.A.、Alia S.r.l.、Giorgio Armani Hong Kong Ltd.、GA Operations Hong Kong Ltd.、Giorgio Armani Shanghai Trading Co.、Giorgio Armani Canada Corporation、Giorgio Armani Australia Pty Ltd.、Giorgio Armani Corporation、Giorgio Armani Japan Co. Ltd.、Pallacanestro Olimpia Milano SsrI（環境データは除外）、Giorgio Armani Brasil Comércio Importação e Exportação Ltda.、Caffè 42 Croisette Sas.、Giorgio Armani Mexico Import.、Giorgio Armani Mexico Retail Corporation.、Giorgio Armani Mexico Servicios.、Giorgio Armani Macau Ltd.、Ultimate SA.、Giorgio Armani Monaco SAM



GRI - 生み出した影響の 範囲と種類

マテリアルな項目	GRI スタンダード対照表	影響の範囲	アルマーニグループの役割
コンプライアンスと ビジネス倫理	GRI 103 (2016) : マネジメント手法 GRI 205-3 (2016) : 確定した腐敗事例と実施した措置 GRI 206-1 (2016) : 反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により受けた法的措置 GRI 307-1 (2016) : 環境法規制の違反 GRI 419-1 (2016) : 社会経済分野の法規制違反	アルマーニグループ	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの
経済価値の創出と分配	GRI 103 (2016) : マネジメント手法 GRI 201-1 (2016) : 創出、分配した直接的経済価値	アルマーニグループ	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの
人材の誘致と 従業員のウェルビーイング	GRI 103 (2016) : マネジメント手法 GRI 401-2 (2016) : 正社員には支給され、非正規社員には支給されない手当	アルマーニグループ	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの
従業員トレーニングと 能力開発	GRI 103 (2016) : マネジメント手法 GRI 404-1 (2016) : 従業員一人あたりの年間平均研修時間 GRI 404-3 (2016) : 業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合	アルマーニグループ	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの
ダイバーシティと インクルージョンの推進	GRI 103 (2016) : マネジメント手法 GRI 405-1 (2016) : ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ GRI 406-1 (2016) : 差別事例と実施した救済措置	アルマーニグループ	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの
職場における健康と安全	GRI 103 (2016) : マネジメント手法 GRI 403-1 (2018) : 労働安全衛生マネジメントシステム GRI 403-2 (2018) : 危険性 (ハザード) の特定、リスク評価、事故調査 GRI 403-3 (2018) : 労働衛生サービス GRI 403-4 (2018) : 労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション GRI 403-5 (2018) : 労働安全衛生に関する労働者研修 GRI 403-6 (2018) : 労働者の健康増進 GRI 403-7 (2018) : ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和 GRI 403-9 (2018) : 労働関連の傷害	アルマーニグループ パートナーとサプライヤー	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの 間接的 - ビジネス関係を通じたアルマーニグループの活動に関連するもの

マテリアルな項目	GRI スタンダード対照表	影響の範囲	アルマーニグループの役割
気候変動とエネルギー効率	GRI 103 (2016) : マネジメント手法 GRI 302-1 (2016) : 組織内のエネルギー消費量 GRI 305-1 (2016) : 直接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ 1) GRI 305-2 (2016) : 間接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ 2) GRI 305-3 (2016) : その他の間接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ 3)	アルマーニグループ 電力サプライヤー	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの 間接的 - ビジネス関係を通じたアルマーニグループの活動に関連するもの
エコデザイン、製品ライフサイクル、循環経済	GRI 103 (2016) : マネジメント手法 GRI 306-1 (2020) : 廃棄物の発生と廃棄物関連の著しいインパクト GRI 306-2 (2020) : 廃棄物関連の著しいインパクトの管理 GRI 306-3 (2020) : 発生した廃棄物	アルマーニグループ パートナーとサプライヤー	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの 間接的 - ビジネス関係を通じたアルマーニグループの活動に関連するもの
水資源の管理	GRI 103 (2016) : マネジメント手法 GRI 303-1 (2018) : 共有資源としての水との相互作用 GRI 303-2 (2018) : 排水に関連するインパクトのマネジメント GRI 303-3 (2018) : 取水 GRI 303-4 (2018) : 排水	アルマーニグループ 水道サービスプロバイダー	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの
生物多様性の保護	GRI 103 (2016) : マネジメント手法 GRI 304-1 (2016) : 保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、貸借、管理している事業サイト	アルマーニグループ パートナーとサプライヤー	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの 間接的 - ビジネス関係を通じたアルマーニグループの活動に関連するもの
海洋の保護	GRI 103 (2016) : マネジメント手法	アルマーニグループ パートナーとサプライヤー	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの 間接的 - ビジネス関係を通じたアルマーニグループの活動に関連するもの
原料の持続可能な調達	GRI 103 (2016) : マネジメント手法	アルマーニグループ	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの
バリューチェーンと生産チェーンにおける持続可能性	GRI 103 (2016) : マネジメント手法 GRI 308-1 (2016) : 環境基準により選定した新規サプライヤー GRI 414-1 (2016) : 社会的基準により選定した新規サプライヤー	アルマーニグループ パートナーとサプライヤー	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの 間接的 - ビジネス関係を通じたアルマーニグループの活動に関連するもの
人権と労働者の権利の尊重	GRI 103 (2016) : マネジメント手法 GRI 412-1 (2016) : 人権レビューやインパクト評価の対象とした事業所	アルマーニグループ パートナーとサプライヤー	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの
製品のラベル表示とコミュニケーション	GRI 103 (2016) : マネジメント手法 GRI 417-2 (2016) : 製品およびサービスの情報とラベリングに関する違反事例	アルマーニグループ	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの

マテリアルな項目	GRI スタンダード対照表	影響の範囲	アルマーニグループの役割
情報管理とプライバシー	GRI 103 (2016) : マネジメント手法 GRI 418-1 (2016) : 顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して具体化した不服申立	アルマーニグループ	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの
製品の品質および安全基準	GRI 103 (2016) : マネジメント手法 GRI 416-2 (2016) : 製品およびサービスの安全衛生インパクトに関する違反事例	アルマーニグループ	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの
ブランド価値と保護	GRI 103 (2016) : マネジメント手法	アルマーニグループ	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの
地域社会と地域への支援	GRI 103 (2016) : マネジメント手法 GRI 203-2 (2016) : 著しい間接的な経済的インパクト	アルマーニグループ	直接的 - アルマーニグループが生み出したもの

GRI の内容索引

GRI スタンダード	開示	ページ	備考 / 省略
GRI 101 : 基礎 (2016)			
GRI 102 : 一般開示事項 (2016)			
組織のプロフィール			
102-1 組織の名称		p. 148	-
102-2 活動、ブランド、製品、サービス		pp. 12、21-27	-
102-3 本社の所在地		p. 28	-
102-4 事業所の所在地		pp. 14-15	-
102-5 所有形態および法人格		p. 16	-
102-6 参入市場		pp. 14-15、21	-
102-7 組織の規模		pp. 21、35	-
102-8 従業員およびその他の労働者に関する情報		pp. 62、65-66	-
102-9 サプライチェーン		p. 122	-
102-10 組織およびそのサプライチェーンに関する重大な変化		p. 148	-
102-11 予防原則または予防的アプローチ		pp. 51-54	-
102-12 外部イニシアティブ		pp. 18-19、105、110-111、126、137、143	-
102-13 団体の会員資格		pp. 18、110-111	-
戦略			
102-14 上級意思決定者の声明		p. 5	-
倫理と誠実性			
102-16 価値観、理念、行動基準・規範		pp. 6、16、18、33-34、	-
ガバナンス			
102-18 ガバナンス構造		pp. 18、28-31	-
ステークホルダー・エンゲージメント			
102-40 ステークホルダー・グループのリスト		p. 44	-

GRI スタンダード	開示	ページ	備考／省略
	102-41 団体交渉協定		イタリアでは、団体交渉協定の対象となる従業員の割合は約 100% です。事業を展開する他の地域と比べ、当社グループは労働法の範囲内で適用される規則や規制を遵守して事業を行っています。詳細については、今後発行される報告書を参照してください。
	102-42 ステークホルダーの特定および選定	p. 43	-
	102-43 ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ方法	p. 44	-
	102-44 提起された重要な項目および懸念	p. 46	-
	102-45 連結財務諸表の対象になっている事業体	p. 150	-
	報告義務		
	102-46 報告書の内容および項目の該当範囲の確定	pp. 148-149、152-154	-
	102-47 マテリアルな項目のリスト	p. 49	-
	102-48 情報の再記述	p. 149	-
	102-49 報告における変更	pp. 49、148	-
	102-50 報告期間	p. 148	-
	102-51 前回発行した報告書の日付	p. 148	-
	102-52 報告サイクル	p. 148	-
	102-53 報告書に関する質問の窓口	p. 150	-
	102-54 GRI スタンダードに準拠した報告であることの主張	p. 148	-
	102-55 内容索引	pp. 155-160	-
	102-56 外部保証		本文書は第三者による保証の対象ではありません
マテリアルな項目			
コンプライアンスとビジネス倫理			
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、152-154	-
	103-2 マネジメント手法とその要素	pp. 33-34	-
	103-3 マネジメント手法の評価	pp. 33-34	-
GRI 205 : 腐敗防止 (2016)	205-3 確定した腐敗事例と実施した措置	p. 34	-

GRI スタンダード	開示	ページ	備考／省略
GRI 206 : 反競争的行為 (2016)	206-1 反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により受けた法的措置	p. 34	-
GRI 307 : 環境コンプライアンス (2016)	307-1 環境法規制の違反	p. 34	-
GRI 419 : 社会経済面のコンプライアンス (2016)	419-1 社会経済分野の法規制違反	p. 34	-
経済価値の創出と分配			
	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、152-154	-
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-2 マネジメント手法とその要素	pp. 34-36	-
	103-3 マネジメント手法の評価	pp. 34-36	-
GRI 201 : 経済パフォーマンス (2016)	201-1 創出、分配した直接的経済価値	p. 36	-
人材の誘致と従業員のウェルビーイング			
	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、152-154	-
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-2 マネジメント手法とその要素	pp. 72-73、75	-
	103-3 マネジメント手法の評価	pp. 72-73、75	-
GRI 401 : 雇用 (2016)	401-2 正社員には支給され、非正規社員には支給されない手当	pp. 72-73、75	正社員に提供される福利厚生と、臨時社員またはパートタイム社員に提供される福利厚生には大きな違いはありません
従業員のトレーニングと能力開発			
	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、152-154	-
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-2 マネジメント手法とその要素	pp. 67-71	-
	103-3 マネジメント手法の評価	pp. 67-71	-
GRI 404 : 研修と教育 (2016)	404-1 従業員一人あたりの年間平均研修時間	p. 69	-
	404-3 業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合	p. 70	-
ダイバーシティとインクルージョンの促進			
	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、152-154	-
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-2 マネジメント手法とその要素	p. 66	-
	103-3 マネジメント手法の評価	p. 66	-
GRI 405 : ダイバーシティと機会均等 (2016)	405-1 ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	pp. 29、62-64	-
GRI 406 : 非差別 (2016)	406-1 差別事例と実施した救済措置	p. 34	-

GRI スタンダード	開示	ページ	備考／省略
職場における健康と安全			
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、 152-154	-
	103-2 マネジメント手法とその要素	pp. 76-78	-
	103-3 マネジメント手法の評価	pp. 76-78	-
GRI 403 : 労働安全衛生 (2018)	403-1 労働安全衛生マネジメントシステム	pp. 76-78	-
	403-2 危険性 (ハザード) の特定、リスク評価、 事故調査	p. 76	-
	403-3 労働衛生サービス	pp. 76-78	-
	403-4 労働安全衛生における労働者の参加、 協議、コミュニケーション	pp. 76-78	-
	403-5 労働安全衛生に関する労働者研修	pp. 69、77	-
	403-6 労働者の健康増進	p. 77	-
	403-7 ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和	p. 124	-
	403-9 労働関連の傷害	pp. 78-80	-
気候変動とエネルギー効率			
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、 152-154	-
	103-2 マネジメント手法とその要素	pp. 84-85、87-88、 91-93、95	-
	103-3 マネジメント手法の評価	pp. 84-85、87-88、 91-93、95	-
GRI 302 : エネルギー (2016)	302-1 組織内のエネルギー消費量	p. 86	-
GRI 305 : 大気への排出 (2016)	305-1 直接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ 1)	p. 90	-
	305-2 間接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ 2)	p. 90	-
	305-3 その他の間接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ 3)	pp. 90、94	-
エコデザイン、製品ライフサイクル、循環経済			
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、 152-154	-
	103-2 マネジメント手法とその要素	pp. 96、98	-
	103-3 マネジメント手法の評価	pp. 96、98	-
GRI 306 : 廃棄物 (2020)	306-1 廃棄物の発生と廃棄物関連の著しいインパクト	p. 96	-
	306-2 廃棄物関連の著しいインパクトの管理	p. 98	-
	306-3 発生した廃棄物	p. 97	-

GRI スタンダード	開示	ページ	備考／省略
水資源の管理			
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、 152-154	-
	103-2 マネジメント手法とその要素	p. 100	-
	103-3 マネジメント手法の評価	p. 100	-
GRI 303 : 水と廃水 (2018)	303-1 共有資源としての水との相互作用	p. 100	-
	303-2 排水に関連するインパクトのマネジメント	p. 100	-
	303-3 取水	pp. 101-102	-
	303-4 排水	pp. 101-102	-
生物多様性の保護			
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、 152-154	-
	103-2 マネジメント手法とその要素	pp. 103-106	-
	103-3 マネジメント手法の評価	pp. 103-106	-
GRI 304 : 生物多様性 (2016)	304-1 保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、貸借、管理している事業サイト	p. 103	-
海洋の保護			
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、 152-154	-
	103-2 マネジメント手法とその要素	p. 103	-
	103-3 マネジメント手法の評価	p. 103	-
原料の持続可能な調達			
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、 152-154	-
	103-2 マネジメント手法とその要素	pp. 103、107、 110-116	-
	103-3 マネジメント手法の評価	pp. 103、107、 110-116	-

GRI スタンダード	開示	ページ	備考／省略
バリューチェーンと生産チェーンにおける持続可能性			
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、 152-154	-
	103-2 マネジメント手法とその要素	pp. 120-122、124	-
	103-3 マネジメント手法の評価	pp. 120-122、124	-
GRI 308 : サプライヤーの環境面のアセスメント (2016)	308-1 環境基準により選定した新規サプライヤー	p. 124	-
GRI 414 : サプライヤーの社会面のアセスメント (2016)	414-1 社会的基準により選定した新規サプライヤー	p. 124	-
人権と労働者の権利の尊重			
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、 152-154	-
	103-2 マネジメント手法とその要素	pp. 30-31、 121-122、124	-
	103-3 マネジメント手法の評価	pp. 30-31、 121-122、124	-
GRI 412 : 人権アセスメント (2016 年)	412-1 人権レビューやインパクト評価の対象とした事業所	p. 122	-
製品のラベル表示とコミュニケーション			
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、 152-154	-
	103-2 マネジメント手法とその要素	p. 127	-
	103-3 マネジメント手法の評価	p. 127	-
GRI 417 : マーケティングとラベリング (2016)	417-2 製品およびサービスの情報とラベリングに関する違反事例	p. 127	-
情報管理とプライバシー			
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、 152-154	-
	103-2 マネジメント手法とその要素	p. 131	-
	103-3 マネジメント手法の評価	p. 131	-
GRI 418 : 顧客プライバシー (2016)	418-1 顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して具体化した不服申立	p. 131	-
製品の品質および安全基準			
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、 152-154	-
	103-2 マネジメント手法とその要素	pp. 133-134	-
	103-3 マネジメント手法の評価	pp. 133-134	-
GRI 416 : 顧客の安全衛生 (2016)	416-2 製品およびサービスの安全衛生インパクトに関する違反事例	p. 133	-

GRI スタンダード	開示	ページ	備考／省略
ブランドの強化と保護			
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、 152-154	-
	103-2 マネジメント手法とその要素	pp. 128-131	-
	103-3 マネジメント手法の評価	pp. 128-131	-
地域社会と地域への支援			
GRI 103 : マネジメント手法 (2016)	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	pp. 42-50、 152-154	-
	103-2 マネジメント手法とその要素	pp. 140-146	-
	103-3 マネジメント手法の評価	pp. 140-146	-
GRI 203 : 間接的な経済的インパクト (2016)	203-2 著しい間接的な経済的インパクト	pp. 140-146	-

©
GIORGIO ARMANI SpA
VIA BORGONUOVO, 11 20121 MILANO
2022

持続可能な方法で管理された森林から調達した紙であり、生分解性とリサイクル性に優れています。回収繊維を 25% 以上含む純粋なセルロースから作られており、その加工工程全体を通して持続可能な基準に従っています。

GIORGIO ARMANI

armanivalues.com